

健康保険・船員保険 被保険者実態調査報告

平成 30 年 10 月

ま え が き

この報告書は、平成30年度に実施した健康保険・船員保険被保険者実態調査の結果をまとめたものである。

健康保険・船員保険被保険者実態調査は、健康保険及び船員保険の被保険者について、年齢、標準報酬月額、標準賞与額、所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄等を調査し、健康保険制度及び船員保険制度の健全な発展を期するための基礎資料を得ることを目的として実施している。

この調査は、昭和41年度から健康保険被保険者実態調査として、全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）及び健康保険組合管掌健康保険の被保険者を対象に実施されている。平成21年度からは平成20年10月に全国健康保険協会が発足したことに伴い、全国健康保険協会管掌健康保険の被保険者（健康保険法第3条第2項被保険者）を、平成22年度からは平成22年1月に船員保険を全国健康保険協会が管掌することとなったことに伴い、船員保険の被保険者を対象に加えている。

調査結果は、健康保険及び船員保険の被保険者や被扶養者の実態を示すものであり、受診動向や医療費の状況等を分析する際に欠かすことのできない基礎的統計である。

この報告書が、制度運営の基礎資料として広く各方面に利用されるならば誠に幸いである。

最後に、この調査の実施にあたり、ご協力をいただいた全国健康保険協会、健康保険組合の担当者の方々及び関係者各位に対し、深く感謝の意を表する。

令和元年11月

厚生労働省保険局調査課長

仲津留 隆

統計表の符号の用法は次のとおりである。

- ・ 統計項目のありえない場合
- … 計数を表章することが不適切な場合
- 計数のない場合

目 次

第1章 調査の概要	7
第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）	12
1. 加入者の年齢構成	12
2. 被保険者の年齢構成	14
3. 被扶養者の年齢構成	17
4. 年齢階級別扶養率	21
5. 標準報酬月額別扶養率	26
6. 総報酬額階級別扶養率	28
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	29
8. 年齢階級別平均標準賞与額	32
9. 年齢階級別平均総報酬額	36
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	39
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	40
12. 業態別被保険者構成割合、扶養率等	43
13. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	44
14. 被保険者数の推移について	45
15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について	57
（参考）事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合	61
第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）	63
1. 加入者の年齢構成	63
2. 被保険者の年齢構成	65
3. 被扶養者の年齢構成	66
4. 年齢階級別扶養率	68
5. 標準報酬月額別扶養率	70
6. 総報酬額階級別扶養率	72
7. 年齢階級別平均標準報酬月額	73
8. 年齢階級別平均標準賞与額	75
9. 年齢階級別平均総報酬額	78
10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合	80
11. 年齢階級別、被保険者期間別構成等	81
12. 規模別被保険者構成割合、扶養率等	84
13. 被保険者数の推移について	85
第4章 統計表	
1. 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（全数統計）	89

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	91
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	92
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	98
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	104
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	111
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	115
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	119
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	122
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数、 及び平均年齢	128
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	134
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	140
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	147
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	148
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	150
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	156
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	162
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	168
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	169
参考表	事業所の業態別・規模別事業所数及び被保険者数	170

2. 組合管掌健康保険（抽出率 1/100） 175

第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、平均標準賞与額 及び平均総報酬額	177
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	178

第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	184
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	190
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	197
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均標準賞与額	201
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別、被保険者数 及び平均総報酬額	205
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	208
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別、被扶養者数 及び平均年齢	214
第10表	事業所の業態別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢及び被保険者数の構成比	220
第11表	被保険者の年齢階級別・事業所の規模別・性別、 被保険者数及び平均年齢	226
第12表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	233
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	234
第14表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	236
第15表	標準報酬月額別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準報酬月額、被扶養者数	242
第16表	標準賞与額階級別・事業所の規模別・性別、被保険者数、 平均標準賞与額、被扶養者数	248
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、加入者数	254
第18表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別、脱退者数	255
第19表	年齢階級別・加入前制度別、加入者数	256
第20表	年齢階級別・脱退後制度別、脱退者数	257
3.	全国健康保険協会管掌健康保険（法第3条第2項被保険者）（全数統計）	259
第1表	被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、被扶養者の性別、 被扶養者数及び扶養率	261
第2表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	262
第3表	被扶養者の年齢階級別・性別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	269
第4表	被保険者の年齢階級別・性別・続柄別、被扶養者数	270
第5表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別、 被扶養者数	272

第1表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 被扶養者の性別、被扶養者数、扶養率、平均標準報酬月額、 平均標準賞与額及び平均総報酬額	281
第2表	標準報酬月額別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準報酬月額	286
第3表	標準賞与額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均標準賞与額	298
第4表	総報酬額階級別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均総報酬額	300
第5表	標準報酬月額別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準報酬月額	303
第6表	標準賞与額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均標準賞与額	305
第7表	総報酬額階級別・被扶養者数別・性別・船舶種別、被保険者数 及び平均総報酬額	307
第8表	都道府県別・被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別、被保険者数、 平均年齢、被扶養者数及び扶養率	308
第9表	都道府県別・被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別、被扶養者数 及び平均年齢	310
第10表	被保険者の年齢階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数及び平均年齢	312
第11表	被扶養者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別・被保険者の性別、 被扶養者数	314
第12表	被保険者の年齢階級別・性別・船舶種別・続柄別、被扶養者数	318
第13表	被保険者の年齢階級別・性別・被扶養者の年齢階級別・性別 ・船舶種別、被扶養者数	320
第14表	標準報酬月額別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準報酬月額、被扶養者数	322
第15表	標準賞与額階級別・船舶所有者の規模別・性別・船舶種別、 被保険者数、平均標準賞与額、被扶養者数	324
第16表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、加入者数	326
第17表	被保険者－被扶養者別・年齢階級別・船舶種別、脱退者数	327

なお、船員保険については、第1表、第2表、第11表を除き船舶種別及び男女別に係る分
を報告書に掲載していないが、政府統計の総合窓口（e-Stat）（URL
<https://www.e-stat.go.jp>）にて公表している。

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康保険及び船員保険について、被保険者の年齢、標準報酬月額、標準賞与額、その所属している事業所の業態、規模及び被扶養者の年齢、続柄、異動の状況等を調査し、制度運営のための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象及び調査客体

- (1) 組保管掌健康保険（以下「組合健保」という。）については、平成30年10月1日現在の被保険者並びに平成30年10月中に被保険者資格取得届及び被保険者資格喪失届により異動した者（以下「異動者」という。）を調査対象者とし、健康保険組合（支部を有する健康保険組合にあっては支部）ごとに被保険者は100分の1（平成24年調査までは500分の1）、異動者（任意継続被保険者及び特例退職被保険者の資格取得者を除く。）については50分の1で系統抽出した者を調査客体とする。
- (2) 全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）（以下「協会（一般）」という。）については、平成30年9月30日現在の被保険者並びに平成29年10月から平成30年9月の間の異動者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。なお、結果の概要における一部の図・表では10月1日時点の被保険者として標章している。
- (3) 全国健康保険協会管掌健康保険（健康保険法第3条第2項被保険者）（以下「法第3条第2項被保険者」という。）については、平成30年9月30日現在の被保険者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。
- (4) 船員保険については、平成30年10月1日現在の被保険者並びに平成29年10月から平成30年9月の間の異動者を調査対象者とし、その全数を調査客体とする。

（参考）健康保険の加入者（被保険者及び被扶養者をいう。以下同じ。）は、平成20年4月に後期高齢者医療制度が施行されたことにより、後期高齢者広域連合の区域内に住所を有する75歳以上の者等はそれまで加入していた健康保険の加入者の資格を喪失し、後期高齢者広域連合が行う後期高齢者医療の被保険者になった。そのため、平成20年度調査より75歳以上の加入者は原則健康保険からいなくなる。

ただし、外国に住所を有する加入者は引き続き健康保険の加入者となることから、75歳以上の加入者も若干存在する。

また、船員保険の被保険者については、75歳以降の職務外の給付は後期高齢者医療から、職務上の給付は船員保険から給付されるため、75歳以上の被保険者も存在する。なお、船員保険の被扶養者については、健康保険と同様、原則75歳以上の者は船員保険からはいなくなる。

3. 調査時点

被保険者は、組合健保及び船員保険は平成30年10月1日現在、協会（一般）及び協会（法第3条第2項被保険者）は平成30年9月30日現在である。異動者は、組合健保は平成30年10月中、協会（一般）及び船員保険は平成29年10月から平成30年9月までの間とした。

4. 調査票及び調査事項

組合健保における調査票は次頁に掲げる様式とした。調査事項は調査票に記載のとおりである。また、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については、「健康保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項とし、船員保険については、「船員保険被保険者実態調査 調査項目」に掲げる事項とした。なお協会（一般）の異動者については当該調査事項によらず全国健康保険協会より集計表の提出を受けた（全国健康保険協会管掌健康保険（一般被保険者）第17表、18表）。

5. 集計及び解析

集計及び解析は厚生労働省保険局調査課において行った。

年齢階級については、平成30年9月30日現在の年齢に基づいて集計している。

「前期高齢者」は、「65歳以上74歳以下の者」及び「75歳以上の者（船員保険を除く）」を集計している。

なお、健康保険の75歳以上被保険者については、制度上は存在しているものの少数であるため、本調査での主な分析対象にはしていない。



政府統計

統計法に基づく国の統計
調査です。調査票情報の
秘密の保護に万全を期し
ます。

平成30年度 健康保険被保険者実態調査調査票

健康保険組合名 _____

適用区分	1. 強 制		2. 任 意		3. 任意継続		4. 特例退職			
事業所	都道府県番号		業態番号		事業所の被保険者数			人		
被 保 険 者	性 別	1. 男 2. 女	生 年 月	1. 明治 2. 大正 3. 昭和 4. 平成		年		月	被保険者等の区分	1. 被保険者 2. 加入者 3. 脱退者
	資格取得時期	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降				標準報酬月額		千円	標準賞与額	千円
	介護保険	1. 該当 2. 適用除外 ()				基準収入額適用申請		1. 該当 2. 不該当		
	加入者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳								
	脱退者	1. 協会 2. 組合 3. 共済 4. 国保 5. その他 6. 不詳 7. 死亡 8. 後期高齢者								
		性 別	生 年 月				続 柄		扶養開始時期	
被 扶 養 者	1	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	2	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	3	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	4	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	5	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	6	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	7	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()
	8	1. 男 2. 女	1. 明 3. 昭 2. 大 4. 平		年		月	1. 配偶者 2. 直系尊属 3. 子 4. その他	1. 29年9月以前 2. 29年10月以降	1. 該当 2. 適用除外 ()

事業所番号		調査客体番号	
-------	--	--------	--

注) 1. 数字を選択する箇所については、該当数字及び文字を○で囲むこと。
2. 数字を記入する箇所については、算用数字で右詰めに記入すること。

健康保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

【協会一般】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨標準報酬月額 |
| ⑩標準賞与額 | ⑪介護保険の該当有無 | ⑫基準収入額適用申請有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

【法第3条第2項被保険者】

(被保険者の状況)

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ①適用区分 | ②事業所の都道府県番号 | ③事業所の業態番号 |
| ④事業所の被保険者数 | ⑤性別 | ⑥生年月 |
| ⑦被保険者等の区分 | ⑧資格取得時期 | ⑨介護保険の該当有無 |

(被扶養者の状況)

- | | | |
|---------|------------|-----|
| ①性別 | ②生年月 | ③続柄 |
| ④扶養開始時期 | ⑤介護保険の該当有無 | |

船員保険被保険者実態調査 調査項目

以下の項目について、調査を行った。

- ① 適用区分
- ② 船舶所有者の都道府県番号
- ③ 船舶所有者の業態番号
- ④ 船舶所有者の使用する船員の数
- ⑤ 被保険者等の性別
- ⑥ 被保険者等の生年月
- ⑦ 被保険者等の区分
- ⑧ 被保険者等の資格取得時期
- ⑨ 被保険者等の標準報酬月額
- ⑩ 被保険者等の標準賞与額
- ⑪ 被保険者等の介護保険の該当有無
- ⑫ 被保険者等の基準収入額適用申請有無
- ⑬ 加入者が加入前に適用されていた医療保険制度
- ⑭ 脱退者が脱退後に適用される医療保険制度
- ⑮ 被扶養者の性別
- ⑯ 被扶養者の生年月
- ⑰ 続柄
- ⑱ 被扶養者の扶養開始時期
- ⑲ 被扶養者の介護保険該当の有無

なお、強制適用被保険者については、再掲として船舶種別でも調査を行っている。船舶種別の内容については以下のとおり。

- 汽船等……………船舶の種類が、漁船以外の船舶（汽船（A船）及び機帆船（B船））をいう。
- 漁船（い）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれかに該当する漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を除く。）（C船）をいう。
つまり、直接漁業に従事しない漁船をいう。
- 漁船（ろ）…船舶の種類が旧船員保険法第34条第1項第2号イ、ロ、ハのいずれにも該当しない漁船（母船式漁業に従事する漁船に作業員として乗組む場合を含む。）（D船）をいう。
つまり、直接漁業に従事する漁船をいう。

第2章 調査結果の概要（健康保険被保険者実態調査）

本調査では、協会（一般）及び法第3条第2項被保険者については全数、組合健保については100分の1の抽出率で抽出した被保険者（協会（一般）23,650,078人、組合健保167,515人、法第3条第2項被保険者11,208人）について集計を行った。また、協会（一般）については全数、組合健保については50分の1の抽出率で抽出した異動者（協会（一般）9,070,339人、組合健保9,860人）について集計を行った。

なお、平成30年9月末日現在の毎月事業状況報告書の被保険者数①と調査客体数②を比較すると、次表のとおりである。

	被保険者数①	調査客体数②	抽出倍率（①／②）
協会（一般）	23,650,078	23,650,078	1.0
組合健保	16,761,724	167,515	100.1
法第3条第2項 被保険者	11,208	11,208	1.0

（注）被保険者数については速報値である。

1. 加入者の年齢構成

健康保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口及び75歳未満総人口をそれぞれ100%とした場合の年齢構成と比較したものが表1及び図1である。

協会（一般）及び組合健保の加入者の年齢構成は、総人口及び75歳未満総人口の年齢構成と比較すると概ね60歳未満までの割合が高く、さらに55歳未満における組合健保の年齢割合は、協会（一般）よりも高い。また、法第3条第2項被保険者の加入者の年齢構成は65～69歳の割合が高い。

後期高齢者医療制度の導入に伴い、原則75歳未満の者のみ健康保険の加入者になりうることから、75歳未満総人口と比較してみると、協会（一般）及び組合健保については、20歳未満では、75歳未満総人口の19.7%に対して協会（一般）22.0%、組合健保24.6%とともに高く、20～39歳でも、75歳未満総人口の25.1%に対して協会（一般）28.7%、組合健保31.0%とともに高い。同様に、40～64歳でも、75歳未満総人口の39.1%に対して協会（一般）41.7%、組合健保41.1%とともに高いが、65～74歳では、75歳未満総人口の16.2%に対して協会（一般）7.6%、組合健保3.3%と、ともに低い。

法第3条第2項被保険者については、20歳未満及び20～39歳ではそれぞれ11.3%、2.6%と、ともに75歳未満総人口に比べて低いが、40～64歳及び65～74歳ではそれぞれ43.1%、18.4%と、ともに75歳未満総人口に比べて高い。

また、年齢構成を年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに55歳未満まで、75歳未満総人口を上回っている。

法第3条第2項被保険者の年齢構成割合については、45歳未満においては75歳未満総人口を下回っているが、45歳以上では逆に75歳未満総人口を上回っている。

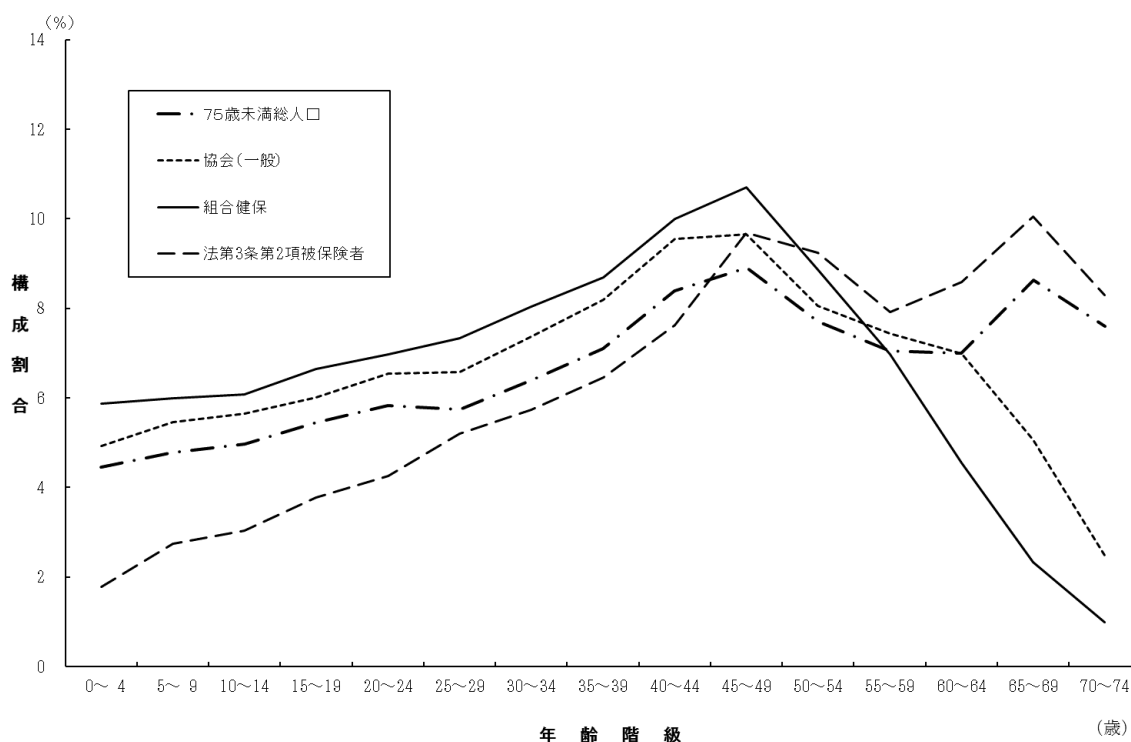
表1 総人口及び健康保険加入者の年齢構成（平成30年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	75歳未満 総人口	健 康 保 険		
			協会（一般）	組合健保	法第3条第2項 被保険者
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	3.8	4.5	4.9	5.9	1.8
5～9	4.1	4.8	5.5	6.0	2.7
10～14	4.3	5.0	5.6	6.1	3.0
15～19	4.7	5.4	6.0	6.6	3.8
20～24	5.0	5.8	6.5	7.0	4.3
25～29	4.9	5.7	6.6	7.3	5.2
30～34	5.5	6.4	7.4	8.0	5.7
35～39	6.1	7.1	8.2	8.7	6.4
40～44	7.2	8.4	9.5	10.0	7.6
45～49	7.6	8.9	9.6	10.7	9.7
50～54	6.6	7.7	8.1	8.9	9.2
55～59	6.1	7.1	7.4	7.0	7.9
60～64	6.0	7.0	7.0	4.5	8.6
65～69	7.4	8.6	5.1	2.3	10.1
70～74	6.5	7.6	2.5	1.0	8.3
75歳以上	14.2	・	0.0	0.0	5.6
（再 掲）					
0～19	16.9	19.7	22.0	24.6	11.3
うち未就学児	5.6	6.5	6.5	7.7	2.6
20～39	21.5	25.1	28.7	31.0	21.6
40～64	33.5	39.1	41.7	41.1	43.1
65～74	13.9	16.2	7.6	3.3	18.4
平均年齢（歳）	—	41.3	37.8	35.1	47.6

（注）「総人口」は、総務省統計局「平成30年10月1日現在推計人口」を用いている。

図1 加入者の年齢構成（平成30年10月1日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成25～30年までの調査結果を示したものが表2である。

20歳未満の構成割合は、協会（一般）、組合健保はほぼ横ばいとなっており、平成30年には協会（一般）0.7%、組合健保0.7%である。また、法第3条第2項被保険者については、やや増加傾向にあったが、平成29年に減少傾向に転じ、平成30年度は0.6%である。

20～39歳の構成割合は、協会（一般）、組合健保ともにゆるやかな減少傾向となっており、平成30年には協会（一般）36.0%、組合健保41.9%である。法第3条第2項被保険者については、平成26年までは増加傾向にあったが、平成27年に減少に転じ、平成30年は19.6%である。

40～64歳の構成割合は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向にあり、平成30年には協会（一般）55.1%、組合健保53.8%である。法第3条第2項被保険者については減少傾向にあり、平成30年には51.3%である。

65～74歳の構成割合は、協会（一般）、組合健保ともに緩やかな増加傾向にあり、平成30年には協会（一般）8.2%、組合健保3.6%である。法第3条第2項被保険者についても増加傾向であり、平成30年は21.9%である。

次に、平成30年の年齢構成を男女別にみると、協会（一般）の男性で最も割合が高いのは40～44歳の13.1%であり、協会（一般）の女性で構成割合が最も高いのは45～49歳の13.1%、続いて40～44歳の12.2%である。一方、組合健保の男性では45～49歳の割合が最も高く14.1%、次いで40～44歳が13.2%である。組合健保の女性では25～29歳の割合が最も高く14.0%、次いで45～49歳が13.8%である。また、法第3条第2項被保険者の男性では45～49歳の割合が最も高く12.1%、続いて65～69歳の11.7%、法第3条第2項被保険者の女性では70～74歳の割合が最も高く15.6%、続いて60～64歳の14.6%であり、60歳以上で全体の半分以上を占めている。

最後に、被保険者の平均年齢は、協会（一般）、組合健保ともに上昇傾向にあり、平成30年には協会（一般）45.3歳、組合健保42.8歳である。また、法第3条第2項被保険者の平均年齢は53.9歳である。男女別の平均年齢は、協会（一般）の男性が46.2歳、女性が44.0歳、組合健保の男性が43.9歳、女性が40.7歳、法第3条第2項被保険者の男性が52.8歳、女性が61.3歳である。組合健保の方が協会（一般）よりも男女間の年齢差が大きく、法第3条第2項被保険者は男性よりも女性の平均年齢の方が高い。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

(単位:%)

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.8
20～24	6.4	6.4	6.5	6.4	6.3	6.3	5.1	8.1
25～29	10.3	10.0	9.7	9.5	9.2	9.1	8.1	10.5
30～34	11.2	11.0	10.7	10.4	10.1	9.8	9.7	10.0
35～39	12.7	12.3	11.9	11.5	11.1	10.8	11.1	10.3
40～44	12.8	13.2	13.4	13.4	13.1	12.7	13.1	12.2
45～49	10.9	11.3	11.5	12.3	12.7	13.1	13.1	13.1
50～54	10.2	10.2	10.4	10.3	10.6	10.9	10.5	11.6
55～59	9.6	9.6	9.5	9.6	9.7	9.7	9.5	10.1
60～64	9.4	8.9	8.7	8.6	8.6	8.6	9.4	7.5
65～69	4.2	4.7	5.1	5.5	5.7	5.7	6.7	4.2
70～74	1.6	1.7	1.7	1.8	2.1	2.5	3.0	1.8
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
(再 掲)								
20～39歳	40.6	39.7	38.8	37.8	36.8	36.0	34.1	38.8
40～64	52.8	53.1	53.6	54.1	54.6	55.1	55.5	54.4
65～74	5.8	6.4	6.8	7.3	7.8	8.2	9.7	6.0
平均年齢（歳）	44.0	44.1	44.5	44.7	45.0	45.3	46.2	44.0

(注) 平成29年以前の数値は、男女総数のものである。

(2) 組合健保

(単位:%)

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.6	0.6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.7
20～24	6.4	6.4	6.6	6.8	6.9	7.0	5.8	9.3
25～29	12.3	12.1	11.8	11.6	11.4	11.4	10.0	14.0
30～34	12.7	12.6	12.4	12.2	12.0	11.6	11.1	12.6
35～39	14.0	13.3	12.8	12.4	12.0	11.9	11.7	12.1
40～44	14.6	14.6	14.7	14.1	13.8	13.3	13.2	13.3
45～49	12.2	12.8	12.9	13.7	13.8	14.0	14.1	13.8
50～54	10.1	10.5	10.9	10.8	11.5	11.6	12.3	10.5
55～59	8.0	8.1	8.2	8.4	8.7	9.1	9.9	7.6
60～64	6.1	5.8	5.8	5.8	5.7	5.8	6.6	4.2
65～69	2.1	2.2	2.4	2.6	2.6	2.6	3.2	1.5
70～74	0.9	1.0	0.9	0.9	0.9	1.0	1.3	0.5
75歳以上	-	-	-	0.0	-	-	-	-
(再 掲)								
20～39歳	45.4	44.4	43.6	42.9	42.3	41.9	38.7	48.0
40～64	51.0	51.8	52.5	52.9	53.5	53.8	56.1	49.3
65～74	3.0	3.2	3.3	3.5	3.5	3.6	4.5	2.0
平均年齢（歳）	42.1	42.2	42.4	42.5	42.7	42.8	43.9	40.7

(注) 平成29年以前の数値は、男女総数のものである。

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
15～19歳	0.6	0.8	0.9	1.1	0.8	0.6	0.6	0.2
20～24	4.2	4.2	3.6	3.6	2.8	2.3	2.5	0.8
25～29	4.8	5.0	5.2	5.6	5.2	5.0	5.6	0.9
30～34	6.0	6.1	6.2	5.9	5.8	5.8	6.5	1.5
35～39	7.4	7.1	6.6	6.8	6.7	6.5	7.1	2.7
40～44	10.3	10.2	10.3	9.7	8.8	8.4	8.6	6.7
45～49	10.9	11.4	11.2	11.7	11.8	11.5	12.1	7.3
50～54	9.4	9.5	10.3	10.7	11.2	11.6	11.7	10.6
55～59	10.2	9.6	9.3	9.4	9.4	9.7	9.6	10.4
60～64	15.4	13.8	12.4	11.5	10.7	10.2	9.6	14.6
65～69	12.7	13.0	13.6	13.3	13.0	12.0	11.7	14.1
70～74	6.1	6.9	7.4	7.0	8.8	9.9	9.0	15.6
75歳以上	2.1	2.5	3.0	3.7	5.1	6.6	5.4	14.5
(再 掲)								
20～39歳	22.3	22.4	21.6	21.9	20.5	19.6	21.7	5.8
40～64	56.2	54.4	53.5	53.0	51.8	51.3	51.6	49.7
65～74	18.8	19.9	21.0	20.4	21.8	21.9	20.7	29.7
平均年齢 (歳)	51.7	51.7	51.9	51.9	53.1	53.9	52.8	61.3

(注) 平成29年以前の数値は、男女総数のものである。

3. 被扶養者の年齢構成

被扶養者の年齢階級別構成割合について、平成25～30年までの調査結果を示したものが表3である。

被扶養者の20歳未満の割合は、協会（一般）、組合健保ともに増加傾向にあり、平成30年には協会（一般）54.5%、組合健保55.7%である。また、法第3条第2項被保険者については34.9%である。

20～39歳の割合は、協会（一般）、組合健保ともに減少傾向であり、平成30年には協会（一般）17.6%、組合健保16.9%である。また、法第3条第2項被保険者については緩やかな増加傾向にあり、平成30年度は26.0%である。

40～64歳の割合は、協会（一般）は減少傾向にあり、平成30年は21.3%である。組合健保は概ね横ばいであり、平成30年には24.5%である。また、法第3条第2項被保険者については概ね減少傾向であり、平成30年度は24.9%である。

65～74歳の割合は、協会（一般）、組合健保ともに増加傾向にあり、平成30年は協会（一般）6.5%、組合健保2.9%である。また、法第3条第2項被保険者については10.6%である。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）

（単位：%）

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	12.8	12.7	12.7	12.7	12.6	12.4
5～9	13.1	13.2	13.4	13.6	13.7	13.7
10～14	13.7	13.8	13.8	13.9	14.0	14.2
15～19	13.2	13.3	13.5	13.7	14.0	14.1
20～24	7.0	6.9	6.8	6.8	6.8	6.9
25～29	3.7	3.5	3.3	3.1	2.9	2.8
30～34	4.3	4.2	4.1	4.0	3.8	3.6
35～39	5.1	4.9	4.7	4.5	4.4	4.3
40～44	5.0	5.1	5.1	5.0	4.9	4.7
45～49	3.9	4.0	4.1	4.3	4.3	4.4
50～54	3.7	3.7	3.7	3.6	3.7	3.8
55～59	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0
60～64	5.3	5.0	4.7	4.6	4.5	4.5
65～69	3.1	3.5	3.8	4.1	4.1	4.1
70～74	2.0	2.1	2.1	2.0	2.2	2.4
75歳以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
（再 掲）						
0～19歳	52.7	53.0	53.4	53.9	54.3	54.5
うち未就学児	16.7	16.7	16.7	16.7	16.6	16.4
20～39	20.1	19.5	19.0	18.4	17.9	17.6
40～64	22.0	21.8	21.7	21.6	21.4	21.3
65～74	5.2	5.6	5.9	6.1	6.3	6.5

(2) 組合健保

(単位: %)

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	13.2	13.3	13.3	13.3	13.3	13.5
5～9	13.5	13.3	13.5	13.9	14.0	13.8
10～14	14.1	14.0	13.9	13.8	14.0	14.0
15～19	12.9	13.3	13.4	13.8	14.0	14.4
20～24	6.6	6.8	6.7	6.8	6.9	6.9
25～29	2.8	2.7	2.6	2.4	2.2	2.0
30～34	4.0	4.0	3.8	3.6	3.5	3.4
35～39	6.0	5.5	5.3	4.9	4.7	4.5
40～44	6.9	6.9	6.7	6.5	6.0	5.7
45～49	5.6	5.7	5.8	6.2	6.3	6.4
50～54	4.8	4.9	5.0	5.0	5.1	5.2
55～59	3.9	3.9	4.0	4.1	4.1	4.2
60～64	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.9
65～69	1.5	1.6	1.9	2.0	1.9	2.0
70～74	1.0	1.0	1.0	0.9	1.0	1.0
75歳以上	0.0	0.0	—	0.0	—	0.0
(再 掲)						
0～19歳	53.7	53.9	54.2	54.7	55.4	55.7
うち未就学児	17.3	17.2	17.5	17.5	17.5	17.7
20～39	19.3	19.1	18.4	17.7	17.2	16.9
40～64	24.4	24.5	24.5	24.7	24.5	24.5
65～74	2.5	2.6	2.8	2.9	2.9	2.9

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位: %)

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0～4歳	7.6	7.8	7.8	8.2	6.6	5.7
5～9	8.3	8.8	8.9	9.0	8.6	8.8
10～14	9.7	9.8	9.6	9.6	9.6	9.7
15～19	10.5	10.7	10.8	10.5	10.5	10.8
20～24	7.6	7.6	7.7	8.2	8.5	8.6
25～29	5.7	5.2	5.6	5.6	5.7	5.6
30～34	6.1	6.2	6.1	5.7	5.5	5.5
35～39	6.1	5.9	5.8	6.1	6.2	6.3
40～44	6.0	6.3	6.1	6.0	6.3	6.0
45～49	4.7	4.6	4.7	5.1	5.3	5.8
50～54	3.9	4.1	4.0	3.9	3.8	4.1
55～59	4.8	4.5	4.5	4.3	4.3	4.0
60～64	7.7	6.8	6.1	5.5	5.3	5.0
65～69	6.2	6.6	7.1	6.9	6.7	5.8
70～74	3.9	4.0	3.9	3.6	4.3	4.9
75歳以上	1.1	1.2	1.4	1.8	2.7	3.5
(再 掲)						
0～19歳	36.2	37.1	37.0	37.3	35.5	34.9
うち未就学児	10.0	10.1	10.5	10.9	8.9	8.2
20～39	25.5	24.9	25.2	25.6	25.9	26.0
40～64	27.1	26.3	25.4	24.8	25.0	24.9
65～74	10.1	10.6	11.0	10.5	11.0	10.6

次に、平成30年における被扶養者の続柄別の年齢階級別構成割合を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は、協会（一般）63.5%、組合健保63.7%、法第3条第2項被保険者55.1%である。また、協会（一般）及び組合健保の子の大半は20歳未満であり、20歳以上の子の割合は、協会（一般）が9.5%、組合健保が7.9%である。

配偶者の割合は、協会（一般）32.1%、組合健保34.7%、法第3条第2項被保険者41.2%であり、協会（一般）は40～44歳、組合健保は45～49歳、法第3条第2項被保険者では65～69歳の階級が最も多い。

直系尊属の割合は、協会（一般）3.4%、組合健保1.2%、法第3条第2項被保険者1.7%である。いずれも60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。

また、その他の被扶養者（兄弟姉妹等）の割合は、協会（一般）1.0%、組合健保0.4%、法第3条第2項被保険者2.1%であり、いずれも各年齢階級に広く分布している。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成30年10月1日現在）

（1）協会（一般）

(単位: %)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	63.5	32.1	3.4	1.0
0～4歳	12.4	12.3	・	－	0.1
5～9	13.7	13.7	・	－	0.1
10～14	14.2	14.1	0.0	－	0.1
15～19	14.1	14.0	0.0	－	0.1
20～24	6.9	6.5	0.4	－	0.1
25～29	2.8	1.5	1.3	－	0.0
30～34	3.6	0.8	2.8	0.0	0.0
35～39	4.3	0.4	3.8	0.0	0.0
40～44	4.7	0.2	4.5	0.0	0.0
45～49	4.4	0.1	4.3	0.0	0.1
50～54	3.8	0.0	3.6	0.1	0.0
55～59	4.0	0.0	3.7	0.2	0.1
60～64	4.5	0.0	3.9	0.5	0.1
65～69	4.1	0.0	2.8	1.2	0.1
70～74	2.4	0.0	0.9	1.4	0.1
75歳以上	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
（再掲）未就学児	16.4	16.3	－	－	0.1

(2) 組合健保

(単位:%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	63.7	34.7	1.2	0.4
0～4歳	13.5	13.5	・	－	0.0
5～9	13.8	13.8	・	－	0.0
10～14	14.0	14.0	・	－	0.0
15～19	14.4	14.3	0.0	－	0.0
20～24	6.9	6.7	0.2	－	0.0
25～29	2.0	0.8	1.2	－	0.0
30～34	3.4	0.3	3.0	－	0.0
35～39	4.5	0.1	4.4	0.0	0.0
40～44	5.7	0.0	5.7	0.0	0.0
45～49	6.4	0.0	6.3	0.0	0.0
50～54	5.2	0.0	5.2	0.0	0.0
55～59	4.2	－	4.1	0.1	0.0
60～64	2.9	－	2.7	0.2	0.0
65～69	2.0	－	1.5	0.4	0.0
70～74	1.0	－	0.4	0.5	0.0
75歳以上	－	－	0.0	0.0	－
(再掲) 未就学児	17.7	17.7	－	－	0.0

(3) 法第3条第2項被保険者

(単位:%)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	55.1	41.2	1.7	2.1
0～4歳	5.7	5.6	・	－	0.1
5～9	8.8	8.5	・	－	0.3
10～14	9.7	9.4	・	－	0.3
15～19	10.8	10.6	－	－	0.2
20～24	8.6	8.0	0.5	－	0.2
25～29	5.6	4.0	1.6	－	0.1
30～34	5.5	3.0	2.3	－	0.2
35～39	6.3	2.7	3.4	－	0.2
40～44	6.0	1.8	4.1	－	0.1
45～49	5.8	1.0	4.7	－	0.1
50～54	4.1	0.3	3.8	0.0	0.0
55～59	4.0	0.2	3.8	0.0	0.1
60～64	5.0	0.0	4.8	0.1	0.1
65～69	5.8	0.0	5.4	0.2	0.1
70～74	4.9	－	4.3	0.5	0.1
75歳以上	3.5	0.0	2.6	0.8	0.1
(再掲) 未就学児	8.2	8.1	－	－	0.1

4. 年齢階級別扶養率

まず、年齢階級別にみた被保険者 1 人当たり被扶養者数（扶養率）について、平成25～30年までを示したものが表 5 であり、平成30年の総数をグラフにしたものが図 2 である。

年齢階級総数の扶養率は減少傾向にあり、平成30年には協会（一般）で0.658、組合健保で0.764である。法第 3 条第 2 項被保険者においても減少傾向にあり、平成30年は0.454である。

年齢階級別に扶養率の最近 6 年間の動きを見ると、ピークとなる年齢階級は協会（一般）が40～44歳で毎年同じだが、組合健保は平成29年までは45～49歳、平成30年は40～44歳である。法第 3 条第 2 項被保険者においても、ピークとなる年齢階級は40～44歳で毎年同じである。

また、平成30年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性の扶養率は年齢の上昇とともに概ね増加し、ピークは、協会（一般）、組合健保、法第 3 条第 2 項被保険者すべて40～44歳で、それぞれ1.449、1.618、0.647である。それ以降は年齢の上昇とともに減少しており、平均扶養率は、協会（一般）0.955、組合健保1.093、法第 3 条第 2 項被保険者0.482である。

女性の扶養率は、法第 3 条第 2 項被保険者の25～29歳を除いた全年齢階級で男性より低く、ピークは、協会（一般）及び組合健保は40～44歳でそれぞれ0.392、0.241、法第3条第 2 項被保険者は45～49歳で0.543ある。平均扶養率は、協会（一般）0.207、組合健保0.135、法第 3 条第 2 項被保険者0.265である。

表 5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月 1 日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	0.748	0.735	0.719	0.700	0.675	0.658	0.955	0.207
15～19歳	0.025	0.026	0.025	0.027	0.026	0.024	0.035	0.011
20～24	0.087	0.084	0.082	0.081	0.081	0.078	0.133	0.025
25～29	0.309	0.294	0.278	0.262	0.248	0.236	0.372	0.075
30～34	0.710	0.699	0.685	0.667	0.640	0.612	0.890	0.199
35～39	1.039	1.024	1.009	0.990	0.968	0.948	1.318	0.342
40～44	1.155	1.135	1.114	1.091	1.062	1.047	1.449	0.392
45～49	1.068	1.042	1.015	0.984	0.951	0.936	1.332	0.333
50～54	0.849	0.826	0.801	0.764	0.727	0.709	1.070	0.213
55～59	0.641	0.626	0.607	0.582	0.549	0.532	0.811	0.133
60～64	0.584	0.574	0.559	0.539	0.512	0.495	0.698	0.105
65～69	0.581	0.575	0.562	0.548	0.529	0.519	0.698	0.083
70～74	0.494	0.493	0.489	0.481	0.477	0.476	0.647	0.054
75歳以上	0.327	0.323	0.325	0.309	0.327	0.318	0.450	0.033

（注）平成29年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(2) 組合健保

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	0.868	0.851	0.837	0.804	0.781	0.764	1.093	0.135
15～19歳	0.008	0.008	0.007	0.004	0.015	0.008	0.011	0.002
20～24	0.060	0.057	0.053	0.044	0.045	0.036	0.055	0.012
25～29	0.234	0.222	0.211	0.211	0.188	0.182	0.284	0.042
30～34	0.632	0.638	0.629	0.602	0.587	0.576	0.854	0.106
35～39	1.046	1.020	1.009	0.991	0.974	0.965	1.382	0.189
40～44	1.263	1.241	1.215	1.171	1.148	1.145	1.618	0.241
45～49	1.344	1.287	1.255	1.199	1.164	1.130	1.592	0.224
50～54	1.220	1.189	1.136	1.072	1.035	1.026	1.408	0.169
55～59	0.903	0.890	0.867	0.821	0.797	0.760	1.026	0.096
60～64	0.734	0.713	0.725	0.688	0.664	0.636	0.826	0.063
65～69	0.694	0.669	0.711	0.698	0.685	0.668	0.815	0.058
70～74	0.629	0.612	0.750	0.716	0.695	0.678	0.815	0.050
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-

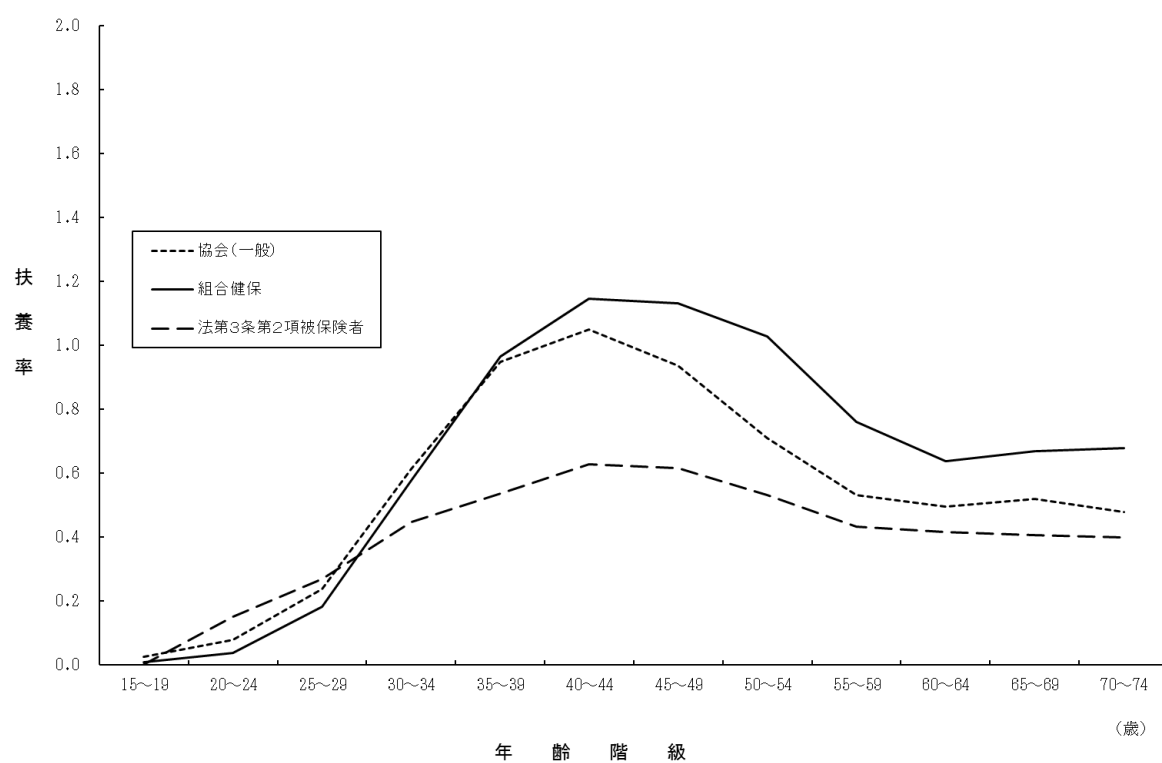
(注) 平成29年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	平成 25年	26年	27年	28年	29年	30年		
						総数	男性	女性
総 数	0.523	0.520	0.510	0.500	0.473	0.454	0.482	0.265
15～19歳	0.028	0.074	0.069	0.051	0.022	-	-	-
20～24	0.206	0.204	0.185	0.140	0.141	0.149	0.152	0.091
25～29	0.357	0.351	0.350	0.381	0.333	0.269	0.266	0.385
30～34	0.554	0.578	0.589	0.526	0.476	0.446	0.457	0.143
35～39	0.642	0.610	0.633	0.681	0.552	0.536	0.548	0.308
40～44	0.726	0.749	0.734	0.713	0.709	0.627	0.647	0.448
45～49	0.680	0.666	0.626	0.638	0.606	0.614	0.621	0.543
50～54	0.627	0.615	0.590	0.543	0.519	0.531	0.553	0.373
55～59	0.479	0.489	0.482	0.486	0.487	0.433	0.462	0.253
60～64	0.466	0.453	0.452	0.439	0.408	0.414	0.475	0.143
65～69	0.453	0.463	0.448	0.445	0.417	0.404	0.428	0.271
70～74	0.401	0.378	0.382	0.387	0.396	0.397	0.444	0.214
75歳以上	0.317	0.351	0.326	0.316	0.325	0.307	0.367	0.153

(注) 平成29年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成30年10月1日現在）



次に、平成30年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。

年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は協会（一般）0.418、組合健保0.487、法第3条第2項被保険者0.250、配偶者は協会（一般）0.212、組合健保0.266、法第3条第2項被保険者0.187、直系尊属は協会（一般）0.023、組合健保0.009、法第3条第2項被保険者0.008、その他は協会（一般）0.006、組合健保0.003、法第3条第2項被保険者0.009である。また、概ね組合健保が一番高く、法第3条第2項被保険者が一番低いが、直系尊属の扶養率は協会（一般）が、その他の扶養率は法第3条第2項被保険者が一番高い。

被保険者の年齢階級別に続柄別の扶養率をみると、子については山型をなしており、ピークは、協会（一般）及び、組合健保、法第3条第2項被保険者が40～44歳でそれぞれ0.763、0.821、0.434である。配偶者については、ピークは協会（一般）が65～69歳で0.417、組合健保及び法第3条第2項被保険者が、ともに70～74歳の0.613、0.251である。直系尊属については概ね山型をなしており、ピークは、協会（一般）及び組合健保がともに40～44歳でそれぞれ0.054、0.021、法第3条第2項被保険者が45～49歳の0.018である。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成30年10月1日現在）

（1）協会（一般）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.658	0.418	0.212	0.023	0.006
15～19歳	0.024	0.008	0.008	0.006	0.003
20～24	0.078	0.043	0.024	0.008	0.003
25～29	0.236	0.151	0.066	0.014	0.003
30～34	0.612	0.430	0.150	0.028	0.004
35～39	0.948	0.690	0.209	0.044	0.006
40～44	1.047	0.763	0.224	0.054	0.007
45～49	0.936	0.672	0.217	0.040	0.007
50～54	0.709	0.479	0.212	0.010	0.007
55～59	0.532	0.280	0.243	0.001	0.008
60～64	0.495	0.150	0.336	0.000	0.008
65～69	0.519	0.093	0.417	0.000	0.009
70～74	0.476	0.067	0.400	0.000	0.009
75歳以上	0.318	0.048	0.264	—	0.006

(2) 組合健保

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.764	0.487	0.266	0.009	0.003
15～19歳	0.008	0.003	0.002	0.002	0.000
20～24	0.036	0.021	0.012	0.002	0.000
25～29	0.182	0.117	0.059	0.006	0.001
30～34	0.576	0.398	0.165	0.011	0.003
35～39	0.965	0.699	0.246	0.017	0.003
40～44	1.145	0.821	0.299	0.021	0.004
45～49	1.130	0.793	0.318	0.015	0.004
50～54	1.026	0.669	0.350	0.004	0.003
55～59	0.760	0.366	0.390	0.000	0.003
60～64	0.636	0.154	0.479	0.000	0.003
65～69	0.668	0.079	0.584	0.000	0.004
70～74	0.678	0.065	0.613	—	0.001
75歳以上	—	—	—	—	—

(注) 組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

(3) 法第3条第2項被保険者

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	0.454	0.250	0.187	0.008	0.009
15～19歳	—	—	—	—	—
20～24	0.149	0.094	0.051	0.004	0.000
25～29	0.269	0.173	0.091	0.004	0.002
30～34	0.446	0.292	0.148	0.003	0.003
35～39	0.536	0.344	0.162	0.018	0.012
40～44	0.627	0.434	0.176	0.016	0.001
45～49	0.614	0.410	0.185	0.018	0.002
50～54	0.531	0.332	0.178	0.015	0.007
55～59	0.433	0.248	0.166	0.005	0.015
60～64	0.414	0.182	0.216	0.002	0.014
65～69	0.404	0.148	0.236	0.001	0.019
70～74	0.397	0.130	0.251	0.002	0.014
75歳以上	0.307	0.075	0.221	—	0.011

5. 標準報酬月額別扶養率

標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。男性についてみると、協会（一般）は概ね標準報酬月額19万円から53万円の間で、組合健保は概ね標準報酬月額18万円から68万円の間で、標準報酬月額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。

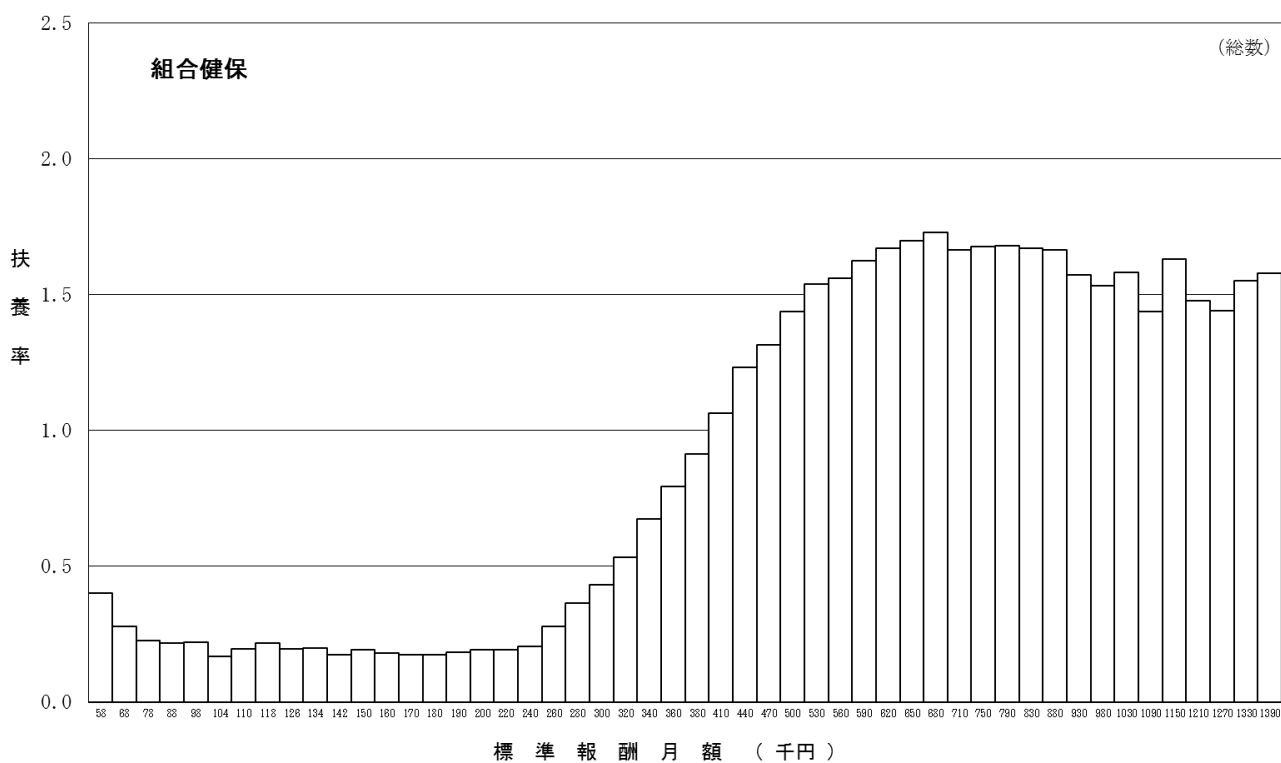
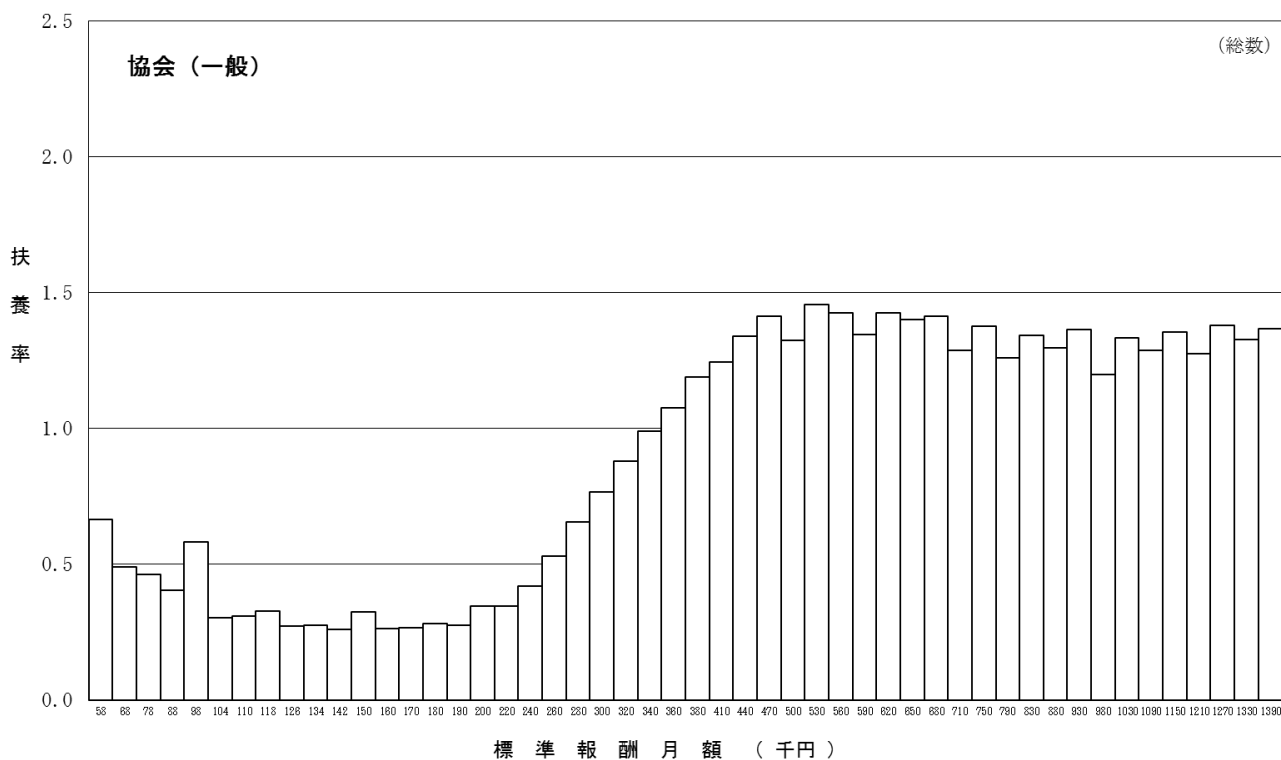
また、男性は標準報酬月額8万8千円から47万円における扶養率について、女性は標準報酬月額7万8千円から62万円の間における扶養率については、協会（一般）の方が組合健保よりも高い。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成30年10月1日現在）

標準報酬月額	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.658	0.955	0.207	0.764	1.093	0.135
58,000 円	0.664	0.913	0.183	0.400	0.444	0.333
68,000	0.491	0.748	0.163	0.278	0.143	0.364
78,000	0.461	0.766	0.168	0.226	0.800	0.115
88,000	0.405	0.683	0.197	0.218	0.455	0.159
98,000	0.583	0.871	0.186	0.220	0.349	0.163
104,000	0.303	0.530	0.195	0.167	0.179	0.163
110,000	0.308	0.545	0.199	0.197	0.359	0.139
118,000	0.327	0.579	0.204	0.216	0.388	0.162
126,000	0.272	0.465	0.201	0.194	0.305	0.160
134,000	0.275	0.476	0.195	0.199	0.301	0.169
142,000	0.259	0.431	0.192	0.175	0.260	0.151
150,000	0.325	0.571	0.186	0.192	0.353	0.143
160,000	0.264	0.429	0.186	0.181	0.283	0.147
170,000	0.265	0.422	0.183	0.175	0.279	0.137
180,000	0.280	0.435	0.184	0.173	0.273	0.130
190,000	0.274	0.414	0.185	0.183	0.306	0.127
200,000	0.347	0.535	0.185	0.194	0.314	0.126
220,000	0.346	0.504	0.192	0.192	0.319	0.104
240,000	0.419	0.591	0.203	0.206	0.338	0.092
260,000	0.531	0.719	0.215	0.279	0.434	0.103
280,000	0.656	0.850	0.230	0.365	0.534	0.101
300,000	0.766	0.971	0.237	0.432	0.607	0.119
320,000	0.880	1.073	0.257	0.534	0.741	0.116
340,000	0.990	1.179	0.271	0.676	0.889	0.139
360,000	1.077	1.264	0.271	0.795	0.998	0.160
380,000	1.189	1.366	0.294	0.914	1.124	0.153
410,000	1.243	1.429	0.275	1.065	1.256	0.176
440,000	1.339	1.504	0.297	1.232	1.411	0.207
470,000	1.412	1.563	0.306	1.317	1.479	0.233
500,000	1.323	1.524	0.247	1.437	1.580	0.285
530,000	1.455	1.597	0.293	1.541	1.686	0.230
560,000	1.426	1.582	0.256	1.562	1.689	0.191
590,000	1.345	1.538	0.234	1.626	1.748	0.238
620,000	1.425	1.571	0.263	1.670	1.783	0.259
650,000	1.402	1.567	0.245	1.700	1.810	0.311
680,000	1.413	1.556	0.270	1.729	1.820	0.291
710,000	1.288	1.489	0.224	1.666	1.793	0.214
750,000	1.377	1.541	0.261	1.676	1.782	0.208
790,000	1.259	1.471	0.213	1.680	1.803	0.226
830,000	1.342	1.501	0.241	1.671	1.807	0.188
880,000	1.298	1.478	0.221	1.665	1.796	0.353
930,000	1.364	1.522	0.276	1.572	1.681	0.420
980,000	1.198	1.410	0.233	1.535	1.668	0.358
1,030,000	1.332	1.483	0.330	1.582	1.718	0.143
1,090,000	1.287	1.458	0.272	1.438	1.565	0.324
1,150,000	1.356	1.509	0.328	1.631	1.745	0.167
1,210,000	1.275	1.455	0.252	1.478	1.610	0.211
1,270,000	1.379	1.538	0.310	1.440	1.555	0.333
1,330,000	1.326	1.490	0.292	1.552	1.697	0.222
1,390,000	1.366	1.516	0.281	1.578	1.680	0.352

（注）組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

図3 標準報酬月額別扶養率（平成30年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額を加算したものを総報酬額とし、その総報酬額階級別にみた扶養率を示したものが表8である。男性についてみると、協会（一般）は概ね総報酬額階級200万円から850万円の間で、組合健保は概ね総報酬額階級200万円から1,200万円の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。

また、男性は総報酬額階級750万円未満における扶養率について、女性は総報酬額階級100万円以上1,150万円未満における扶養率については、協会（一般）の方が組合健保よりも高い。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成30年10月1日現在）

総報酬額階級	協会（一般）			組合健保		
	総 数	男性	女性	総 数	男性	女性
総 数	0.658	0.955	0.207	0.764	1.093	0.135
～ 999,000 円	0.585	0.859	0.175	0.320	0.464	0.234
1,000,000 ～ 1,499,000	0.425	0.722	0.198	0.199	0.317	0.157
1,500,000 ～ 1,999,000	0.289	0.490	0.190	0.185	0.287	0.152
2,000,000 ～ 2,499,000	0.307	0.480	0.182	0.175	0.282	0.129
2,500,000 ～ 2,999,000	0.345	0.509	0.190	0.204	0.340	0.114
3,000,000 ～ 3,499,000	0.477	0.670	0.203	0.287	0.464	0.107
3,500,000 ～ 3,999,000	0.609	0.819	0.217	0.314	0.482	0.096
4,000,000 ～ 4,499,000	0.775	0.993	0.237	0.414	0.600	0.098
4,500,000 ～ 4,999,000	0.961	1.185	0.253	0.572	0.774	0.134
5,000,000 ～ 5,499,000	1.112	1.336	0.282	0.735	0.945	0.158
5,500,000 ～ 5,999,000	1.237	1.448	0.304	0.891	1.113	0.159
6,000,000 ～ 6,499,000	1.286	1.497	0.285	1.055	1.275	0.174
6,500,000 ～ 6,999,000	1.392	1.580	0.303	1.164	1.351	0.184
7,000,000 ～ 7,499,000	1.387	1.576	0.275	1.298	1.471	0.220
7,500,000 ～ 7,999,000	1.471	1.636	0.294	1.400	1.551	0.237
8,000,000 ～ 8,499,000	1.503	1.651	0.291	1.485	1.633	0.270
8,500,000 ～ 8,999,000	1.410	1.588	0.239	1.578	1.717	0.237
9,000,000 ～ 9,499,000	1.379	1.563	0.232	1.595	1.717	0.189
9,500,000 ～ 9,999,000	1.451	1.598	0.249	1.641	1.767	0.222
10,000,000 ～ 10,499,000	1.528	1.657	0.292	1.656	1.770	0.217
10,500,000 ～ 10,999,000	1.373	1.542	0.220	1.678	1.789	0.191
11,000,000 ～ 11,499,000	1.430	1.581	0.258	1.715	1.800	0.256
11,500,000 ～ 11,999,000	1.234	1.442	0.234	1.731	1.829	0.394
12,000,000 ～ 12,499,000	1.360	1.512	0.306	1.758	1.863	0.227
12,500,000 ～ 12,999,000	1.425	1.572	0.261	1.699	1.798	0.382
13,000,000 ～ 13,499,000	1.301	1.469	0.264	1.657	1.773	0.145
13,500,000 ～ 13,999,000	1.341	1.496	0.308	1.790	1.894	0.244
14,000,000 ～ 14,499,000	1.410	1.553	0.293	1.738	1.823	0.308
14,500,000 ～ 14,999,000	1.271	1.452	0.250	1.819	1.922	0.303
15,000,000 ～ 15,499,000	1.350	1.512	0.318	1.699	1.793	0.379
15,500,000 ～ 15,999,000	1.310	1.477	0.294	1.754	1.867	0.444
16,000,000 ～ 16,499,000	1.442	1.577	0.335	1.811	1.908	0.267
16,500,000 ～ 16,999,000	1.341	1.499	0.278	1.586	1.700	0.277
17,000,000 ～ 17,499,000	1.518	1.643	0.353	1.682	1.744	0.556
17,500,000 ～ 17,999,000	1.489	1.620	0.358	1.770	1.822	0.250
18,000,000 ～ 18,499,000	1.507	1.632	0.319	1.729	1.783	0.000
18,500,000 ～ 18,999,000	1.510	1.627	0.232	1.837	1.979	0.125
19,000,000 ～ 19,499,000	1.585	1.686	0.255	1.676	1.781	0.000
19,500,000 ～ 19,999,000	1.498	1.615	0.282	1.682	1.847	0.333
20,000,000 ～ 20,499,000	1.570	1.668	0.295	1.500	1.685	0.250
20,500,000 ～ 20,999,000	1.479	1.575	0.340	1.578	1.651	-
21,000,000 ～ 21,499,000	1.553	1.636	0.293	1.436	1.514	-
21,500,000 ～ 21,999,000	1.462	1.559	0.282	1.698	1.735	1.250
22,000,000 ～	1.449	1.535	0.284	1.557	1.610	0.583

(注1) 組合健保は100分の1の抽出調査なので調査対象が少数となる箇所がある。

(注2) 総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額(平成29年10月1日から平成30年9月30日までの1年間に支払われたもの)を加えたものとしている。

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

まず、被保険者の平均標準報酬月額を年齢階級別に示したものが表9－1及び図4である。

男性の平均標準報酬月額は山型をなしており、ピークは協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が387,758円、組合健保が542,205円である。これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、協会（一般）は約2.06倍、組合健保は約2.71倍である。また、協会（一般）、組合健保ともに50歳ごろまでの平均標準報酬月額は、年齢階級の上昇とともに約1～6万円程度ずつ増加するが、55歳を過ぎると概ね減少する傾向にある。

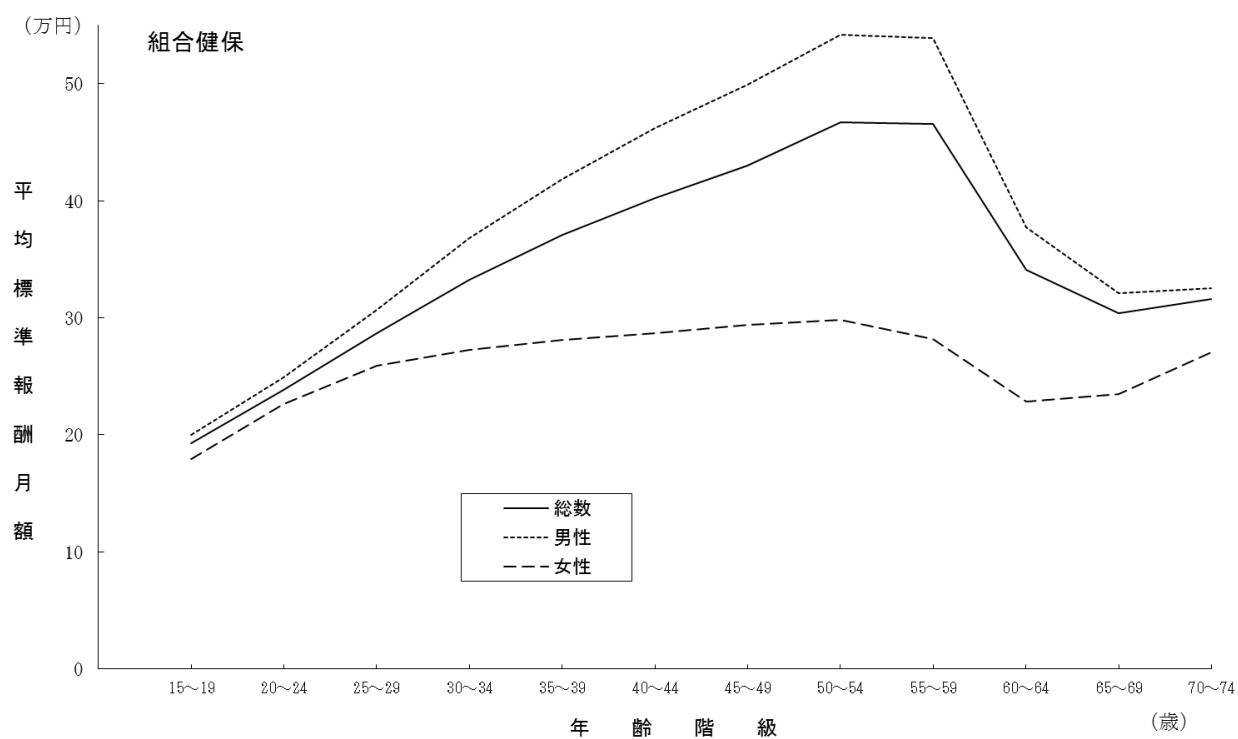
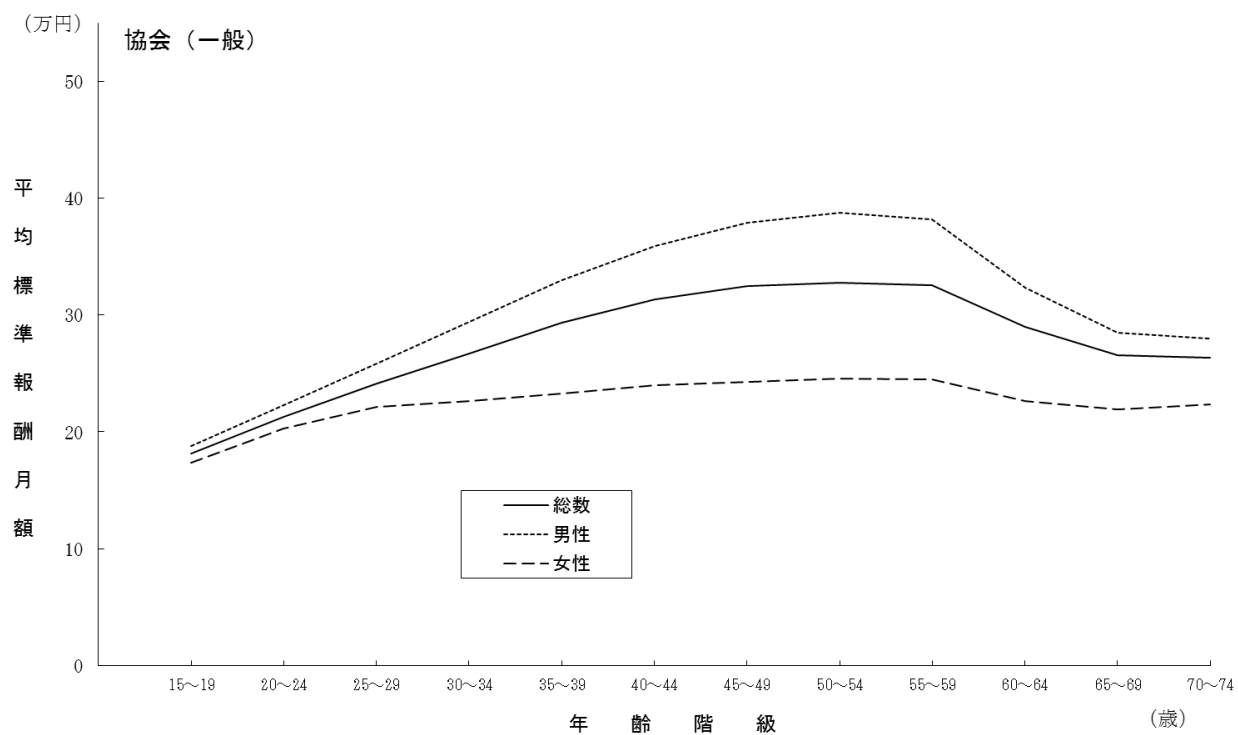
一方、女性の平均標準報酬月額は男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかであり、協会（一般）は1万円～2万円台、組合健保は1万円～4万円台で推移している。

組合健保の協会（一般）に対する比率は、男性が55～59歳、女性が50～55歳の階級で最も大きくなっており、それぞれ約1.41倍、約1.21倍である。また、年齢階級総数では、男性が約1.30倍、女性が約1.18倍である。

表9－1 年齢階級別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	291,181	330,273	231,817	374,475	427,638	272,641	1.286	1.295	1.176
15～19歳	181,494	187,901	173,401	193,071	199,897	179,066	1.064	1.064	1.033
20～24	212,537	222,905	202,527	238,754	249,421	226,084	1.123	1.119	1.116
25～29	241,583	258,512	221,692	286,759	307,049	258,812	1.187	1.188	1.167
30～34	266,751	293,884	226,519	332,718	368,106	272,927	1.247	1.253	1.205
35～39	293,186	329,724	233,137	370,703	418,821	281,233	1.264	1.270	1.206
40～44	313,629	358,950	239,714	402,136	462,351	287,179	1.282	1.288	1.198
45～49	324,873	378,889	242,661	430,109	499,406	294,041	1.324	1.318	1.212
50～54	328,009	387,758	245,916	467,007	542,205	298,165	1.424	1.398	1.212
55～59	325,655	382,238	245,055	465,422	539,051	282,108	1.429	1.410	1.151
60～64	290,180	323,611	226,288	340,641	377,644	228,646	1.174	1.167	1.010
65～69	265,892	284,891	219,574	304,111	320,800	234,870	1.144	1.126	1.070
70～74	263,626	279,739	223,794	315,722	325,494	270,733	1.198	1.164	1.210
75歳以上	251,463	266,998	217,944	-	-	-	-	-	-
（再掲） 介護（2号）	317,585	367,057	240,885	427,579	492,674	285,690	1.346	1.342	1.186

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）



次に、平成30年の平均標準報酬月額の伸び率を示したものが表9－2である。

平均標準報酬月額の伸び率は、協会（一般）の総数で1.24％増、男性で1.23％増、女性で1.60％増、組合健保の総数で0.84％増、男性で0.82％増、女性で1.40％増である。この伸び率を報酬額変化分の要因と年齢構成の変化による分の要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は1.11％増、女性は1.55％増、組合健保の男性は0.73％増、女性は1.45％増、年齢構成の変化による分の影響で、協会（一般）の男性は0.12％増、女性は0.05％増、組合健保の男性は0.08％増、女性は0.05％減である。

なお、要因分解における報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成29年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均標準報酬月額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表9－2 平均標準報酬月額の伸び率の要因分解

(1) 協会（一般）

	平成29年平均 標準報酬月額 (円)	平成30年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額 変化分	年齢構成の 変化による分
総数	287,610	291,181	1.24	1.13	0.11
男性	326,247	330,273	1.23	1.11	0.12
女性	228,168	231,817	1.60	1.55	0.05

(注) 総数の伸び率1.24％のうち男女比率の変化分による影響は▲0.11％である。

(2) 組合健保

	平成29年平均 標準報酬月額 (円)	平成30年平均 標準報酬月額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額 変化分	年齢構成の 変化による分
総数	371,340	374,475	0.84	0.73	0.11
男性	424,173	427,638	0.82	0.73	0.08
女性	268,873	272,641	1.40	1.45	▲ 0.05

(注) 総数の伸び率0.84％のうち男女比率の変化分による影響は▲0.12％である。

8. 年齢階級別平均標準賞与額

まず、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

男性の平均標準賞与額は協会（一般）、組合健保ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピーク時の平均標準賞与額は、協会（一般）が45～49歳の583,814円、組合健保が50～54歳の1,975,140円である。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると、協会（一般）が約4.62倍、組合健保が約9.00倍であり、いずれにおいても平均標準報酬月額の場合より比率が大きく、特に組合健保で大きい。

一方、女性の平均標準賞与額も、男性とほぼ同様の傾向にあるが、男性と比べるとなだらかである。また、組合健保においては、年齢の上昇に伴い男性との差は大きくなる傾向にあり、その中でも40～50歳代では男性よりもかなり低い金額である。

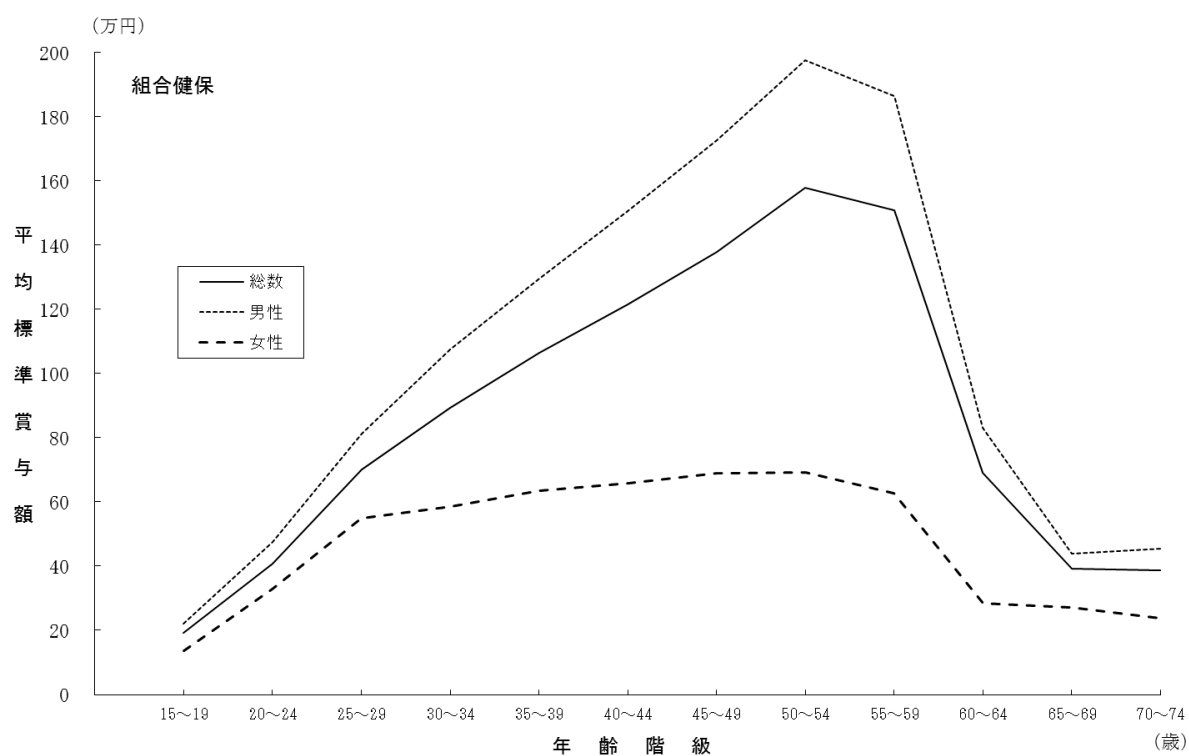
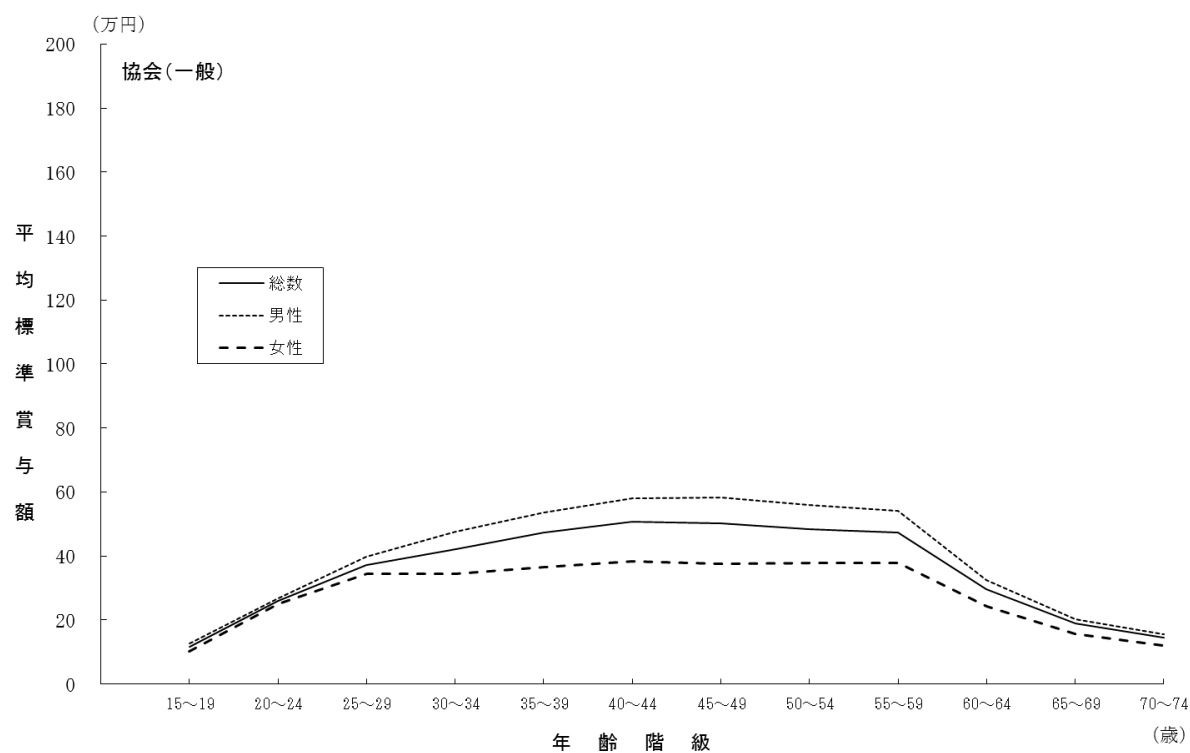
組合健保の協会（一般）に対する比率は、年齢階級総数では男性が約2.90倍、女性が約1.74倍であり、いずれにおいても平均標準報酬月額の場合より比率が大きい。

表10 年齢階級別平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	413,262	466,073	333,759	1,082,468	1,350,954	580,403	2.619	2.899	1.739
15～19 歳	115,079	126,271	100,942	192,657	219,498	137,590	1.674	1.738	1.363
20～24	258,781	266,683	251,152	408,382	475,525	328,477	1.578	1.783	1.308
25～29	372,277	397,282	342,884	701,549	812,252	548,674	1.884	2.045	1.600
30～34	422,086	474,835	343,936	892,893	1,074,120	586,334	2.115	2.262	1.705
35～39	472,020	536,593	366,020	1,065,590	1,296,399	635,849	2.258	2.416	1.737
40～44	506,254	581,059	384,399	1,214,342	1,505,934	657,043	2.399	2.592	1.709
45～49	500,751	583,814	374,488	1,377,431	1,727,031	690,139	2.751	2.958	1.843
50～54	483,581	559,712	379,132	1,579,399	1,975,140	692,206	3.266	3.529	1.826
55～59	473,264	541,164	376,759	1,509,346	1,864,710	626,024	3.189	3.446	1.662
60～64	296,310	324,723	242,715	690,159	831,927	284,583	2.329	2.562	1.172
65～69	188,164	202,412	155,473	392,982	439,409	270,807	2.089	2.171	1.742
70～74	144,508	154,628	120,814	386,740	455,146	238,474	2.676	2.943	1.974
75歳以上	92,153	101,635	71,881	-	-	-	-	-	-
（再掲）									
介護（2号）	462,202	528,249	360,194	1,335,495	1,657,611	638,949	2.889	3.138	1.774

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）



次に、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

年齢階級総数における平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、協会（一般）は約1.42ヶ月分、組合健保は約2.89ヶ月分である。

この比率を年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに山型をなしており、ピークは協会（一般）が40～44歳の約1.61ヶ月分、組合健保が50～54歳の約3.38ヶ月分である。その後は年齢の上昇とともに減少傾向にある。

また、この比率を男女別でみると、協会（一般）の男性は35～39歳が、女性は40～44歳がピークであり、それぞれ約1.63ヶ月分、約1.60ヶ月分である。組合健保は男性が50～54歳の約3.64ヶ月分、女性が45～49歳の約2.35ヶ月分がピークである。

なお、図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、協会（一般）においては男性と女性の間に大きな差は見られないが、組合健保においては男性の方が女性よりも高い。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成30年10月1日現在）
（1）協会（一般）

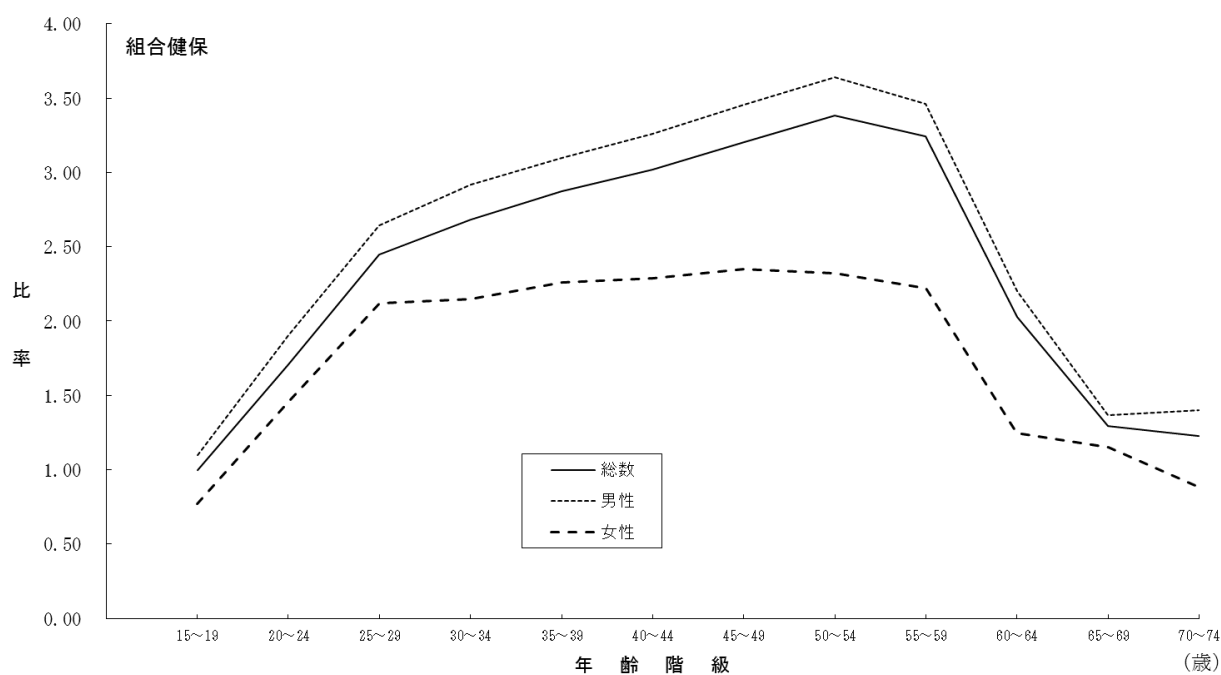
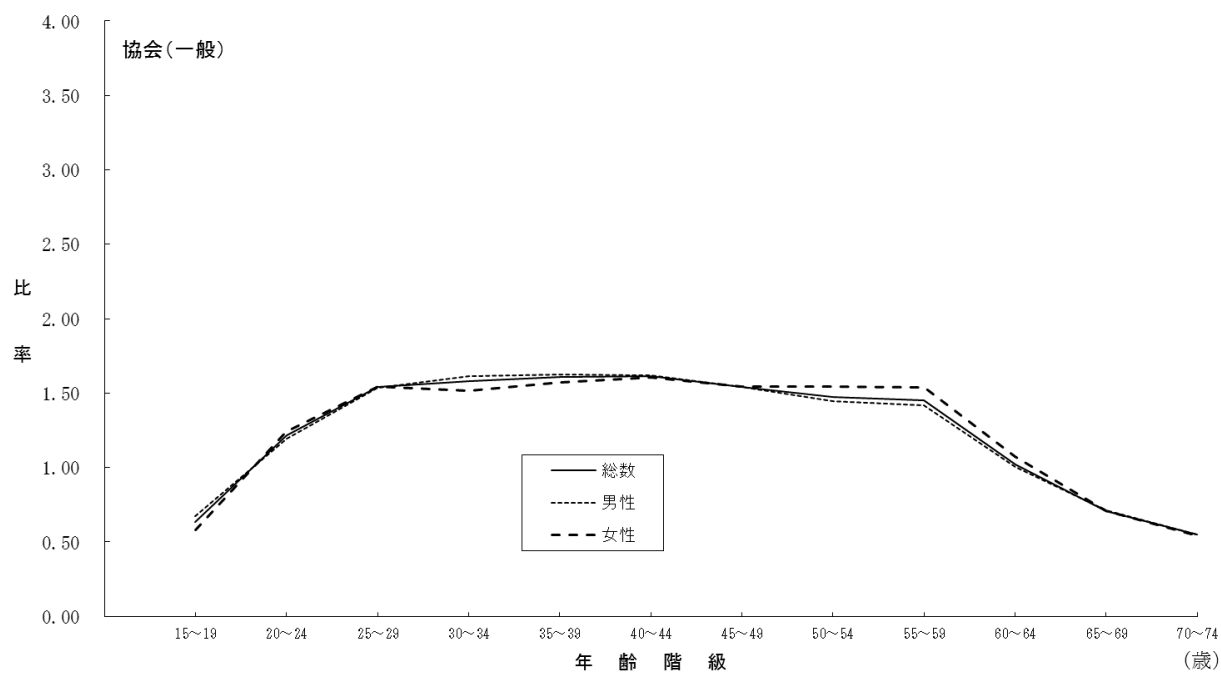
年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	291,181	330,273	231,817	413,262	466,073	333,759	1.419	1.411	1.440
15～19歳	181,494	187,901	173,401	115,079	126,271	100,942	0.634	0.672	0.582
20～24	212,537	222,905	202,527	258,781	266,683	251,152	1.218	1.196	1.240
25～29	241,583	258,512	221,692	372,277	397,282	342,884	1.541	1.537	1.547
30～34	266,751	293,884	226,519	422,086	474,835	343,936	1.582	1.616	1.518
35～39	293,186	329,724	233,137	472,020	536,593	366,020	1.610	1.627	1.570
40～44	313,629	358,950	239,714	506,254	581,059	384,399	1.614	1.619	1.604
45～49	324,873	378,889	242,661	500,751	583,814	374,488	1.541	1.541	1.543
50～54	328,009	387,758	245,916	483,581	559,712	379,132	1.474	1.443	1.542
55～59	325,655	382,238	245,055	473,264	541,164	376,759	1.453	1.416	1.537
60～64	290,180	323,611	226,288	296,310	324,723	242,715	1.021	1.003	1.073
65～69	265,892	284,891	219,574	188,164	202,412	155,473	0.708	0.710	0.708
70～74	263,626	279,739	223,794	144,508	154,628	120,814	0.548	0.553	0.540
75歳以上	251,463	266,998	217,944	92,153	101,635	71,881	0.366	0.381	0.330
（再掲） 介護（2号）	317,585	367,057	240,885	462,202	528,249	360,194	1.455	1.439	1.495

（2）組合健保

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	374,475	427,638	272,641	1,082,468	1,350,954	580,403	2.891	3.159	2.129
15～19歳	193,071	199,897	179,066	192,657	219,498	137,590	0.998	1.098	0.768
20～24	238,754	249,421	226,084	408,382	475,525	328,477	1.710	1.907	1.453
25～29	286,759	307,049	258,812	701,549	812,252	548,674	2.446	2.645	2.120
30～34	332,718	368,106	272,927	892,893	1,074,120	586,334	2.684	2.918	2.148
35～39	370,703	418,821	281,233	1,065,590	1,296,399	635,849	2.875	3.095	2.261
40～44	402,136	462,351	287,179	1,214,342	1,505,934	657,043	3.020	3.257	2.288
45～49	430,109	499,406	294,041	1,377,431	1,727,031	690,139	3.203	3.458	2.347
50～54	467,007	542,205	298,165	1,579,399	1,975,140	692,206	3.382	3.643	2.322
55～59	465,422	539,051	282,108	1,509,346	1,864,710	626,024	3.243	3.459	2.219
60～64	340,641	377,644	228,646	690,159	831,927	284,583	2.026	2.203	1.245
65～69	304,111	320,800	234,870	392,982	439,409	270,807	1.292	1.370	1.153
70～74	315,722	325,494	270,733	386,740	455,146	238,474	1.225	1.398	0.881
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
（再掲） 介護（2号）	427,579	492,674	285,690	1,335,495	1,657,611	638,949	3.123	3.365	2.237

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

図6 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成30年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

まず、被保険者の平均総報酬額を年齢階級別に示したものが表12－1及び図7である。

男性の平均総報酬額は協会（一般）、組合健保ともに標準報酬月額と同様の山型をなしており、ピークは協会（一般）、組合健保ともに50～54歳で、協会（一般）が5,210,167円、組合健保が8,472,668円である。女性についても概ね男性とほぼ同様の傾向にあり、協会（一般）は50～54歳、組合健保は45～49歳がピークだが、男性と比べるとなだらかであり、年齢階級による格差があまりみられない。

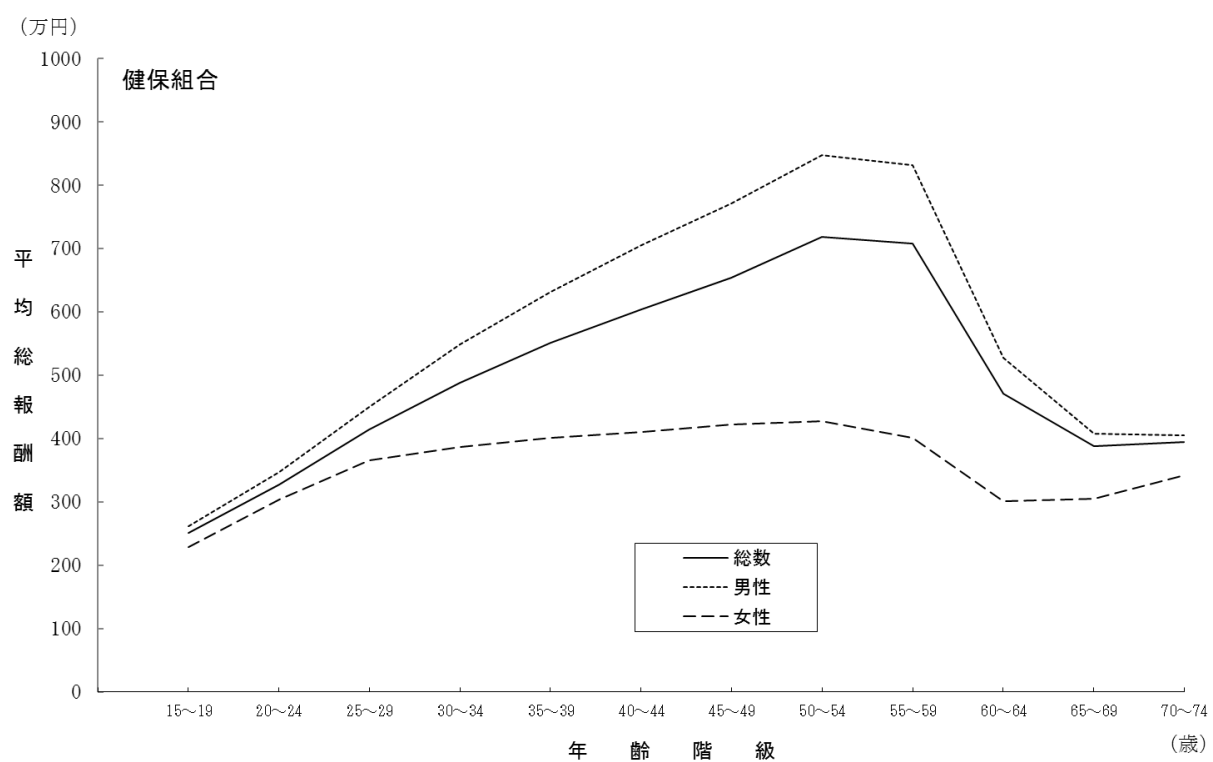
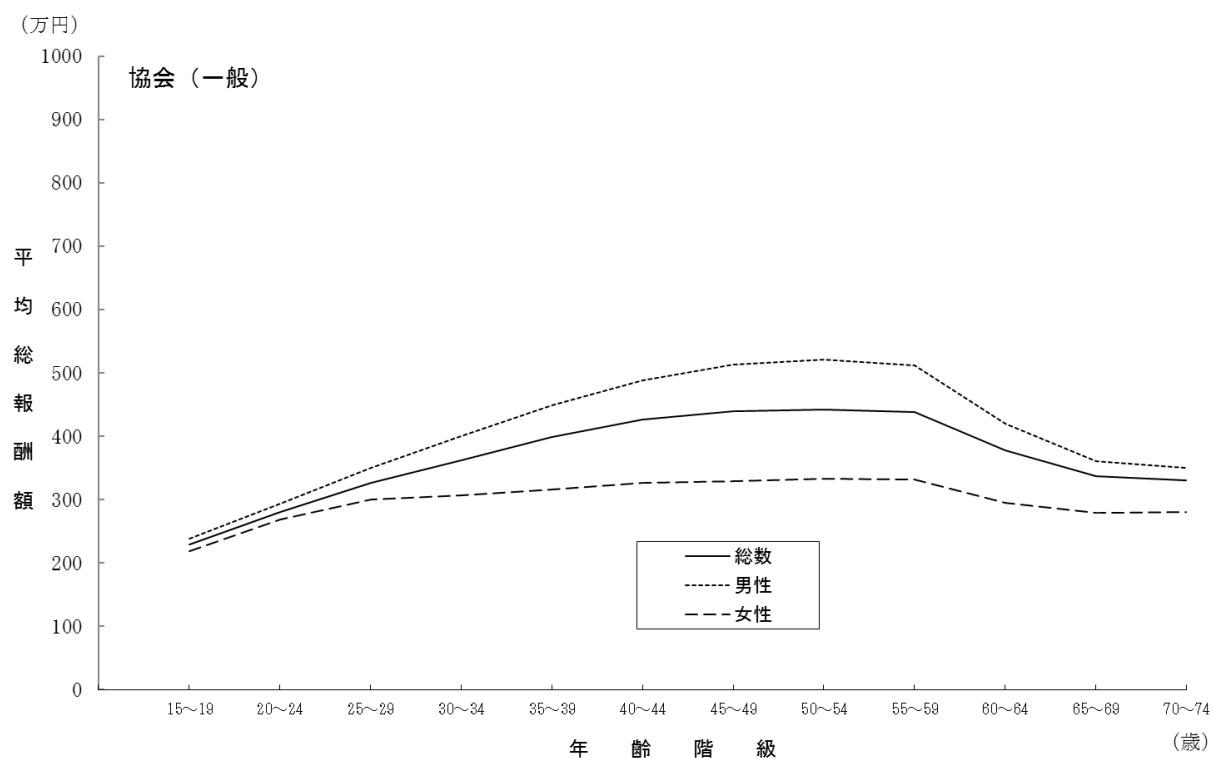
組合健保の協会（一般）に対する比率は、男性が50～55歳の約1.63倍、女性が45～49歳の約1.28倍で最も大きくなっており、年齢階級総数では男性が約1.46倍、女性が約1.24倍となっている。

表12－1 年齢階級別平均総報酬額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	① 協会（一般）			② 組合健保			比率（②／①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	3,903,038	4,422,811	3,113,747	5,548,249	6,436,868	3,846,097	1.422	1.455	1.235
15～19	2,292,949	2,381,023	2,181,697	2,509,507	2,618,262	2,286,386	1.094	1.100	1.048
20～24	2,808,852	2,941,176	2,681,107	3,272,628	3,468,050	3,040,503	1.165	1.179	1.134
25～29	3,270,251	3,498,423	3,002,164	4,140,483	4,495,220	3,651,892	1.266	1.285	1.216
30～34	3,621,473	3,999,471	3,061,011	4,882,702	5,488,488	3,859,178	1.348	1.372	1.261
35～39	3,988,320	4,490,843	3,162,428	5,510,651	6,318,736	4,008,078	1.382	1.407	1.267
40～44	4,267,824	4,885,931	3,259,751	6,035,931	7,049,708	4,100,527	1.414	1.443	1.258
45～49	4,397,313	5,127,968	3,285,274	6,534,461	7,715,244	4,215,934	1.486	1.505	1.283
50～54	4,417,696	5,210,167	3,328,874	7,177,081	8,472,668	4,268,105	1.625	1.626	1.282
55～59	4,378,534	5,124,566	3,315,851	7,078,873	8,313,271	4,005,590	1.617	1.622	1.208
60～64	3,771,411	4,198,884	2,954,430	4,714,122	5,276,114	3,013,152	1.250	1.257	1.020
65～69	3,365,683	3,603,557	2,785,757	3,879,655	4,081,197	3,043,472	1.153	1.133	1.093
70～74	3,299,893	3,500,489	2,804,006	3,939,443	4,053,727	3,413,284	1.194	1.158	1.217
75歳以上	3,107,661	3,303,061	2,686,056	-	-	-	-	-	-
（再掲） 介護（2号）	4,269,833	4,928,285	3,249,002	6,447,546	7,542,139	4,061,635	1.510	1.530	1.250

（注）総報酬額は、標準報酬月額の12ヶ月分に標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものとしている。

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成30年10月1日現在）



次に、平成30年の平均総報酬額の伸び率を示したものが表12－2である。

平均総報酬額の伸び率は、協会（一般）の総数で1.39％増、男性で1.39％増、女性で1.74％増、組合健保の総数で1.18％増、男性で1.22％増、女性で1.64％増となっている。この伸び率を報酬額変化分の要因と年齢構成の変化による分の要因に分解すると、報酬額変化分の影響で、協会（一般）の男性は1.31％増、女性は1.71％増、組合健保の男性は0.92％増、女性は1.67％増、年齢構成の変化による分の影響で、協会（一般）の男性は0.08％増、女性は0.03％増、組合健保の男性は0.30％増、女性は0.03％減となっている。

なお、要因分解における報酬額変化分とは、年齢階級別の被保険者数を平成29年の調査客体数で固定し、年齢階級別の平均総報酬額のみを変動させてその伸び率を算出したものである。

表12－2 平均総報酬額の伸び率の要因分解

（１）協会（一般）

	平成29年 平均総報酬額 (円)	平成30年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額 変化分	年齢構成の 変化による分
総数	3,849,368	3,903,038	1.39	1.32	0.08
男性	4,362,217	4,422,811	1.39	1.31	0.08
女性	3,060,362	3,113,747	1.74	1.71	0.03

（注）総数の伸び率1.39％のうち男女比率の変化分による影響は▲0.11％である。

（２）組合健保

	平成29年 平均総報酬額 (円)	平成30年 平均総報酬額 (円)	伸び率 (%)	要因分解(%)	
				報酬額 変化分	年齢構成の 変化による分
総数	5,483,440	5,548,249	1.18	0.84	0.34
男性	6,359,598	6,436,868	1.22	0.92	0.30
女性	3,784,195	3,846,097	1.64	1.67	▲ 0.03

（注）総数の伸び率1.18％のうち男女比率の変化分による影響は▲0.13％である。

10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、協会（一般）は0.382、組合健保は0.190となっており、協会（一般）の方が組合健保よりも割合が高い。

次に男女別、年齢階級別にみると、男性については、協会（一般）、組合健保ともに年齢の上昇に伴っていったん減少したのち、再び上昇する傾向にある。また、最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が30～34歳で0.315、組合健保が50～54歳で0.097である。逆に最も割合の高い年齢階級は、75歳未満では、協会（一般）、組合健保ともに70～74歳で、それぞれ0.721、0.565である。

女性についても、概ね男性と同じような傾向にある。最も割合の低い年齢階級は、協会（一般）が25～29歳で0.343、組合健保が55～59歳で0.260である。逆に最も割合の高い年齢階級は、75歳未満では、協会（一般）、組合健保ともに70～74歳で、それぞれ0.700、0.488となっている。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成30年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性
総 数	0.382	0.384	0.379	0.190	0.137	0.290
15～19歳	0.394	0.376	0.416	0.236	0.170	0.371
20～24	0.365	0.366	0.364	0.237	0.187	0.297
25～29	0.336	0.329	0.343	0.203	0.154	0.270
30～34	0.331	0.315	0.354	0.194	0.137	0.290
35～39	0.330	0.317	0.351	0.177	0.117	0.287
40～44	0.335	0.325	0.352	0.168	0.101	0.297
45～49	0.358	0.351	0.367	0.161	0.097	0.288
50～54	0.374	0.380	0.366	0.153	0.097	0.280
55～59	0.381	0.391	0.368	0.156	0.115	0.260
60～64	0.459	0.470	0.439	0.286	0.263	0.351
65～69	0.595	0.607	0.567	0.444	0.463	0.394
70～74	0.714	0.721	0.700	0.541	0.565	0.488
75歳以上	0.840	0.850	0.820	—	—	—

（注1）標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われたもの）0円の被保険者数を被保険者総数で除して算出している。

（注2）任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

まず、被保険者期間（資格取得後平成30年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かについて、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で協会（一般）が14.3%、組合健保が14.1%である。また、学卒者の新規加入の影響により、15～19歳で1年未満の被保険者の割合が高くなっており、その後は年齢の上昇に伴って減少する傾向にある。なお、定年後の再就職による加入の影響により、60～64歳の1年未満の被保険者の割合は、前後の年齢階級の割合と比べて高くなっている。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成30年10月1日現在）

(単位：%)

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総数	100.0	14.3	85.7	100.0	14.1	85.9
15～19歳	100.0	70.5	29.5	100.0	75.0	25.0
20～24	100.0	34.6	65.4	100.0	40.0	60.0
25～29	100.0	19.8	80.2	100.0	18.8	81.2
30～34	100.0	15.0	85.0	100.0	13.8	86.2
35～39	100.0	12.5	87.5	100.0	11.5	88.5
40～44	100.0	11.3	88.7	100.0	10.2	89.8
45～49	100.0	10.8	89.2	100.0	9.2	90.8
50～54	100.0	10.1	89.9	100.0	7.9	92.1
55～59	100.0	9.1	90.9	100.0	7.0	93.0
60～64	100.0	14.1	85.9	100.0	20.0	80.0
65～69	100.0	12.2	87.8	100.0	9.3	90.7
70～74	100.0	9.3	90.7	100.0	3.7	96.3
75歳以上	100.0	4.7	95.3	—	—	—

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額を比較したものが表15である。

平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数では協会（一般）よりも組合健保の方がやや大きい。年齢階級別にみると、75歳未満では、協会（一般）、組合健保ともに20～24歳で最も小さく、協会（一般）は50～54歳、組合健保は45～49歳の階級で最も大きい。また、全体の傾向として、協会（一般）よりも組合健保の方が大きい傾向にある。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
	円	円		円	円	
総 数	233,592	300,773	1.288	282,668	389,537	1.378
15～19歳	175,349	196,212	1.119	183,972	220,309	1.198
20～24	202,458	217,879	1.076	222,378	249,653	1.123
25～29	223,594	246,021	1.100	254,135	294,330	1.158
30～34	238,512	271,753	1.139	286,281	340,125	1.188
35～39	249,086	299,515	1.202	313,750	378,088	1.205
40～44	252,148	321,423	1.275	311,338	412,467	1.325
45～49	253,200	333,538	1.317	319,577	441,304	1.381
50～54	254,684	336,264	1.320	349,731	477,126	1.364
55～59	254,149	332,821	1.310	388,054	471,248	1.214
60～64	238,943	298,576	1.250	306,416	349,175	1.140
65～69	216,583	272,741	1.259	258,173	308,807	1.196
70～74	216,001	268,503	1.243	278,710	317,125	1.138
75歳以上	233,480	252,352	1.081	—	—	—

最後に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準賞与額を比較したものが表16である。

平均標準賞与額の被保険者期間による比率は、年齢階級総数では組合健保よりも協会（一般）の方が大きい。年齢階級別にみると、協会（一般）、組合健保ともに60～64歳で最も小さく、協会（一般）は35～39歳、組合健保は70～74歳で最も大きい。

表16 年齢階級別、被保険者期間別平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	協会（一般）			組合健保		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ③	1年以上 ④	比率 ④／③
	円	円		円	円	
総数	45,260	472,383	10.437	218,661	1,227,202	5.612
15～19歳	34,881	307,093	8.804	63,570	579,087	9.109
20～24	36,728	376,156	10.242	71,237	633,256	8.889
25～29	37,239	454,146	12.195	108,923	839,334	7.706
30～34	40,108	488,675	12.184	158,594	1,010,097	6.369
35～39	43,538	532,333	12.227	214,969	1,175,895	5.470
40～44	46,328	563,335	12.160	238,512	1,325,457	5.557
45～49	47,542	554,365	11.660	264,542	1,490,070	5.633
50～54	48,732	531,318	10.903	395,157	1,681,533	4.255
55～59	50,102	514,137	10.262	429,696	1,590,734	3.702
60～64	87,397	327,451	3.747	645,753	702,156	1.087
65～69	31,902	204,572	6.412	138,319	431,975	3.123
70～74	20,993	154,153	7.343	28,278	418,577	14.802
75歳以上	6,514	95,979	14.735	-	-	-

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特退職被保険者を除いて算出している。

1 2. 業態別被保険者構成割合、扶養率等

業態別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

業態別にみた被保険者の構成割合について、高い順にみると、協会（一般）は製造業の17.1%、医療・福祉の16.9%、卸売業・小売業の13.7%、組合健保は製造業の31.1%、卸売業・小売業の16.7%、情報通信業の10.0%である。

扶養率の高い業態は、協会（一般）、組合健保ともに電気・ガス・熱供給・水道業で、それぞれ0.937、1.257である。逆に低い業態は、協会（一般）は公務で0.299、組合健保は宿泊業、飲食サービス業で0.419である。

平均標準報酬月額の最も高い業態は、協会（一般）は情報通信業で344,146円、組合健保は電気・ガス・熱供給・水道業で521,592円である。逆に最も低い業態は、協会（一般）は公務で193,217円、組合健保は宿泊業・飲食サービス業で274,725円である。また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）が約1.78倍、組合健保が約1.90倍である。

また、平均標準賞与額の最も高い業態は、協会（一般）は電気・ガス・熱供給・水道業で711,698円、組合健保は公務で1,758,833円である。逆に最も低い業態は、協会（一般）、組合健保ともに宿泊業・飲食サービス業であり、それぞれ188,082円、383,575円である。また、最高額と最低額との比率は、協会（一般）が約3.78倍、組合健保が約4.59倍である。

表17 業態別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

業 態 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準 報酬月額	平均標準 賞与額	構成割合	扶養率	平均標準 報酬月額	平均標準 賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.658	291,181	413,262	100.0	0.764	374,475	1,082,468
農 林 水 産 業	0.9	0.733	271,187	354,314	0.4	0.718	330,020	1,065,608
鉱業、採石業、砂利採取業	0.2	0.912	325,709	523,098	0.0	1.241	432,621	1,702,121
建設業	10.5	0.934	335,032	396,264	3.2	1.016	422,357	1,533,350
製造業	17.1	0.738	299,314	537,534	31.1	0.960	403,548	1,452,994
食 料	3.4	0.557	255,078	372,230	2.0	0.756	347,722	1,077,826
繊維工業・繊維製品	0.8	0.494	242,699	304,632	0.5	0.556	304,128	711,284
木材・木製品	0.6	0.811	284,115	371,064	0.2	0.965	339,000	858,330
化学工業	1.7	0.788	312,636	664,485	6.1	0.949	408,045	1,563,064
金属工業	2.2	0.857	328,724	595,949	2.2	0.944	382,301	1,265,378
機械器具	5.6	0.804	318,259	654,778	16.5	1.016	419,840	1,567,569
その他の	2.8	0.763	304,731	487,689	3.6	0.907	383,234	1,201,744
電気・ガス・熱供給・水道業	0.5	0.937	331,125	711,698	1.2	1.257	521,592	1,388,135
情報通信業	2.0	0.663	344,146	386,534	10.0	0.677	409,971	881,889
運輸業、郵便業	7.4	0.798	299,120	281,769	6.8	0.874	363,466	890,753
卸売業、小売業	13.7	0.699	296,265	418,847	16.7	0.621	319,238	769,107
金融業、保険業	0.7	0.787	337,902	539,927	7.4	0.704	410,840	1,327,937
不動産業、物品賃貸業	2.6	0.713	314,939	352,457	1.7	0.799	399,324	1,140,663
学術研究、専門・技術サービス業	4.0	0.676	333,711	456,569	1.7	0.748	434,752	1,180,876
宿泊業、飲食サービス業	3.6	0.552	264,950	188,082	1.3	0.419	274,725	383,575
生活関連サービス業、娯楽業	3.1	0.549	274,375	233,659	1.1	0.479	307,901	637,979
教育、学習支援業	1.6	0.414	268,324	442,978	0.3	0.618	433,359	1,429,483
医療、福祉	16.9	0.446	275,620	515,905	4.5	0.460	365,819	777,554
複合サービス業	1.0	0.592	250,629	565,733	0.7	0.679	321,099	933,224
サービス業	10.3	0.575	265,519	288,498	9.4	0.508	320,629	640,322
公務	2.8	0.299	193,217	233,710	0.0	1.125	516,250	1,758,833
任意継続	1.1	0.845	217,036	-	1.3	0.744	289,096	-
特例退職	・	・	・	・	1.2	0.822	287,639	-

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

1 3．規模別被保険者構成割合、扶養率等

事業所の従業員数（規模）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表18である。

被保険者の構成割合は、協会（一般）では規模100～299人の17.0%で最も高く、規模100人未満の割合は約60%である。一方、組合健保では規模1,000人以上の53.7%で最も高く、規模100人未満の割合は約10%と、協会（一般）とは逆の傾向にある。

扶養率は、協会（一般）では規模5人未満で最も高く、規模が大きくなるにつれて減少する傾向にある。一方、組合健保では規模1,000人以上で最も高くなっているものの、規模の違いによる明確な傾向はみられない。

平均標準報酬月額は、協会（一般）では、規模5～9人でピークを迎えたのち規模が大きくなるにつれて概ね減少する傾向にあるが、組合健保では、規模5～9人でピークを迎えたのち下降、規模300人以上から再び上昇している。

また、平均標準賞与額は、協会（一般）、組合健保ともに規模が大きくなるにつれて高くなる傾向にあり、協会（一般）は規模500～999人の547,614円、組合健保は規模1,000人以上の1,229,733円で最も高い。

表18 事業所の規模別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

規 模 別	協会（一般）				組合健保			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
	%		円	円	%		円	円
総 数	100.0	0.658	291,181	413,262	100.0	0.764	374,475	1,082,468
1～4人	9.8	0.814	292,793	138,187	0.3	0.669	355,551	321,390
5～9	10.0	0.726	316,017	274,180	0.5	0.669	400,641	491,298
10～19	11.7	0.708	313,911	357,716	1.2	0.734	396,089	615,311
20～29	7.4	0.679	304,343	421,099	1.2	0.763	382,827	681,612
30～49	9.1	0.677	298,745	446,784	2.2	0.697	374,834	697,636
50～99	12.2	0.650	288,280	480,711	4.9	0.718	366,072	791,654
100～299	17.0	0.613	282,387	518,456	13.5	0.739	360,451	880,917
300～499	6.3	0.592	282,378	545,915	8.0	0.727	361,283	967,874
500～999	6.2	0.570	279,143	547,614	12.0	0.755	369,438	1,045,162
1,000人以上	9.2	0.498	258,398	423,587	53.7	0.787	385,163	1,229,733
任意継続分	1.1	0.845	217,036	-	1.3	0.744	289,096	-
特例退職分	・	・	・	・	1.2	0.822	287,639	-

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を任意継続被保険者及び特例退職被保険者を除いて算出している。

1 4. 被保険者数の推移について

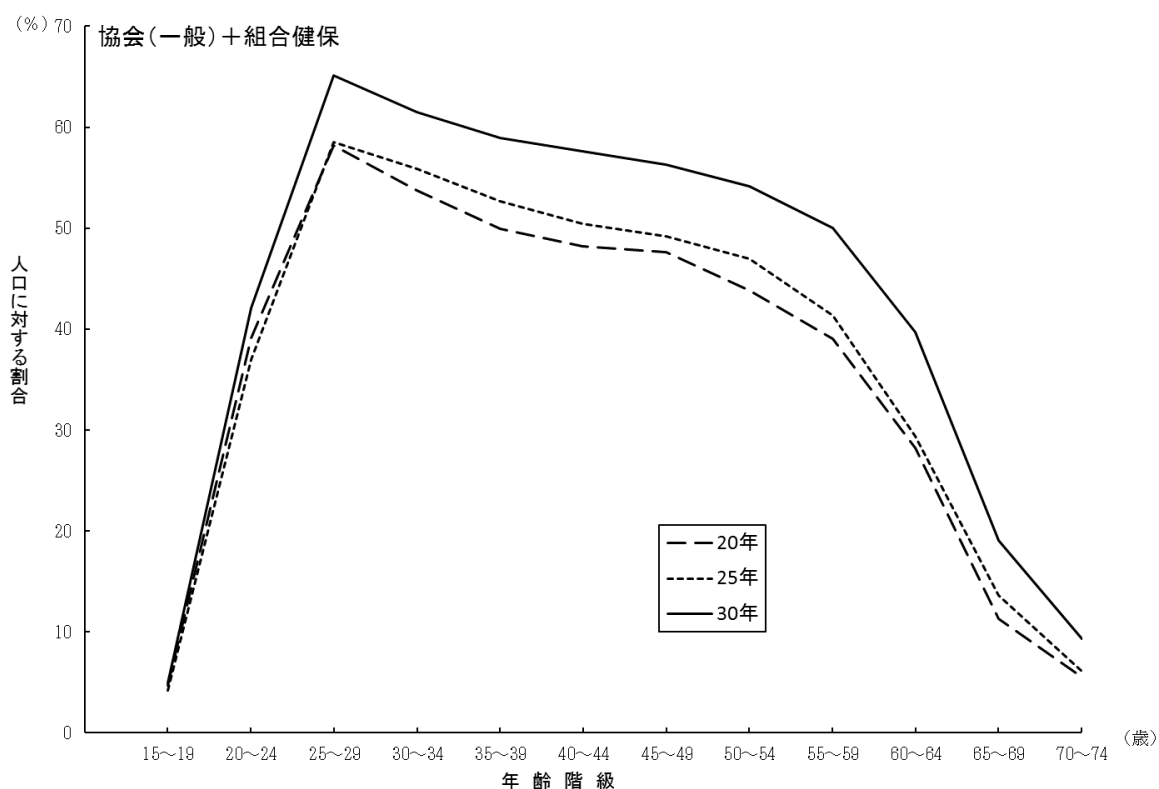
1) 被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を、男女計について年齢階級別に示したものが図8－1、8－2である。

協会（一般）と組合健保の計でみると、平成20年から平成25年にかけては、20代後半以降の全ての年齢階級で概ね増加しており、平成25年から平成30年にかけては、全ての年齢階級で概ね増加している。

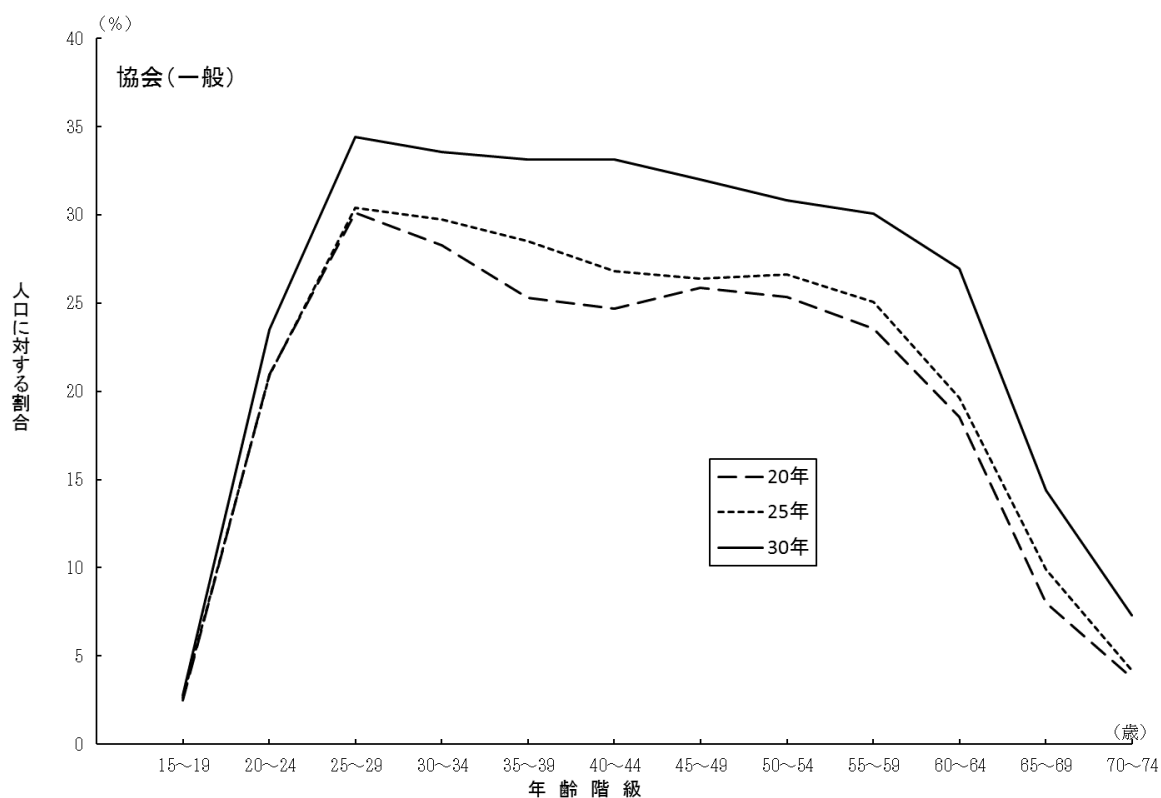
また、協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は、平成20年から平成25年にかけては、20代後半以降で増加しており、平成25年から平成30年にかけては、全ての年齢階級で増加している。一方、組合健保は、平成20年から平成25年にかけては、10代から20代を除き概ね増加しており、平成25年から平成30年にかけても、全ての年齢階級で増加している。

図8－1 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

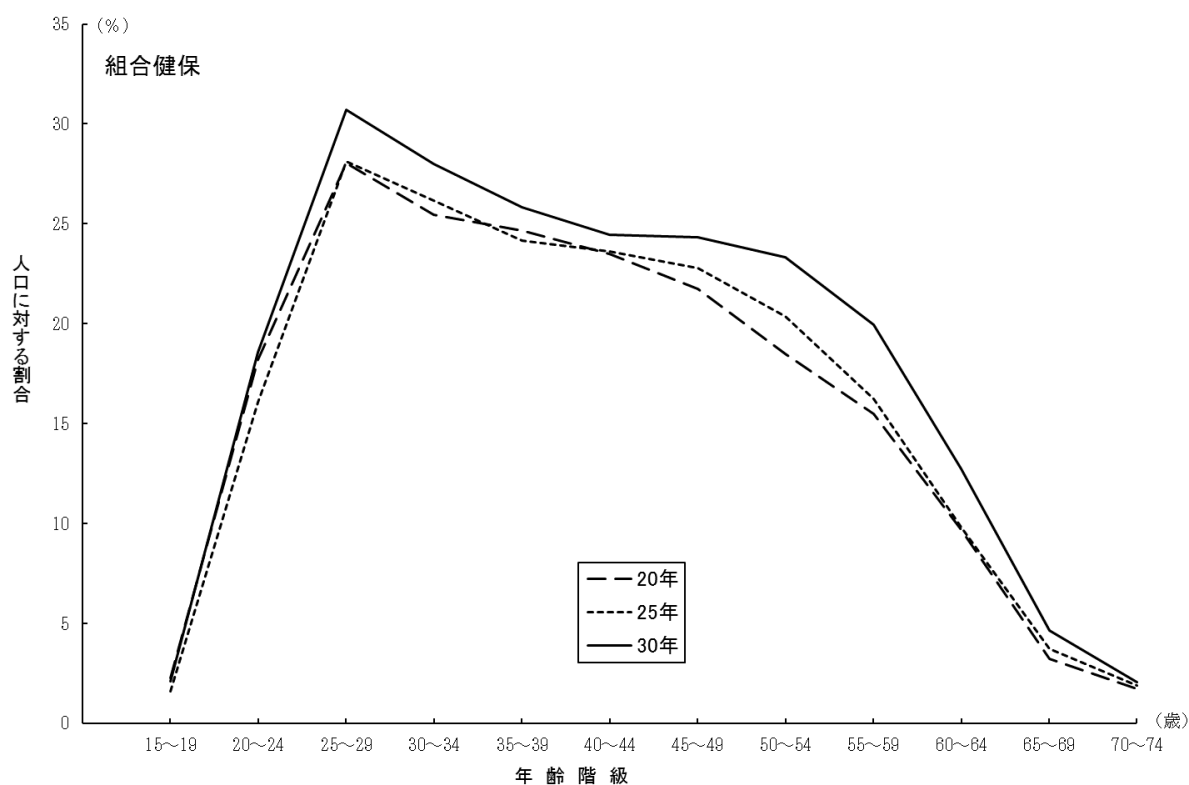


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 8 - 2 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月 1 日現在）



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



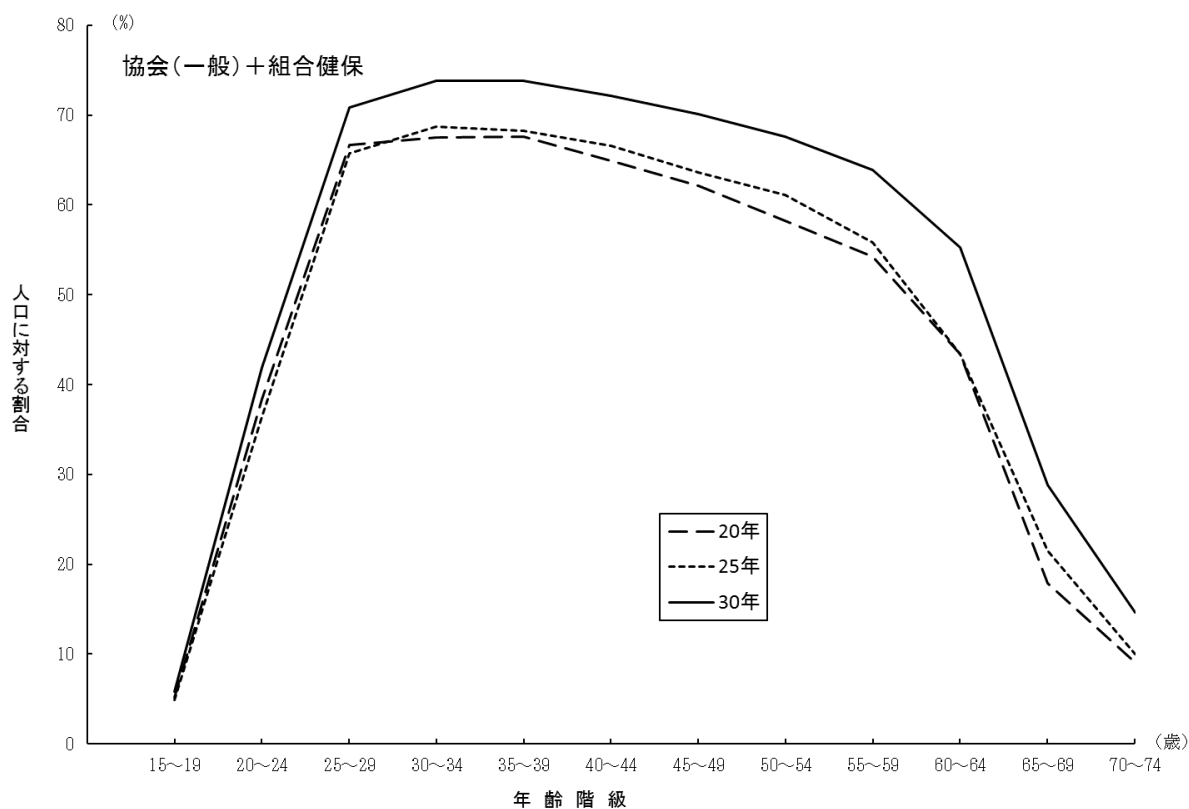
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性の被保険者割合の推移を年齢階級別に示したものが図 9－1、9－2である。

協会（一般）と組合健保の計でみると、平成20年から平成25年にかけては、30代以降の全ての年齢階級で概ね増加しており、平成25年から平成30年にかけては、全ての年齢階級で増加している。

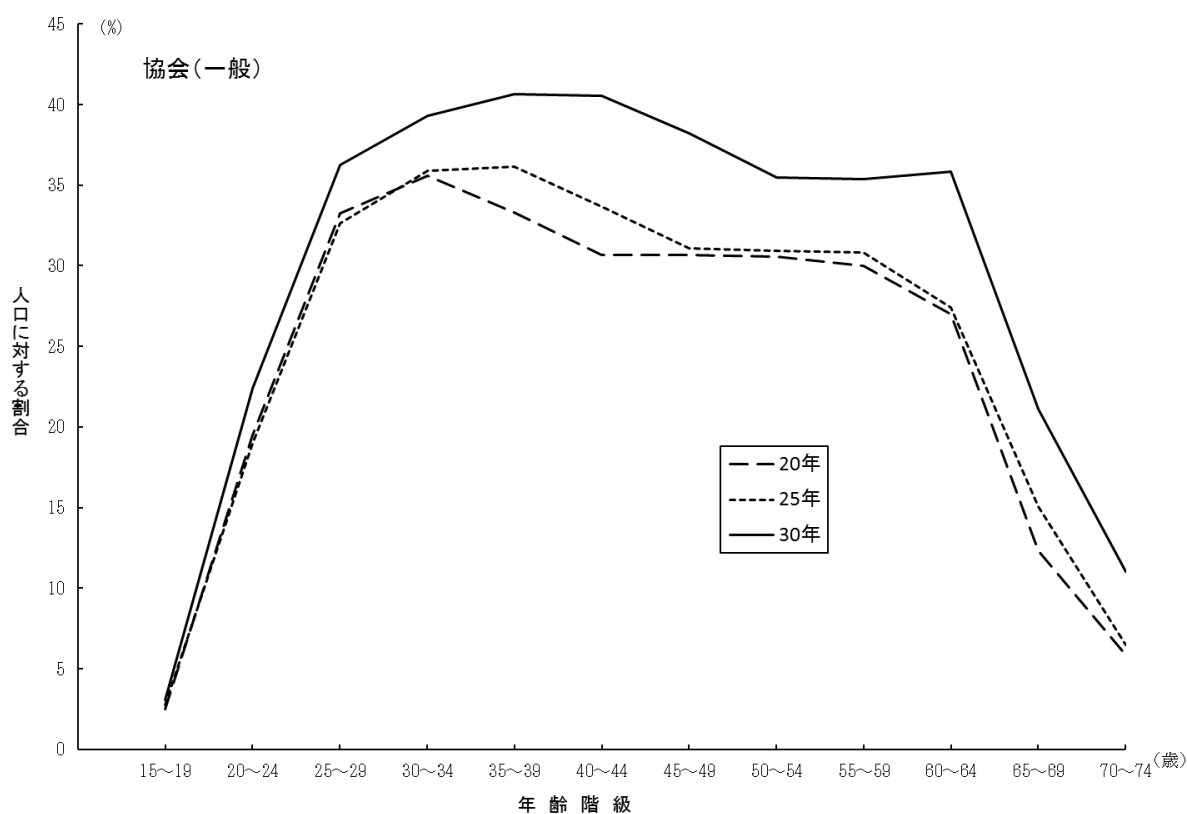
また、協会（一般）と組合健保のそれぞれについてみると、協会（一般）は、平成20年から平成25年にかけては、30代後半以降の年齢階級で概ね増加しており、平成25年から平成30年にかけては、全ての年齢階級で増加している。組合健保は、平成20年から平成25年にかけては、10代から20代、及び30代後半から40代前半以外の年齢階級では概ね増加しており、平成25年から平成30年にかけては、40代を除いた全ての年齢階級で概ね増加している。

図 9－1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

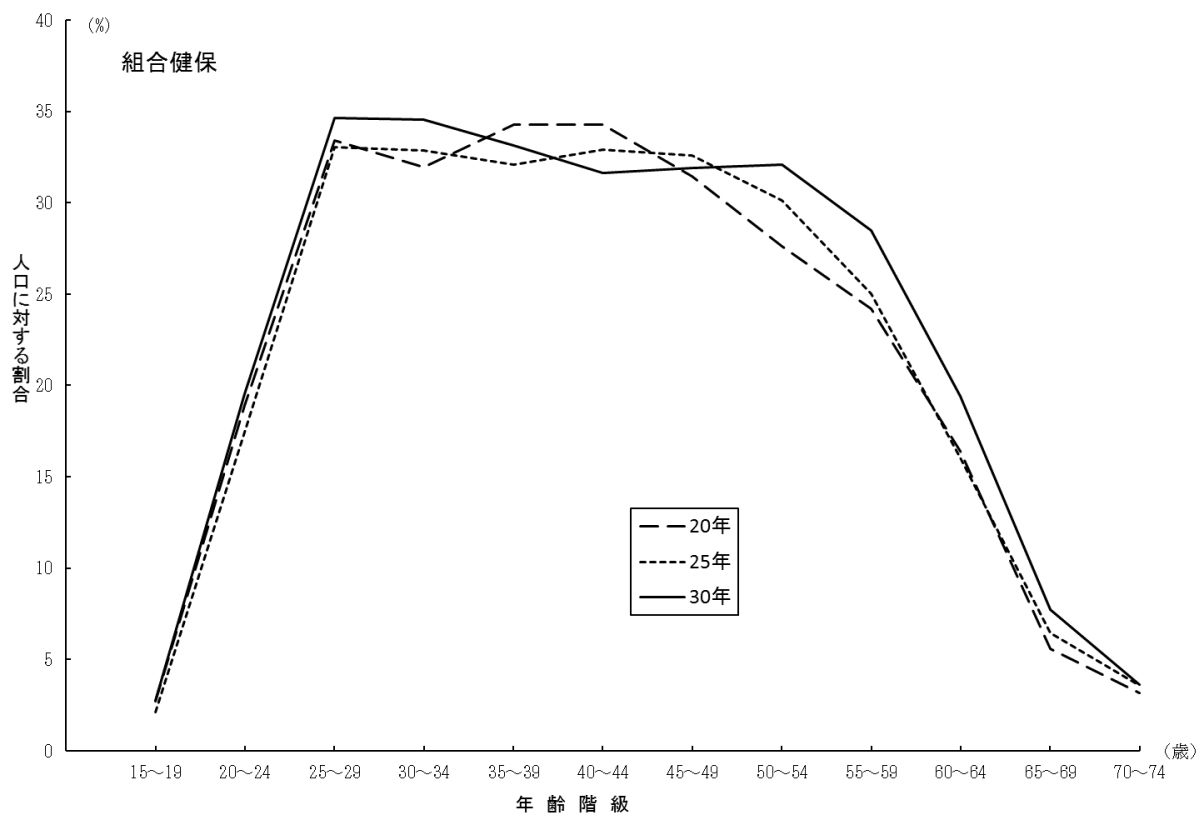


(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図 9 - 2 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



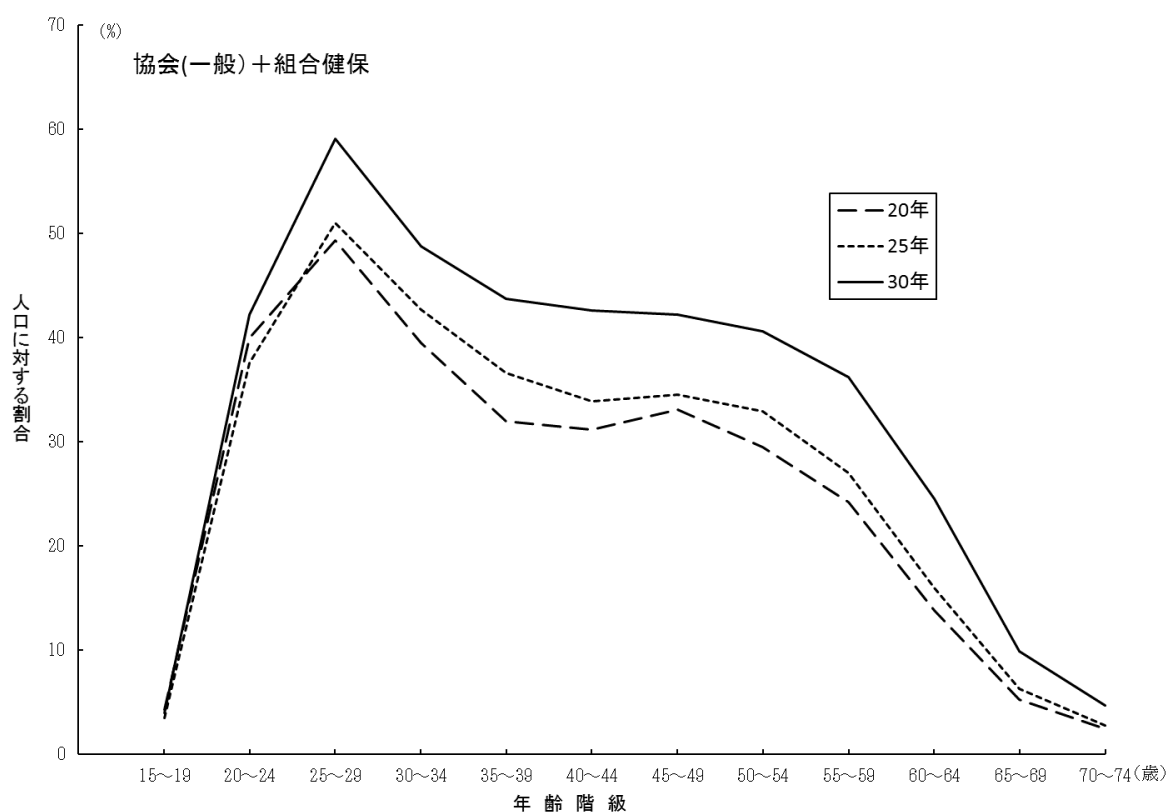
(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性の被保険者割合の推移を年齢階級別に示したものが図10－1、10－2である。

協会（一般）と組合健保の計でみると、平成20年から平成25年にかけては、20代後半以降の全ての年齢階級で増加しており、平成25年から平成30年にかけては全ての年齢階級で増加している。なお、20代後半から50代後半での増加の幅が男性よりも大きくなっているが、これはそれぞれの期間の雇用環境の変化があるとともに、被用者として就労する女性が増加したことが大きく影響しているものと考えられる。

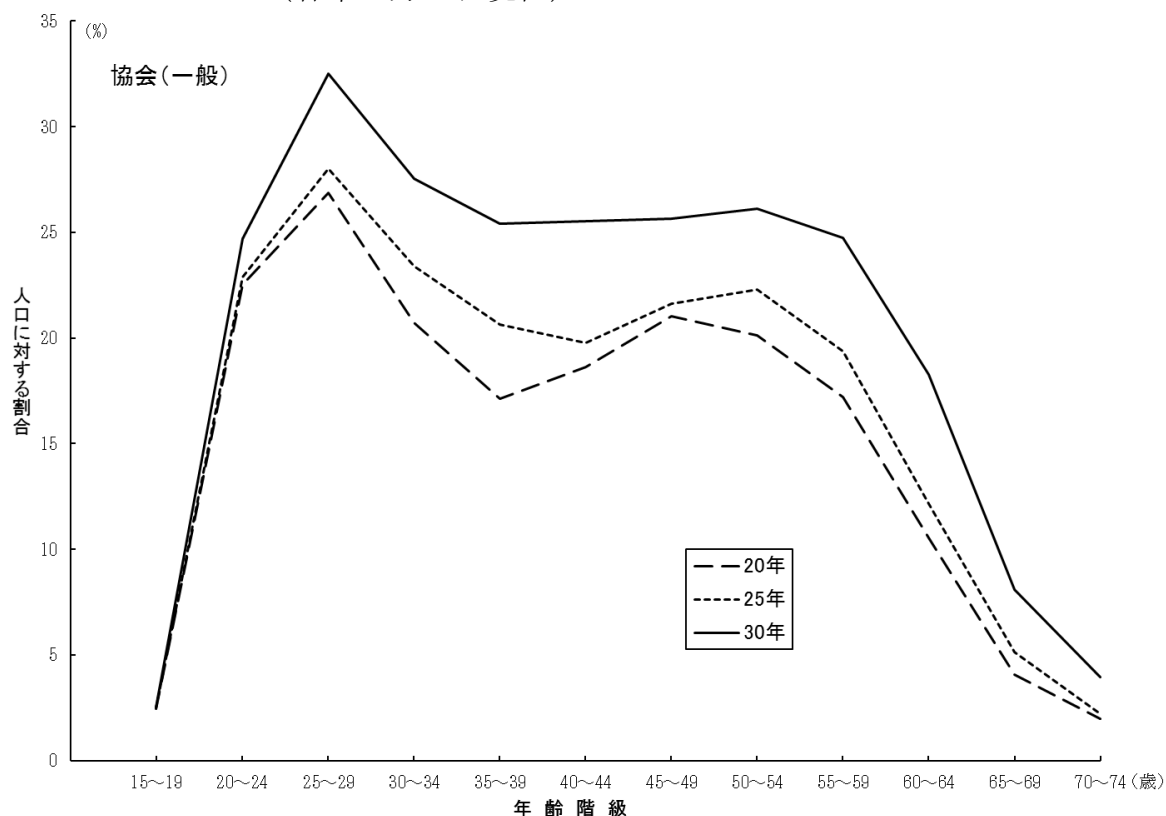
また、協会（一般）と組合健保のそれぞれを平成30年についてみると、協会（一般）、組合健保ともに20代後半でピークを迎えるが、組合健保はその後減少し続けるのに対して、協会（一般）は40代前半で再び増加に転じ、50代前半で再びピークを迎えた後に減少している。

図10－1 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）

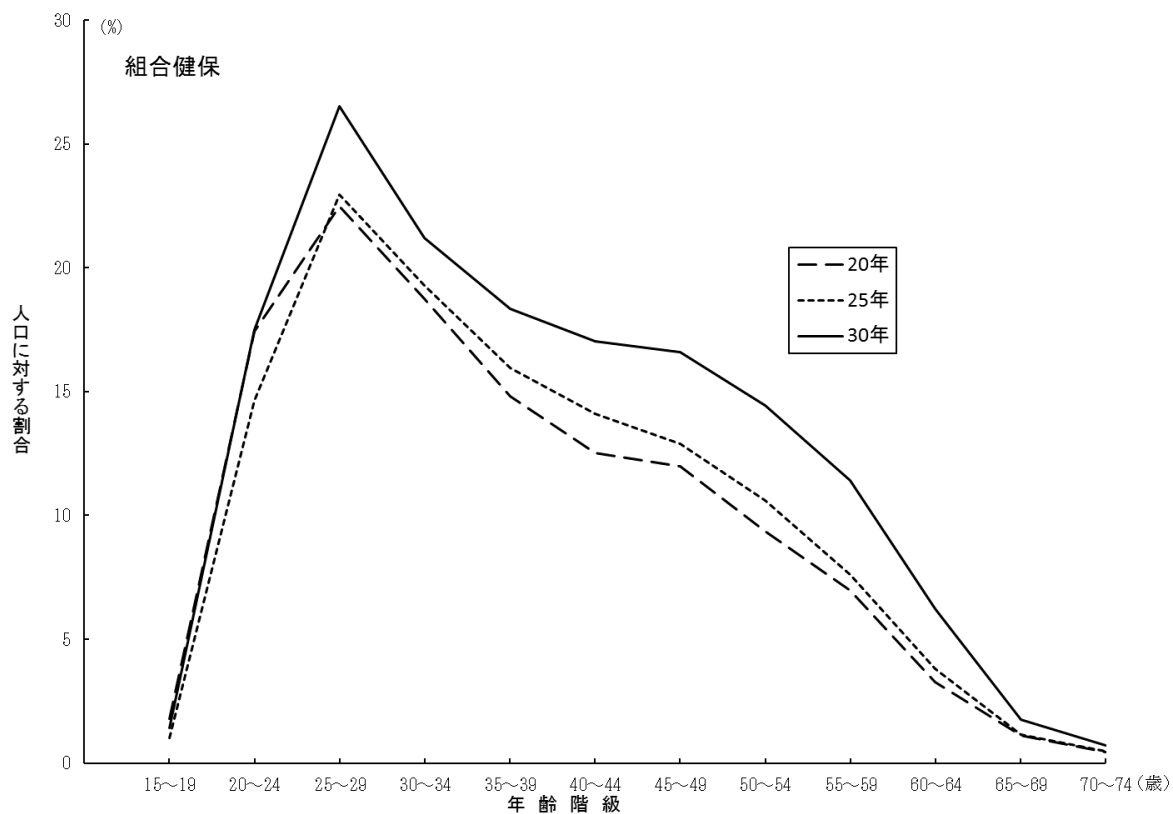


（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

図10－2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。



(注) 被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

2) コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合について

総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）をコーホート別の推移で示したものが、表19である。

協会（一般）・組合健保計の被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響によって20代で大きく増加、定年退職の影響によって60代で大きく減少し、平成20年から平成25年にかけては20代のコーホートで概ね増加し、平成25年から平成30年にかけては20～59歳のコーホートで増加している。

また、協会（一般）・組合健保計のコーホートでみた増減の差は、70～74歳で最小になっている。

表19 コーホートでみた被保険者数の総人口に対する割合（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）・組合健保計（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.7	4.2	4.9	－	－	－
20～24	39.2	37.0	42.1	32.2	37.9	5.6
25～29	58.2	58.5	65.1	19.3	28.2	8.8
30～34	53.7	55.9	61.5	－2.3	3.0	5.3
35～39	50.0	52.6	59.0	－1.1	3.1	4.1
40～44	48.2	50.4	57.6	0.4	4.9	4.5
45～49	47.6	49.2	56.3	1.0	5.9	4.9
50～54	43.8	47.0	54.2	－0.6	5.0	5.7
55～59	39.0	41.3	50.0	－2.5	3.0	5.5
60～64	28.2	29.4	39.7	－9.6	－1.7	8.0
65～69	11.3	13.6	19.0	－14.6	－10.4	4.3
70～74	5.5	6.1	9.3	－5.2	－4.3	0.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.5	2.6	2.8	－	－	－
20～24	21.0	20.9	23.5	18.4	20.9	2.5
25～29	30.1	30.4	34.4	9.4	13.5	4.1
30～34	28.3	29.7	33.5	－0.4	3.2	3.5
35～39	25.3	28.5	33.1	0.2	3.4	3.2
40～44	24.7	26.8	33.1	1.5	4.6	3.1
45～49	25.9	26.4	32.0	1.7	5.2	3.5
50～54	25.3	26.6	30.8	0.7	4.5	3.7
55～59	23.5	25.1	30.1	－0.3	3.4	3.7
60～64	18.6	19.6	26.9	－3.9	1.9	5.8
65～69	8.0	9.9	14.4	－8.7	－5.2	3.4
70～74	3.8	4.2	7.3	－3.8	－2.6	1.2

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男女計）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	2.3	1.6	2.1	－	－	－
20～24	18.2	16.1	18.6	13.8	17.0	3.2
25～29	28.1	28.1	30.7	9.9	14.6	4.7
30～34	25.5	26.2	28.0	－1.9	－0.1	1.8
35～39	24.7	24.1	25.8	－1.3	－0.3	1.0
40～44	23.5	23.6	24.4	－1.0	0.3	1.4
45～49	21.8	22.8	24.3	－0.7	0.7	1.4
50～54	18.5	20.4	23.3	－1.4	0.5	1.9
55～59	15.5	16.3	19.9	－2.2	－0.4	1.8
60～64	9.7	9.8	12.7	－5.7	－3.5	2.2
65～69	3.2	3.7	4.7	－6.0	－5.1	0.8
70～74	1.7	1.9	2.1	－1.3	－1.6	－0.3

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

男性人口に対する男性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表20である。

協会（一般）・組合健保計の、男性についての被保険者割合をコーホートでみると、男女計と同様に、学卒者の新規加入の影響によって20代で大きく増加し、定年退職の影響によって60代で大きく減少しており、平成20年から平成25年にかけては40歳未満、平成25年から平成30年にかけては60歳未満のコーホートで増加している。

また、協会（一般）・組合健保計のコーホートでみた増減の差は、全ての年齢階級で増加している。

表20 コーホートでみた男性被保険者数の男性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（1）協会（一般）・組合健保計（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	5.2	4.9	5.8	-	-	-
20～24	38.4	36.4	41.9	31.3	37.0	5.8
25～29	66.7	65.7	70.9	27.3	34.5	7.1
30～34	67.5	68.8	73.9	2.1	8.1	6.1
35～39	67.6	68.2	73.8	0.7	5.0	4.3
40～44	64.9	66.6	72.2	-1.0	3.9	5.0
45～49	62.1	63.6	70.1	-1.3	3.5	4.8
50～54	58.2	61.1	67.6	-1.1	4.0	5.0
55～59	54.2	55.9	63.9	-2.4	2.8	5.2
60～64	43.4	43.4	55.2	-10.8	-0.6	10.2
65～69	17.9	21.5	28.9	-21.9	-14.5	7.3
70～74	9.0	10.0	14.6	-7.9	-6.9	1.0

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19 歳	2.5	2.8	3.0	-	-	-
20～24	19.5	19.0	22.4	16.5	19.6	3.1
25～29	33.3	32.7	36.2	13.2	17.2	4.1
30～34	35.6	35.9	39.3	2.6	6.7	4.0
35～39	33.3	36.1	40.6	0.6	4.7	4.2
40～44	30.7	33.7	40.5	0.4	4.4	4.0
45～49	30.7	31.1	38.2	0.4	4.5	4.1
50～54	30.6	30.9	35.5	0.2	4.4	4.2
55～59	30.0	30.8	35.4	0.3	4.4	4.2
60～64	27.0	27.4	35.8	-2.6	5.0	7.6
65～69	12.3	15.0	21.1	-11.9	-6.3	5.6
70～74	5.9	6.5	11.0	-5.9	-4.0	1.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（男性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19 歳	2.7	2.1	2.8	-	-	-
20～24	18.9	17.4	19.5	14.7	17.4	2.7
25～29	33.4	33.1	34.6	14.2	17.2	3.1
30～34	32.0	32.9	34.5	-0.6	1.5	2.0
35～39	34.3	32.1	33.2	0.1	0.3	0.2
40～44	34.3	32.9	31.6	-1.4	-0.5	1.0
45～49	31.4	32.6	31.9	-1.7	-1.0	0.7
50～54	27.6	30.1	32.1	-1.3	-0.5	0.8
55～59	24.2	25.0	28.5	-2.6	-1.6	1.0
60～64	16.4	16.0	19.4	-8.2	-5.6	2.6
65～69	5.6	6.5	7.8	-9.9	-8.3	1.7
70～74	3.2	3.6	3.6	-2.0	-2.9	-0.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

女性人口に対する女性被保険者数の割合をコーホート別の推移で示したものが、表21である。

協会（一般）・組合健保計の、女性についての被保険者割合をコーホートでみると、学卒者の新規加入の影響により20代で大きく増加した後、一度減少し、40～44歳で一度増加した後、定年退職の影響で大きく減少している。

また、協会（一般）・組合健保計のコーホートでみた増減の差は、65～69歳で減少している。

表21 コーホートでみた女性被保険者数の女性人口に対する割合（各年10月1日現在）

（１）協会（一般）・組合健保計（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19歳	4.2	3.5	4.0	－	－	－
20～24	40.0	37.5	42.2	33.3	38.7	5.4
25～29	49.3	50.9	59.0	11.0	21.5	10.6
30～34	39.5	42.7	48.7	－6.7	－2.2	4.4
35～39	31.9	36.6	43.7	－2.9	1.1	3.9
40～44	31.1	33.9	42.6	1.9	6.0	4.0
45～49	33.0	34.5	42.2	3.4	8.3	5.0
50～54	29.5	32.9	40.6	－0.1	6.1	6.2
55～59	24.2	27.0	36.2	－2.5	3.3	5.8
60～64	13.8	16.0	24.5	－8.2	－2.5	5.7
65～69	5.2	6.3	9.9	－7.5	－6.1	1.4
70～74	2.4	2.7	4.7	－2.5	－1.6	0.9

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(2) 協会（一般）（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19 歳	2.5	2.5	2.5	-	-	-
20～24	22.5	22.9	24.7	20.4	22.2	1.8
25～29	26.9	28.0	32.5	5.5	9.7	4.2
30～34	20.7	23.4	27.5	-3.5	-0.5	3.0
35～39	17.1	20.6	25.4	-0.1	2.0	2.1
40～44	18.6	19.8	25.5	2.6	4.9	2.3
45～49	21.0	21.6	25.6	3.0	5.9	2.9
50～54	20.1	22.3	26.1	1.3	4.5	3.3
55～59	17.2	19.4	24.7	-0.8	2.5	3.2
60～64	10.5	12.1	18.3	-5.1	-1.1	4.0
65～69	4.1	5.1	8.1	-5.4	-4.0	1.4
70～74	2.0	2.2	4.0	-1.9	-1.2	0.7

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

(3) 組合健保（女性）

年齢階級	総人口に対する割合			コーホートでみた増減		
	平成20年	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差 ②－①
	(%)	(%)	(%)			
15～19 歳	1.8	1.0	1.4	-	-	-
20～24	17.4	14.6	17.5	12.9	16.5	3.6
25～29	22.5	22.9	26.5	5.5	11.9	6.4
30～34	18.7	19.3	21.2	-3.2	-1.7	1.5
35～39	14.8	16.0	18.3	-2.8	-0.9	1.8
40～44	12.5	14.1	17.0	-0.7	1.1	1.8
45～49	12.0	12.9	16.6	0.4	2.5	2.1
50～54	9.4	10.6	14.5	-1.4	1.6	3.0
55～59	7.0	7.6	11.4	-1.7	0.8	2.6
60～64	3.3	3.8	6.2	-3.1	-1.4	1.8
65～69	1.1	1.2	1.8	-2.1	-2.1	0.0
70～74	0.4	0.5	0.7	-0.6	-0.5	0.2

（注）被保険者数は、調査結果に抽出倍率を乗じたものとしている。

15. コーホートによる続柄別扶養率の分析について

1) 子の場合

各年度の男性被保険者における子の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減及びその差を示したものが表22である。

まず、同じ年齢階級でみると、子の扶養率は出生率の減少や未婚率の増加の影響で55歳未満の年齢階級では概ね年々減少している。また、平成30年における扶養率のピークは、協会（一般）、組合健保ともに40～44歳となっているのである。

次に、その特徴をコーホートで①20～30代、②40代以降の年齢階級別にみると次のようになる。

①20歳～30歳代

この年代は、結婚に伴う子の誕生によって扶養率が増加している。

平成25年から平成30年におけるコーホートでみた扶養率の増減は、協会（一般）では、30～34歳が、組合健保では35～39歳が最も大きい。

②40歳代以降

40代以降は、子の成長により概ね扶養率は減少している。

平成25年から平成30年におけるコーホートでみた扶養率の増減は、協会（一般）、組合健保ともに45歳以降は全ての年齢階級で減少している。

また、コーホートでみた扶養率の増減の差をみると、協会（一般）は全ての年齢階級で減少しており、組合健保は20代から30代前半では減少しているが、その後50代前半まで増加、50代後半から60代後半まで再び減少し、70代前半で再び増加する。

表22 男性被保険者における子の扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成20年 (75歳以上を除く)	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差②－①
総 数	0.648	0.643	0.579	-	-	-
15 ～ 19 歳	0.015	0.011	0.012	-	-	-
20 ～ 24	0.098	0.079	0.072	0.064	0.061	-0.003
25 ～ 29	0.308	0.295	0.230	0.196	0.152	-0.045
30 ～ 34	0.666	0.667	0.606	0.360	0.311	-0.048
35 ～ 39	0.966	0.955	0.928	0.289	0.261	-0.028
40 ～ 44	1.179	1.062	1.020	0.096	0.066	-0.030
45 ～ 49	1.192	1.053	0.920	-0.126	-0.142	-0.017
50 ～ 54	0.880	0.835	0.693	-0.357	-0.361	-0.004
55 ～ 59	0.407	0.474	0.409	-0.406	-0.426	-0.020
60 ～ 64	0.179	0.214	0.201	-0.193	-0.273	-0.080
65 ～ 69	0.098	0.123	0.117	-0.056	-0.097	-0.041
70 ～ 74	0.067	0.081	0.082	-0.017	-0.041	-0.024

(2) 組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成20年 (75歳以上を除く)	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差②－①
総 数	0.724	0.722	0.679	-	-	-
15 ～ 19 歳	0.006	0.002	0.004	-	-	-
20 ～ 24	0.062	0.049	0.031	0.044	0.029	-0.014
25 ～ 29	0.222	0.210	0.176	0.148	0.127	-0.021
30 ～ 34	0.618	0.600	0.578	0.378	0.368	-0.010
35 ～ 39	0.973	0.978	0.982	0.360	0.382	0.022
40 ～ 44	1.224	1.129	1.137	0.156	0.160	0.003
45 ～ 49	1.343	1.188	1.094	-0.036	-0.035	0.001
50 ～ 54	1.008	1.000	0.899	-0.343	-0.288	0.054
55 ～ 59	0.471	0.521	0.484	-0.487	-0.516	-0.029
60 ～ 64	0.190	0.212	0.193	-0.259	-0.328	-0.069
65 ～ 69	0.111	0.096	0.091	-0.094	-0.121	-0.027
70 ～ 74	0.049	0.055	0.072	-0.056	-0.024	0.032

2) 配偶者の場合

各年度の男性被保険者における配偶者の扶養率、コーホートでみた場合の扶養率の増減を示したものが表23である。

同じ年齢階級でみると、配偶者の扶養率は被用者として就労する女性の増加、非婚男性の増加などの影響により減少傾向にあるが、コーホートでみると次のようになる。

平成25年から平成30年におけるコーホートでみた扶養率の増減は、協会（一般）は30代後半まで増加、その後は概ね減少傾向にある。組合健保は30代後半までは協会（一般）と同様増加し、40～50代で減少した後、60代以降は再び増加傾向に転じる。

この変化の要因は、それぞれ40代以降の減少は配偶者が働き始めるため、60代以降の増加は働いていた配偶者が退職するため、70歳以降の減少は75歳以上の配偶者が後期高齢者医療制度に適用され被扶養者でなくなるためと考えられる。

また、コーホートでみた扶養率の増減の差をみると、協会（一般）は全ての年齢階級において減少している。組合健保は65歳以降を除き全ての年齢階級で減少している。

表23 男性被保険者における配偶者の扶養率（各年10月1日現在）

(1) 協会（一般）

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成20年 (75歳以上を除く)	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差②－①
総 数	0.416	0.397	0.341	-	-	-
15 ～ 19 歳	0.020	0.015	0.013	-	-	-
20 ～ 24	0.082	0.063	0.048	0.043	0.034	-0.009
25 ～ 29	0.200	0.175	0.120	0.093	0.058	-0.035
30 ～ 34	0.347	0.316	0.247	0.116	0.072	-0.044
35 ～ 39	0.429	0.394	0.331	0.047	0.015	-0.032
40 ～ 44	0.453	0.420	0.354	-0.009	-0.040	-0.032
45 ～ 49	0.447	0.418	0.352	-0.036	-0.068	-0.033
50 ～ 54	0.455	0.425	0.353	-0.022	-0.065	-0.043
55 ～ 59	0.511	0.469	0.391	0.014	-0.034	-0.047
60 ～ 64	0.606	0.579	0.488	0.068	0.019	-0.049
65 ～ 69	0.643	0.632	0.572	0.026	-0.007	-0.033
70 ～ 74	0.583	0.579	0.555	-0.064	-0.077	-0.013

(2) 組合健保

年齢階級	扶養率			コーホートでみた扶養率の増減		
	平成20年 (75歳以上を除く)	25年	30年	20年→25年①	25年→30年②	差②－①
総 数	0.485	0.458	0.400	-	-	-
15 ～ 19 歳	0.012	0.006	0.004	-	-	-
20 ～ 24	0.060	0.042	0.022	0.031	0.016	-0.015
25 ～ 29	0.165	0.145	0.101	0.085	0.059	-0.027
30 ～ 34	0.374	0.318	0.261	0.152	0.116	-0.037
35 ～ 39	0.493	0.458	0.376	0.084	0.058	-0.025
40 ～ 44	0.567	0.522	0.452	0.029	-0.005	-0.034
45 ～ 49	0.604	0.550	0.476	-0.017	-0.046	-0.029
50 ～ 54	0.609	0.577	0.501	-0.026	-0.049	-0.023
55 ～ 59	0.680	0.628	0.539	0.019	-0.038	-0.057
60 ～ 64	0.736	0.685	0.630	0.005	0.002	-0.003
65 ～ 69	0.798	0.718	0.720	-0.018	0.034	0.052
70 ～ 74	0.759	0.662	0.743	-0.135	0.024	0.160

(参考) 事業所の業態別・規模別事業所数、被保険者数の構成割合

厚生年金保険業態別規模別適用状況調を用いて、協会（一般）の任意継続被保険者以外の者について、事業所の業態分類別、規模別に事業所数及び被保険者数の構成割合を示したものが表24である。

事業所数については、事業所規模5人未満の事業所が全体の約6割、50人未満の事業所が全体の約97%を占めている。これを業態別にみると、いずれの業態も事業所規模5人未満の事業所の割合が最も高くなっており、特に不動産業・物品賃貸業については、事業所規模5人未満の事業所が9割弱、50人未満で約99%を占めている。

また、被保険者数については、事業所規模10～49人が最も高くなっており、約3割を占めている。これを業態別にみると、多くの業態で10～49人が最も高い割合を占めているが、不動産業・物品賃貸業は事業所規模5人未満、医療・福祉及び公務については、100～299人、複合サービス業については、1,000人以上の割合の方が高くなっている。

表24 事業所の業態分類別・規模別構成割合（協会（一般）、平成30年9月1日現在）

(1) 事業所数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総 数	100.0%	64.5%	16.6%	15.5%	1.9%	1.1%	0.2%	0.1%	0.0%
農 林 水 産 業	100.0%	62.3%	21.8%	14.6%	0.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	45.7%	21.4%	29.5%	2.4%	0.9%	0.1%	0.1%	0.0%
建 設 業	100.0%	64.2%	20.5%	14.3%	0.7%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
製 造 業	100.0%	50.0%	18.9%	24.8%	3.7%	2.2%	0.3%	0.1%	0.0%
食 料 品	100.0%	47.7%	17.9%	25.2%	4.8%	3.4%	0.6%	0.3%	0.1%
繊維工業・繊維製品	100.0%	57.4%	17.4%	20.9%	2.9%	1.2%	0.1%	0.1%	0.0%
木 材 ・ 木 製 品	100.0%	59.5%	19.2%	18.6%	1.6%	0.9%	0.1%	0.0%	0.0%
化 学 工 業	100.0%	45.3%	18.6%	28.5%	4.4%	2.7%	0.4%	0.2%	0.0%
金 属 工 業	100.0%	47.6%	21.4%	26.0%	3.3%	1.5%	0.2%	0.1%	0.0%
機 械 器 具	100.0%	45.3%	19.3%	27.5%	4.5%	2.7%	0.3%	0.2%	0.1%
そ の 他	100.0%	55.8%	17.7%	21.7%	2.9%	1.5%	0.2%	0.1%	0.0%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	66.6%	16.3%	14.5%	1.6%	0.9%	0.1%	0.0%	0.1%
情 報 通 信 業	100.0%	71.3%	13.4%	13.0%	1.5%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%
運 輸 業 ・ 郵 便 業	100.0%	36.3%	19.1%	35.0%	5.6%	3.2%	0.4%	0.2%	0.2%
卸 売 業 ・ 小 売 業	100.0%	68.2%	16.3%	13.0%	1.4%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
金 融 業 ・ 保 険 業	100.0%	76.9%	14.0%	7.3%	0.8%	0.8%	0.1%	0.1%	0.0%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	89.5%	6.0%	3.8%	0.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
学術研究、専門・技術サービス	100.0%	77.1%	13.0%	8.7%	0.7%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	69.5%	15.5%	12.5%	1.5%	0.8%	0.1%	0.1%	0.1%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	66.4%	15.8%	14.8%	1.8%	0.9%	0.1%	0.1%	0.0%
教 育 ・ 学 習 支 援 業	100.0%	60.6%	15.2%	20.8%	1.9%	1.1%	0.2%	0.2%	0.1%
医 療 ・ 福 祉	100.0%	47.6%	19.7%	23.8%	4.7%	3.4%	0.6%	0.3%	0.1%
複 合 サ ー ビ ス 業	100.0%	73.7%	11.4%	9.8%	1.7%	1.8%	0.7%	0.6%	0.3%
サ ー ビ ス 業	100.0%	63.1%	17.3%	15.4%	2.2%	1.5%	0.3%	0.2%	0.1%
公 務	100.0%	46.6%	15.5%	21.0%	5.8%	6.9%	2.0%	1.5%	0.7%

(2) 被保険者数

	計	1～4人	5～9	10～49	50～99	100～299	300～499	500～999	1000人以上
総数	100.0%	9.9%	10.1%	28.5%	12.3%	17.2%	6.4%	6.3%	9.3%
農林水産業	100.0%	18.0%	20.7%	37.2%	9.0%	6.6%	2.2%	1.5%	4.9%
鉱業・採石業・砂利採取業	100.0%	6.9%	12.7%	49.9%	14.0%	11.8%	1.7%	3.0%	0.0%
建設業	100.0%	18.4%	22.3%	42.4%	7.9%	5.3%	1.4%	1.3%	0.9%
製造業	100.0%	5.7%	7.7%	31.8%	15.9%	21.1%	6.5%	5.8%	5.4%
食料品	100.0%	3.8%	5.2%	23.5%	14.6%	24.0%	9.5%	9.3%	10.0%
繊維工業・繊維製品	100.0%	8.8%	10.7%	37.1%	18.4%	17.9%	2.3%	4.8%	0.0%
木材・木製品	100.0%	11.7%	13.8%	40.1%	12.6%	15.6%	4.1%	0.0%	2.2%
化学工業	100.0%	4.6%	6.7%	32.4%	16.4%	23.1%	7.3%	6.7%	2.9%
金属工業	100.0%	7.1%	10.5%	39.1%	16.4%	18.1%	5.1%	3.1%	0.8%
機械器具	100.0%	4.5%	6.7%	30.3%	16.3%	22.3%	6.6%	6.1%	7.2%
その他	100.0%	7.9%	9.2%	35.3%	16.1%	18.8%	4.8%	4.2%	3.7%
電気・ガス・熱供給・水道	100.0%	11.5%	11.4%	30.1%	11.6%	15.1%	4.0%	3.1%	13.2%
情報通信業	100.0%	14.9%	12.1%	35.4%	13.8%	14.4%	4.0%	2.6%	2.9%
運輸業・郵便業	100.0%	2.5%	5.1%	29.5%	15.0%	20.3%	6.2%	6.6%	14.9%
卸売業・小売業	100.0%	12.9%	11.7%	28.0%	10.8%	13.9%	5.0%	5.4%	12.2%
金融業・保険業	100.0%	19.1%	12.9%	19.4%	8.2%	19.1%	6.6%	7.2%	7.5%
不動産業・物品賃貸業	100.0%	35.0%	11.1%	21.4%	8.1%	10.0%	3.5%	4.0%	6.8%
学術研究、専門・技術サービス	100.0%	23.4%	16.2%	31.1%	9.7%	10.2%	3.1%	3.5%	2.8%
宿泊業・飲食サービス業	100.0%	12.3%	10.6%	25.7%	10.5%	12.9%	5.3%	5.7%	17.0%
生活関連サービス業・娯楽	100.0%	11.6%	10.7%	30.9%	12.8%	15.0%	5.4%	5.5%	8.0%
教育・学習支援業	100.0%	7.8%	7.7%	33.5%	9.7%	13.4%	5.2%	10.9%	11.8%
医療・福祉	100.0%	3.5%	6.1%	24.0%	15.4%	26.1%	10.2%	8.2%	6.5%
複合サービス業	100.0%	5.0%	3.2%	8.6%	5.0%	14.4%	12.2%	16.2%	35.4%
サービス業	100.0%	7.9%	8.1%	22.2%	10.8%	17.7%	7.9%	7.9%	17.6%
公務	100.0%	1.5%	2.0%	8.9%	8.1%	23.7%	14.8%	19.8%	21.2%

資料出所：厚生年金保険 業態別規模別適用状況調(平成30年9月) (厚生労働省年金局)

第3章 調査結果の概要（船員保険被保険者実態調査）

本調査では、船員保険の全ての被保険者（59,373人）及び異動者（38,290人）について集計を行った。

1. 加入者の年齢構成

船員保険の加入者の年齢構成について、わが国の総人口の年齢構成と比較したものが表1、図1－1及び図1－2である。

船員保険の加入者の年齢構成を総人口の年齢構成と比較すると、20歳未満では総人口の16.9%に対し24.0%、20～39歳では総人口の21.5%に対し25.6%、40～64歳では総人口の33.5%に対し39.3%と、65歳未満では総人口より船員保険の方が高いが、65～74歳では、総人口の13.9%に対して10.6%と、船員保険の方が低い。

また、年齢構成を年齢階級別にみると、40歳未満及び50～69歳では船員保険が総人口を上回っているが、それ以外の年齢階級では逆に総人口を下回っている。

さらに、船員保険の強制適用の加入者の年齢構成について、適用区分別（船舶種別）に比較してみると、どの適用区分においても概ね同じような構成割合だが、汽船等、漁船（い）については55～59歳、漁船（ろ）については60～64歳で割合が高い。

表1 総人口及び船員保険加入者の年齢構成（平成30年10月1日現在）

（単位：％）

年 齢 階 級	総人口	船員保険	（再掲） 汽船等	（再掲） 漁船（い）	（再掲） 漁船（ろ）
総 数	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (69.1)	100.0 (2.2)	100.0 (25.6)
0～4歳	3.8	5.7	5.7	4.5	6.3
5～9	4.1	5.9	5.8	5.1	6.5
10～14	4.3	5.6	5.8	4.2	5.6
15～19	4.7	6.9	7.0	5.6	7.1
20～24	5.0	7.6	7.3	8.2	9.0
25～29	4.9	5.8	6.1	6.9	5.3
30～34	5.5	5.9	5.9	8.0	6.1
35～39	6.1	6.2	6.2	7.5	6.6
40～44	7.2	6.6	7.1	7.4	5.7
45～49	7.6	7.1	7.5	7.4	6.3
50～54	6.6	7.6	8.0	7.9	7.1
55～59	6.1	8.9	9.0	9.4	8.7
60～64	6.0	9.1	8.4	9.0	9.1
65～69	7.4	7.4	6.7	6.1	7.1
70～74	6.5	3.1	2.8	2.5	3.0
75歳以上	14.2	0.5	0.5	0.3	0.5
（再 掲）					
0～19	16.9	24.0	24.4	19.4	25.5
うち未就学児	5.6	7.4	7.4	6.2	8.2
20～39	21.5	25.6	25.6	30.7	27.0
40～64	33.5	39.3	40.0	41.1	36.8
65～74	13.9	10.6	9.5	8.6	10.1
平均年齢（歳）	—	38.7	38.3	39.1	37.7

（注1）「総人口」は、総務省統計局「平成30年10月1日現在推計人口」を用いている。

（注2）カッコ内は総数に対する割合である。

図 1 - 1 船員保険加入者の年齢構成（平成30年10月 1 日現在）

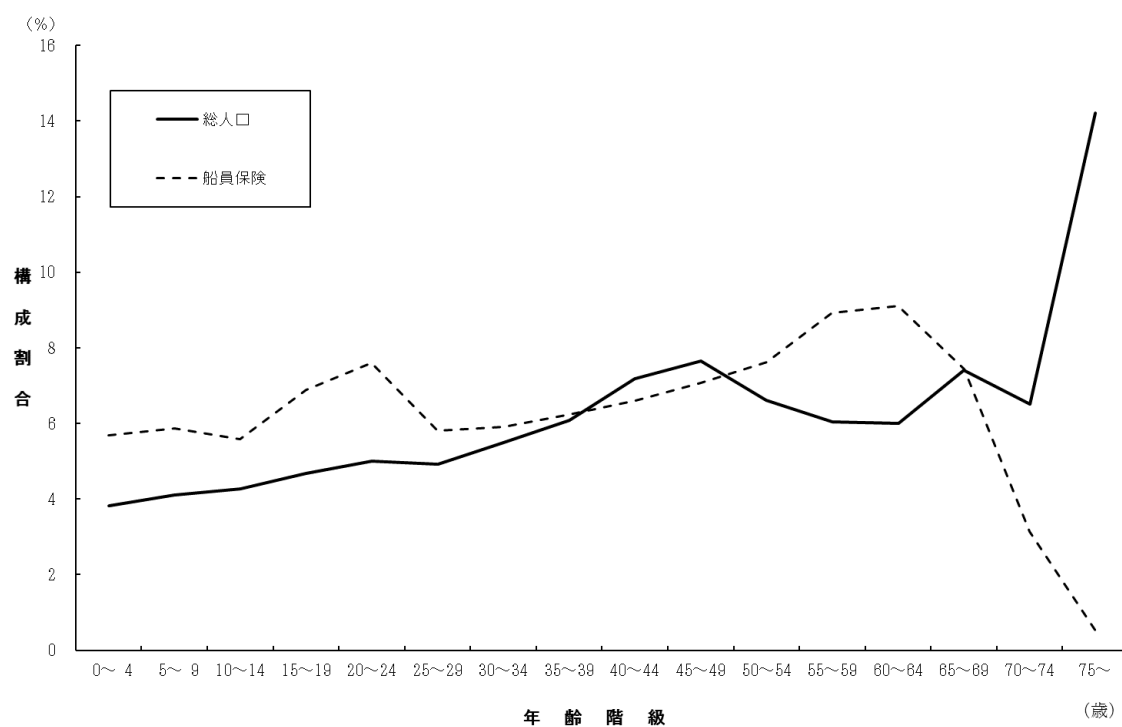
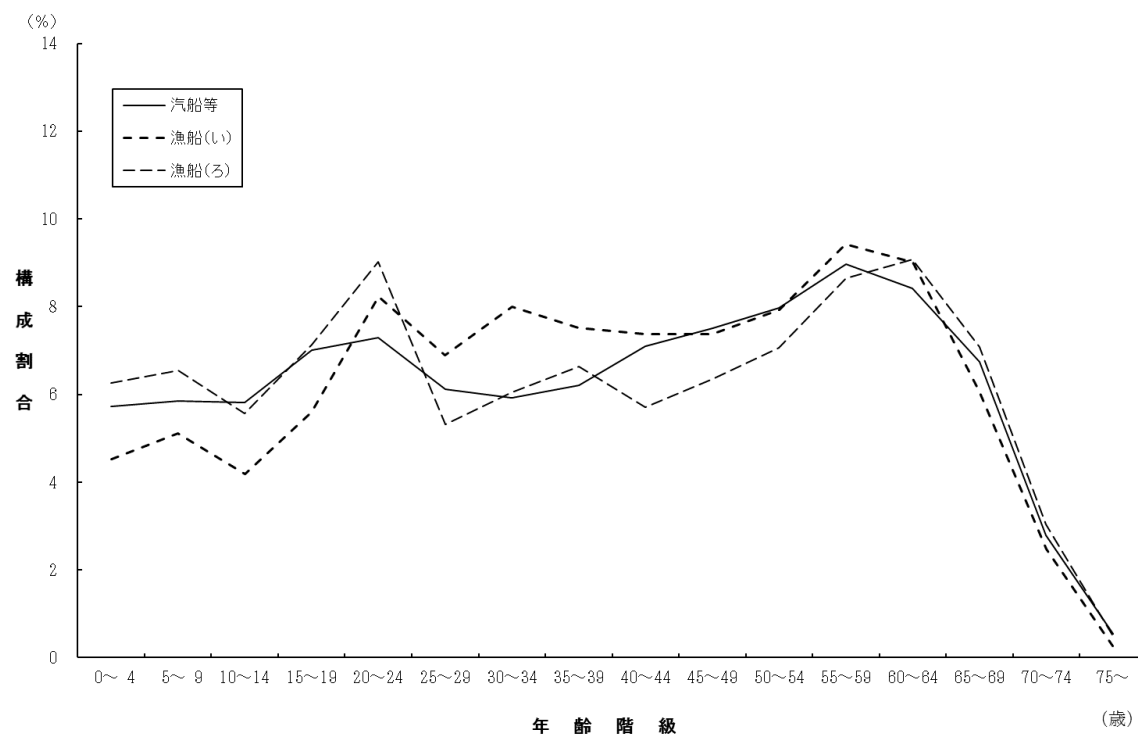


図 1 - 2 船員保険強制適用加入者の年齢構成（平成30年10月 1 日現在）



2. 被保険者の年齢構成

被保険者の年齢階級別構成割合及び平均年齢について、平成26～30年までの調査結果を示したものが表2である。

まず、20歳未満の構成割合は増加傾向にあり、平成30年は1.7%である。20～39歳の構成割合も増加傾向にあり、平成30年は33.6%である。40～64歳の構成割合は減少傾向にあり、平成30年は50.8%である。65～74歳の年齢構成は増加傾向にあり、平成30年は12.8%である。

次に、平成30年の年齢構成を男女別にみると、男性は60～64歳の割合が最も高く11.9%、続いて55～59歳の11.6%、50～54歳の9.8%であり、45～64歳で4割強を占めている。女性は20～24歳の割合が最も高く26.2%、続いて25～29歳の20.6%であり、20代で5割弱を占めている。

また、船舶種別にみると、汽船等は55～59歳の割合が最も高く11.8%、漁船（い）は30～34歳の割合が最も高く10.7%となっており、漁船（ろ）は20～24歳の割合が最も高く12.8%である。

最後に、被保険者の平均年齢は低下傾向にあり、平成30年には47.0歳である。男女別の平均年齢は、男性が47.2歳、女性が34.8歳であり、船舶種別の平均年齢は、汽船等が46.9歳、漁船（い）が44.2歳、漁船（ろ）が45.7歳である。

表2 被保険者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	平成 26年	27年	28年	29年	30年					
					総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (98.3)	100.0 (1.7)	100.0 (67.8)	100.0 (2.8)	100.0 (26.1)
15～19歳	1.3	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7	4.7	1.2	2.2	3.3
20～24	7.7	8.0	8.2	8.8	9.2	8.9	26.2	8.2	10.3	12.8
25～29	7.6	7.8	8.0	8.3	8.5	8.2	20.6	9.4	9.4	6.8
30～34	7.4	7.6	7.9	7.9	7.8	7.7	11.6	8.1	10.7	7.5
35～39	8.1	8.0	8.0	8.1	8.2	8.2	7.3	8.1	9.9	8.9
40～44	8.6	8.7	8.8	8.8	8.6	8.7	6.7	9.4	9.6	7.3
45～49	9.4	9.2	9.4	9.2	9.2	9.2	6.5	9.8	9.2	8.2
50～54	11.0	10.6	9.9	9.9	9.8	9.8	5.7	10.3	9.8	9.0
55～59	14.7	13.6	12.7	11.9	11.5	11.6	3.7	11.8	10.0	11.4
60～64	14.1	13.6	13.1	12.4	11.7	11.9	1.7	10.9	9.9	11.9
65～69	7.2	8.4	9.3	9.3	9.3	9.4	2.7	8.6	6.2	8.7
70～74	2.3	2.3	2.4	2.9	3.5	3.5	1.1	3.1	2.3	3.1
75歳以上	0.5	0.6	0.7	0.9	1.0	1.0	1.4	1.1	0.4	1.0
(再 掲)										
20～39歳	30.7	31.4	32.1	33.1	33.6	33.1	65.8	33.7	40.3	36.0
40～64	57.9	55.8	53.9	52.2	50.8	51.3	24.3	52.3	48.6	47.9
65～74	9.5	10.7	11.7	12.2	12.8	13.0	3.8	11.7	8.5	11.8
平均年齢（歳）	47.6	47.5	47.4	47.1	47.0	47.2	34.8	46.9	44.2	45.7

（注1）平成29年以前の数値は、男女総数のものである。

（注2）カッコ内は総数に対する割合である。

3. 被扶養者の年齢構成

まず、被扶養者の年齢構成について、平成26～30年までの調査結果を示したものが表3である。

被扶養者の20歳未満の割合は増加傾向にあり、平成30年は45.6%である。20～39歳の割合は減少傾向にあり、平成30年は17.8%である。40～64歳の割合は減少傾向にあり、平成30年には28.2%である。65～74歳の割合は増加傾向にあり、平成30年には8.4%である。

また、適用区分別（船舶種別）にみると、どの適用区分においても概ね適用区分総数とほぼ同じ傾向にある。

表3 被扶養者の年齢構成（各年10月1日現在）

（単位：％）

年齢階級	平成 26年	27年	28年	29年	30年			
					総数	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0 (100.0)	100.0 (70.4)	100.0 (1.7)	100.0 (25.1)
0～4歳	10.1	10.4	10.7	11.0	11.2	11.0	11.5	12.5
5～9	9.5	10.1	10.7	11.2	11.5	11.3	13.0	13.1
10～14	11.1	10.8	10.7	10.8	11.0	11.2	10.6	11.2
15～19	12.6	12.4	12.0	12.0	11.9	12.4	10.8	11.0
20～24	6.9	6.8	6.6	6.3	6.0	6.5	5.1	5.2
25～29	3.8	3.7	3.6	3.5	3.3	3.1	3.0	3.8
30～34	4.1	4.2	4.1	4.2	4.1	4.0	3.8	4.6
35～39	4.2	4.2	4.3	4.3	4.4	4.5	3.9	4.4
40～44	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	4.9	3.9	4.1
45～49	5.1	5.0	5.1	5.1	5.1	5.4	4.5	4.5
50～54	6.1	6.0	5.6	5.5	5.5	5.8	5.1	5.1
55～59	7.4	7.1	6.8	6.6	6.4	6.3	8.5	5.9
60～64	7.1	7.0	6.9	6.6	6.6	6.1	7.6	6.3
65～69	4.5	5.0	5.6	5.7	5.6	5.0	5.9	5.5
70～74	2.6	2.5	2.3	2.5	2.8	2.5	2.8	3.0
75歳以上	0.0	-	-	0.0	0.0	0.0	-	0.0
(再 掲)								
0～19歳	43.4	43.7	44.2	45.0	45.6	46.0	45.8	47.8
うち未就学児	13.1	13.6	14.0	14.5	14.6	14.3	15.6	16.5
20～39	19.1	18.8	18.6	18.2	17.8	18.0	15.9	18.0
40～64	30.5	30.0	29.3	28.5	28.2	28.5	29.6	25.7
65～74	7.0	7.5	7.9	8.3	8.4	7.6	8.7	8.4

（注）カッコ内は総数に対する割合である。

次に、平成30年における被扶養者の続柄別の年齢構成を示したものが表4である。

被扶養者全体に占める子の割合は53.3%である。また、子の大半は20歳未満で、20歳以上の子の割合は8.2%である。配偶者の割合は41.8%であり、55～59歳の割合が最も高い。直系尊属は3.6%であり、60歳以上が大半を占めており、年齢の上昇とともに割合も増加している。その他の被扶養者（兄弟姉妹等）は1.4%であり、年齢階級で大きな違いはみられない。

表4 被扶養者の続柄別年齢構成（平成30年10月1日現在）

(単位：％)

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総 数	100.0	53.3	41.8	3.6	1.4
0～4歳	11.2	11.1	・	—	0.1
5～9	11.5	11.5	・	—	0.1
10～14	11.0	10.9	・	—	0.1
15～19	11.9	11.7	0.0	—	0.2
20～24	6.0	5.3	0.7	—	0.1
25～29	3.3	1.3	1.9	—	0.1
30～34	4.1	0.8	3.2	—	0.1
35～39	4.4	0.5	3.9	0.0	0.0
40～44	4.6	0.2	4.4	0.0	0.1
45～49	5.1	0.1	4.9	0.1	0.1
50～54	5.5	0.0	5.3	0.1	0.1
55～59	6.4	—	6.0	0.3	0.1
60～64	6.6	—	5.9	0.6	0.1
65～69	5.6	—	4.3	1.1	0.1
70～74	2.8	—	1.3	1.4	0.1
75歳以上	0.0	—	0.0	0.0	—
(再掲) 未就学児	14.6	14.5	—	—	0.1

4. 年齢階級別扶養率

まず、被保険者の年齢階級別にみた被保険者1人当たり被扶養者数（扶養率）の平成26～30年の調査結果を示したものが表5であり、平成30年の総数及び船舶種別の状況をグラフにしたものが図2である。

年齢階級総数における扶養率は低下傾向にあり、平成30年は1.036となっている。また、近年の扶養率の動きを年齢階級別に見ると、ピークとなる年齢階級は直近5年は全て40～44歳である。

平成30年の年齢階級別扶養率を男女別にみると、男性の扶養率は、年齢の上昇とともに概ね上昇し、40～44歳の1.829がピークである。それ以降は低下傾向に転じ、平均扶養率は1.052となっている。女性の扶養率は、全年齢階級で男性より低く、平均扶養率は0.078である。

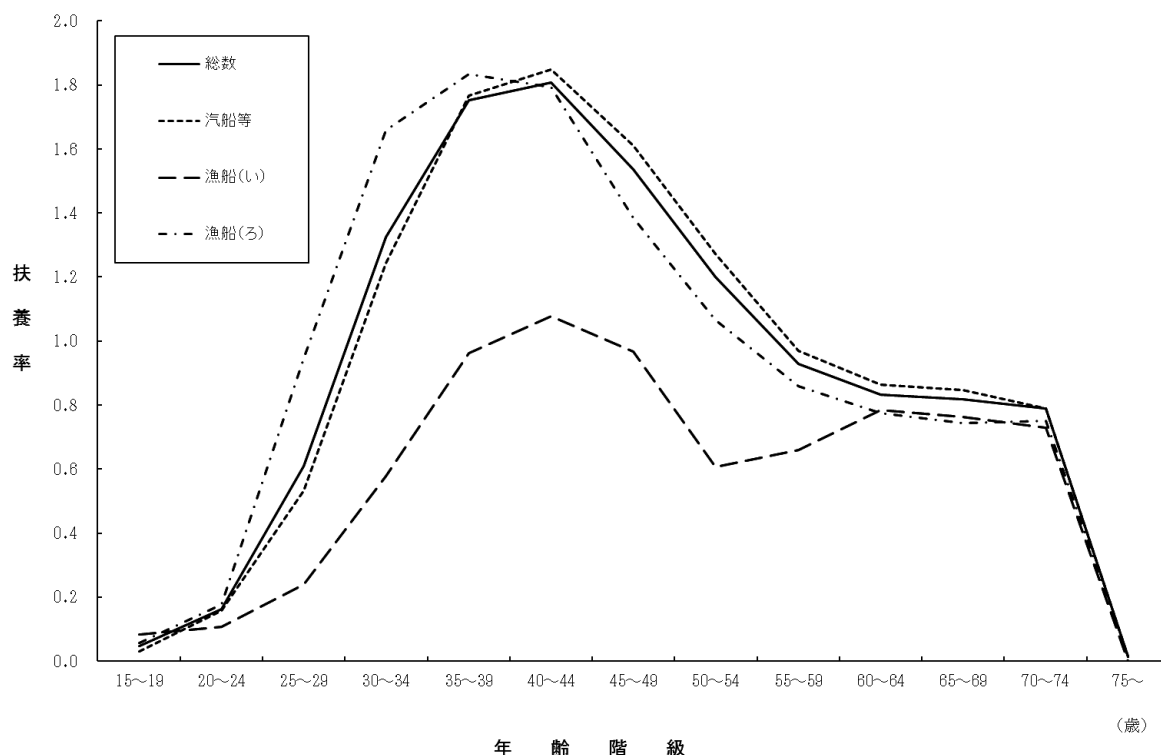
また、船舶種別にみると、平均扶養率は汽船等が1.076、漁船（い）が0.652、漁船（ろ）が0.997となっている。年齢階級別扶養率は年齢の上昇とともに概ね上昇し、汽船等及び漁船（い）は40～44歳、漁船（ろ）は35～39歳でピークを迎え、その後低下傾向に転じている。

表5 被保険者の年齢階級別扶養率（各年10月1日現在）

年齢階級	平成 26年	27年	28年	29年	30年					
					総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.153	1.124	1.097	1.065	1.036	1.052	0.078	1.076	0.652	0.997
15～19歳	0.036	0.046	0.040	0.048	0.046	0.048	—	0.031	0.083	0.057
20～24	0.178	0.168	0.167	0.171	0.163	0.170	0.023	0.157	0.107	0.176
25～29	0.717	0.712	0.677	0.622	0.610	0.634	0.049	0.533	0.240	0.946
30～34	1.474	1.411	1.395	1.382	1.325	1.357	0.103	1.242	0.577	1.658
35～39	1.774	1.803	1.784	1.776	1.753	1.777	0.164	1.766	0.963	1.834
40～44	1.816	1.819	1.813	1.803	1.808	1.829	0.209	1.847	1.076	1.794
45～49	1.705	1.651	1.600	1.555	1.536	1.552	0.262	1.611	0.967	1.385
50～54	1.362	1.321	1.264	1.232	1.199	1.210	0.070	1.271	0.606	1.065
55～59	1.043	1.021	1.002	0.957	0.928	0.933	0.027	0.969	0.659	0.859
60～64	0.910	0.896	0.882	0.858	0.831	0.833	0.059	0.863	0.784	0.775
65～69	0.882	0.858	0.841	0.832	0.818	0.822	—	0.848	0.762	0.743
70～74	0.822	0.801	0.805	0.797	0.789	0.793	0.091	0.789	0.730	0.752
75歳以上	0.003	0.003	0.011	0.011	0.013	0.013	—	0.013	—	0.013

（注）平成29年以前の数値は、男女総数の扶養率である。

図2 被保険者の年齢階級別扶養率（平成30年10月1日現在）



次に、平成30年における被保険者の年齢階級別扶養率を続柄別に示したものが表6である。年齢階級総数における続柄別の扶養率をみると、子は0.552、配偶者は0.433、直系尊属は0.037、その他は0.014となっている。

被保険者の年齢階級別にみると、子及び直系尊属の扶養率は山型をなしており、ピークはともに40～44歳で、それぞれ1.214、0.111である。配偶者の扶養率は35～54歳で横ばいとなっているものの、概ね年齢の上昇とともに増加する傾向にあり、ピークは70～74歳の0.691である。

表6 被保険者の年齢階級別、続柄別扶養率（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数	子	配偶者	直系尊属	その他
総数	1.036	0.552	0.433	0.037	0.014
15～19歳	0.046	0.015	0.013	0.013	0.006
20～24	0.163	0.077	0.057	0.020	0.009
25～29	0.610	0.362	0.201	0.039	0.009
30～34	1.325	0.874	0.374	0.064	0.013
35～39	1.753	1.196	0.458	0.084	0.014
40～44	1.808	1.214	0.466	0.111	0.017
45～49	1.536	0.981	0.455	0.086	0.015
50～54	1.199	0.698	0.463	0.022	0.016
55～59	0.928	0.393	0.513	0.002	0.020
60～64	0.831	0.215	0.600	0.000	0.017
65～69	0.818	0.126	0.678	-	0.014
70～74	0.789	0.085	0.691	-	0.013
75歳以上	0.013	0.005	0.008	-	-

5. 標準報酬月額別扶養率

標準報酬月額別にみた扶養率を示したものが表7及び図3である。

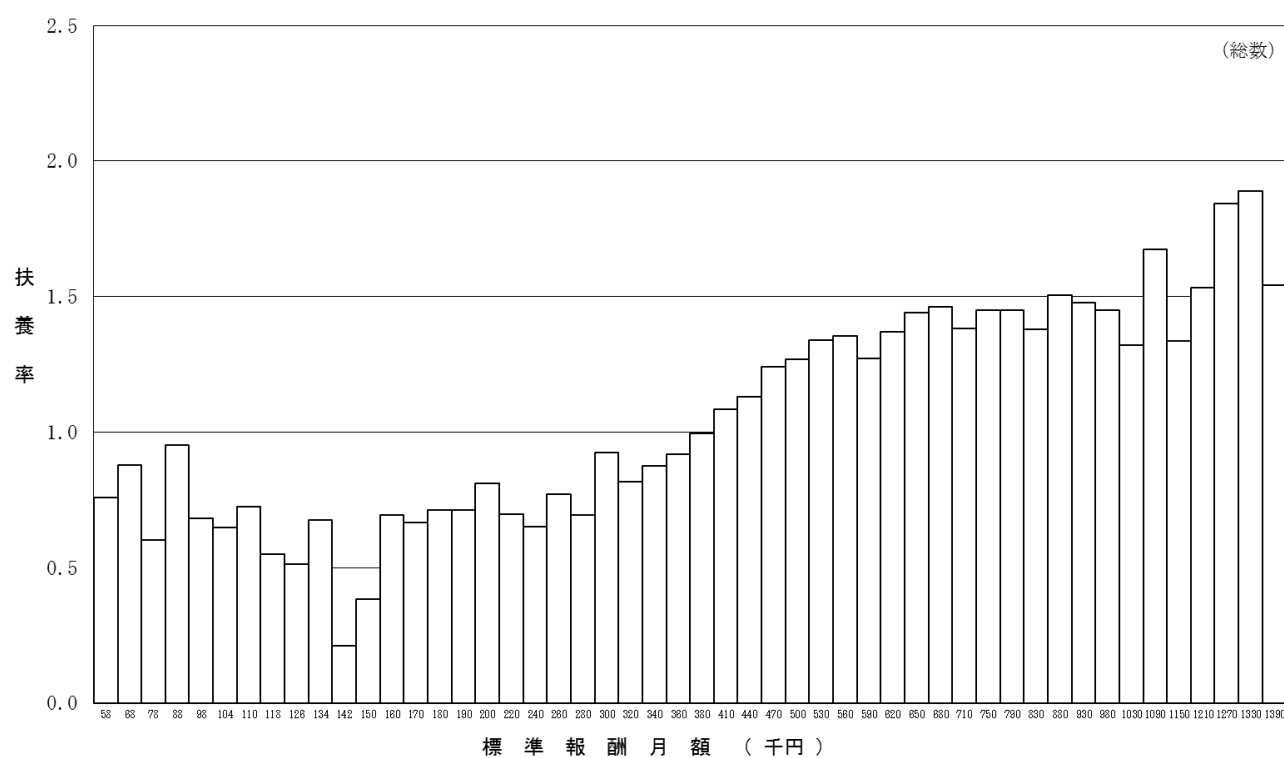
男性についてみると、概ね標準報酬月額32万円程度から79万円程度の間で、標準報酬月額の上昇に伴い扶養率も上昇する傾向にある。また扶養率のピークは、標準報酬月額133万円の1.857である。

船舶種別にみると、扶養率のピークは、汽船等は標準報酬月額127万円の2.328、漁船（い）は標準報酬月額93万円の4.000、漁船（ろ）は標準報酬月額139万円の1.528である。

表7 標準報酬月額別扶養率（平成30年10月1日現在）

標準報酬月額	総 数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総 数	1.036	1.052	0.078	1.076	0.652	0.997
58,000 円	0.758	0.758	-	0.566	0.667	1.013
68,000	0.878	0.878	-	0.500	0.500	1.167
78,000	0.603	0.638	-	0.421	-	0.846
88,000	0.953	0.988	-	0.688	2.000	1.385
98,000	0.681	0.707	0.125	0.691	0.400	0.612
104,000	0.647	0.647	-	0.609	1.000	0.780
110,000	0.725	0.733	-	0.789	0.667	0.619
118,000	0.551	0.546	0.800	0.708	1.000	0.500
126,000	0.513	0.527	-	0.643	-	0.452
134,000	0.676	0.682	-	0.621	-	0.679
142,000	0.212	0.213	-	0.829	1.000	0.153
150,000	0.383	0.386	0.091	0.747	0.538	0.277
160,000	0.694	0.724	-	0.662	0.667	0.713
170,000	0.666	0.683	0.235	0.571	0.091	0.801
180,000	0.712	0.751	0.089	0.576	0.458	0.892
190,000	0.712	0.739	0.185	0.477	0.182	0.884
200,000	0.811	0.841	0.143	0.595	0.692	0.988
220,000	0.697	0.734	0.075	0.514	0.328	0.964
240,000	0.650	0.681	0.022	0.596	0.389	0.802
260,000	0.771	0.806	0.050	0.637	0.542	1.082
280,000	0.695	0.726	0.073	0.671	0.522	0.785
300,000	0.923	0.943	0.051	0.890	0.380	1.140
320,000	0.816	0.832	0.021	0.808	0.512	0.934
340,000	0.877	0.893	-	0.878	0.541	0.970
360,000	0.919	0.932	0.049	0.915	0.787	1.028
380,000	0.995	1.008	0.023	1.017	0.611	0.985
410,000	1.085	1.094	0.256	1.105	0.747	1.108
440,000	1.131	1.136	0.048	1.196	0.720	1.200
470,000	1.240	1.244	0.250	1.275	1.057	1.076
500,000	1.267	1.273	0.067	1.268	0.707	1.352
530,000	1.338	1.345	-	1.390	1.052	1.124
560,000	1.355	1.357	0.250	1.382	1.000	1.259
590,000	1.270	1.280	-	1.343	1.000	1.013
620,000	1.371	1.376	-	1.463	0.593	1.111
650,000	1.442	1.442	-	1.535	-	1.230
680,000	1.462	1.462	-	1.473	0.800	1.463
710,000	1.381	1.388	0.200	1.493	1.357	1.149
750,000	1.449	1.453	0.333	1.549	1.800	1.302
790,000	1.450	1.460	-	1.481	1.000	1.425
830,000	1.378	1.378	-	1.485	2.333	1.285
880,000	1.505	1.513	-	1.591	1.200	1.444
930,000	1.479	1.479	-	1.495	4.000	1.452
980,000	1.449	1.454	-	1.611	0.200	1.340
1,030,000	1.322	1.322	-	1.620	-	1.156
1,090,000	1.673	1.680	-	1.979	-	1.441
1,150,000	1.335	1.343	-	2.224	3.000	0.984
1,210,000	1.531	1.540	-	1.948	-	1.216
1,270,000	1.844	1.844	-	2.328	-	1.481
1,330,000	1.857	1.857	-	2.204	3.000	1.479
1,390,000	1.548	1.551	-	1.655	1.500	1.528

図3 標準報酬月額別扶養率（平成30年10月1日現在）



6. 総報酬額階級別扶養率

被保険者の標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたものを総報酬額とし、その総報酬額階級別に扶養率を示したものが表8である。

男性についてみると、概ね総報酬額250万円から1,050万円の間で、総報酬額の上昇に伴い扶養率も増加する傾向にある。扶養率のピークは、1,900万円以上1,950万円未満の2.833である。

船舶種別にみると、扶養率のピークはそれぞれ、汽船等は1,900万円以上1,950万円未満の2.833、漁船（い）は1,200万円以上1,250万円未満の5.000、漁船（ろ）は1,250万円以上1,300万円未満の1.571である。

表8 総報酬額階級別扶養率（平成30年10月1日現在）

総報酬額階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総数	1.036	1.052	0.078	1.076	0.652	0.997
～ 999,000 円	0.754	0.760	-	0.533	0.667	1.021
1,000,000 ～ 1,499,000	0.667	0.681	0.231	0.681	0.769	0.633
1,500,000 ～ 1,999,000	0.407	0.411	0.036	0.722	0.571	0.326
2,000,000 ～ 2,499,000	0.790	0.813	0.162	0.596	0.391	0.953
2,500,000 ～ 2,999,000	0.690	0.719	0.098	0.575	0.426	0.877
3,000,000 ～ 3,499,000	0.756	0.786	0.046	0.665	0.494	0.958
3,500,000 ～ 3,999,000	0.847	0.868	0.027	0.820	0.345	1.016
4,000,000 ～ 4,499,000	0.815	0.841	0.035	0.809	0.431	0.956
4,500,000 ～ 4,999,000	0.895	0.911	0.069	0.900	0.433	0.984
5,000,000 ～ 5,499,000	0.968	0.980	0.048	0.971	0.590	1.140
5,500,000 ～ 5,999,000	1.057	1.065	0.167	1.055	1.000	1.076
6,000,000 ～ 6,499,000	1.143	1.149	0.107	1.136	0.700	1.240
6,500,000 ～ 6,999,000	1.291	1.296	0.154	1.304	0.951	1.272
7,000,000 ～ 7,499,000	1.281	1.292	0.065	1.338	1.137	1.090
7,500,000 ～ 7,999,000	1.451	1.453	0.250	1.463	1.131	1.442
8,000,000 ～ 8,499,000	1.456	1.462	-	1.460	1.130	1.459
8,500,000 ～ 8,999,000	1.329	1.332	0.250	1.379	0.880	1.169
9,000,000 ～ 9,499,000	1.427	1.435	0.100	1.483	1.000	1.331
9,500,000 ～ 9,999,000	1.518	1.519	-	1.618	1.091	1.276
10,000,000 ～ 10,499,000	1.651	1.651	-	1.667	1.778	0.917
10,500,000 ～ 10,999,000	1.586	1.591	-	1.624	2.000	1.517
11,000,000 ～ 11,499,000	1.597	1.597	-	1.670	2.500	1.442
11,500,000 ～ 11,999,000	1.521	1.524	-	1.603	1.143	1.375
12,000,000 ～ 12,499,000	1.407	1.407	-	1.618	5.000	1.169
12,500,000 ～ 12,999,000	1.819	1.819	-	1.878	1.200	1.571
13,000,000 ～ 13,499,000	1.621	1.628	-	1.875	-	1.420
13,500,000 ～ 13,999,000	1.298	1.304	-	1.873	1.500	0.985
14,000,000 ～ 14,499,000	1.800	1.800	-	1.905	4.000	0.333
14,500,000 ～ 14,999,000	1.494	1.503	-	1.882	-	1.206
15,000,000 ～ 15,499,000	1.819	1.819	-	2.215	-	1.494
15,500,000 ～ 15,999,000	1.906	1.906	-	2.197	3.000	1.500
16,000,000 ～ 16,499,000	1.917	1.917	-	2.111	-	1.333
16,500,000 ～ 16,999,000	1.553	1.556	-	1.663	1.500	1.533
17,000,000 ～ 17,499,000	1.810	1.810	-	1.850	-	1.000
17,500,000 ～ 17,999,000	2.750	2.750	-	2.750	-	-
18,000,000 ～ 18,499,000	1.833	1.833	-	1.833	-	-
18,500,000 ～ 18,999,000	1.429	1.429	-	1.400	-	1.500
19,000,000 ～ 19,499,000	2.833	2.833	-	2.833	-	-
19,500,000 ～ 19,999,000	-	-	-	-	-	-
20,000,000 ～ 20,499,000	-	-	-	-	-	-
20,500,000 ～ 20,999,000	-	-	-	-	-	-
21,000,000 ～ 21,499,000	1.000	1.000	-	1.000	-	-
21,500,000 ～ 21,999,000	1.000	1.000	-	-	-	1.000
22,000,000 ～	0.500	0.500	-	1.000	-	-

(注)総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたものとしている。

7. 年齢階級別平均標準報酬月額

被保険者の年齢階級別にみた平均標準報酬月額を示したものが表9及び図4である。

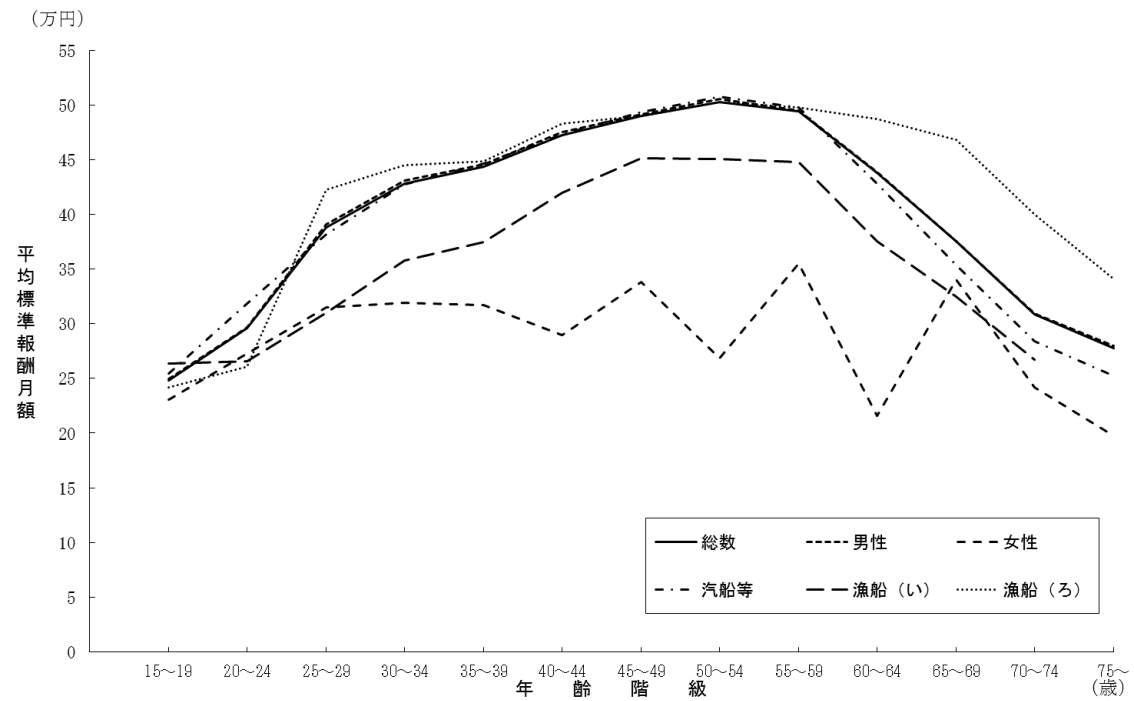
男性の平均標準報酬月額は山型をなしており、ピークは50～54歳の505,366円となっている。これを20歳未満の平均標準報酬月額と比較すると、約2.03倍である。また、55歳ごろまでの平均標準報酬月額は、年齢階級の上昇とともに1～9万円程度増加しているが、その後は年齢階級の上昇とともに減少する傾向にある。一方、女性の平均標準報酬月額のピークは55～59歳で、354,865円である。

また、船舶種別にみると、概ね男性と同様に山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳で507,838円、漁船(い)が45～49歳で451,192円、漁船(ろ)が50～54歳の502,651円である。

表9 年齢階級別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	425,744	427,967	295,834	428,597	374,522	436,032
15～19歳	248,393	249,259	230,426	254,612	263,889	241,713
20～24	295,805	296,948	273,092	318,423	265,893	260,891
25～29	388,012	391,129	315,165	381,803	309,805	422,626
30～34	428,400	431,215	318,966	427,474	358,069	445,015
35～39	443,642	445,583	316,904	446,933	374,783	449,039
40～44	472,742	475,165	289,701	473,080	419,936	483,309
45～49	490,023	491,863	337,938	493,605	451,192	490,277
50～54	503,041	505,366	268,667	507,838	450,875	502,651
55～59	494,178	494,936	354,865	497,730	447,976	497,868
60～64	438,133	438,677	215,765	428,440	375,877	487,368
65～69	375,548	375,720	340,370	353,569	324,851	468,205
70～74	308,842	309,199	241,636	284,282	267,405	399,950
75歳以上	277,756	279,653	197,429	252,265	492,571	341,176

図4 年齢階級別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）



8. 年齢階級別平均標準賞与額

まず、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を年齢階級別に示したものが表10及び図5である。

年齢階級別にみると、男性の平均標準賞与額は、標準報酬月額と同様に山型をなしており、ピークは40～44歳の728,290円である。これを20歳未満の平均標準賞与額と比較すると約6.11倍であり、平均標準報酬月額の場合よりも比率が大きい。女性の平均標準賞与額もおおむね山型をなしており、ピークは30～34歳の556,388円である。

船舶種別にみても、男性及び女性と同様におおむね山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳の907,730円、漁船(い)が60～64歳の778,148円、漁船(ろ)が45～49歳の160,976円である。

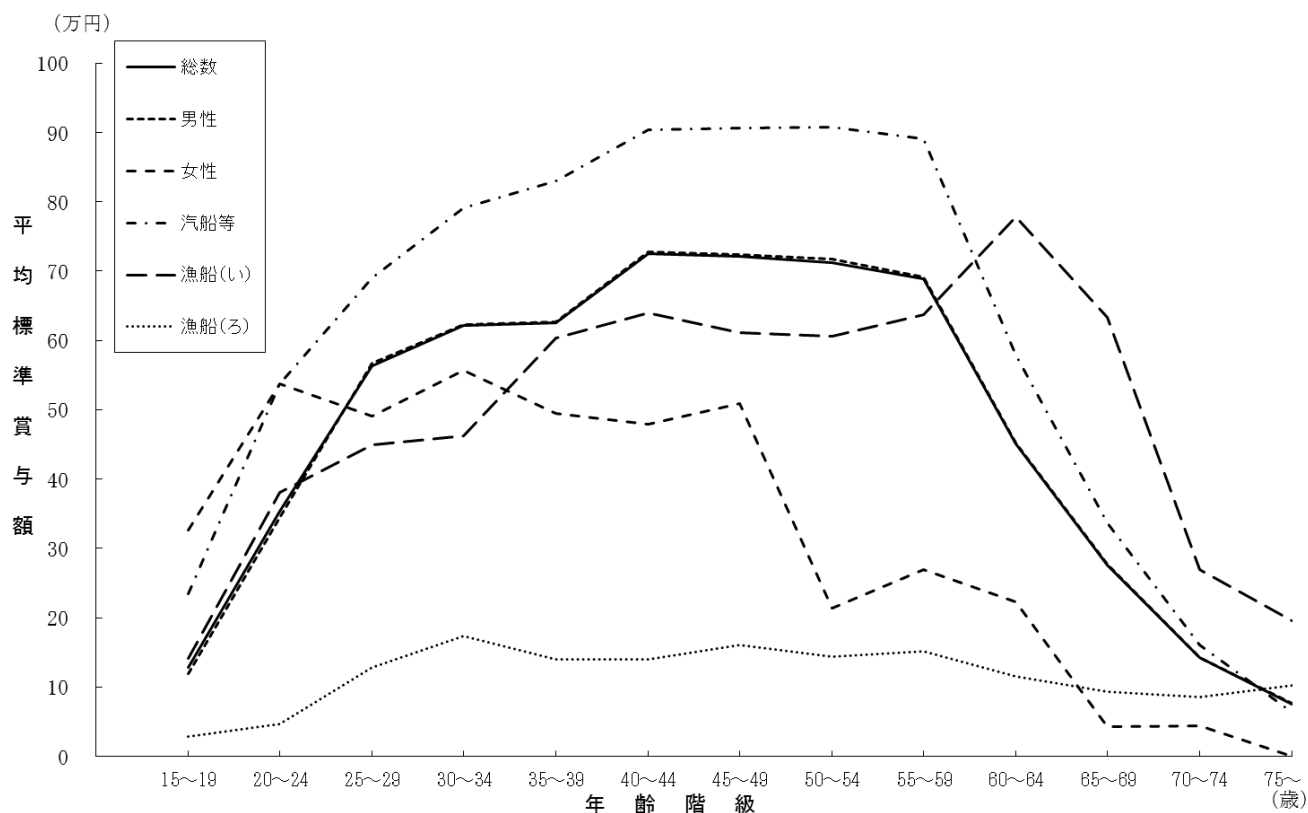
なお、漁船(ろ)については、大多数の者が賞与の支給を受けていないことに注意を要する(表13参照)。

表10 年齢階級別平均標準賞与額(平成30年10月1日現在)

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
	円	円	円	円	円	円
総 数	549,072	550,771	452,255	713,532	558,449	120,562
15～19 歳	128,781	119,248	326,319	233,931	141,139	29,171
20～24	354,177	344,968	537,203	537,692	380,935	46,297
25～29	563,745	566,884	490,522	690,383	449,117	128,576
30～34	621,431	623,120	556,388	790,700	462,800	173,779
35～39	625,007	627,026	494,411	830,663	603,708	139,854
40～44	725,009	728,290	478,985	903,914	639,675	140,013
45～49	721,759	724,318	509,266	907,067	610,642	160,976
50～54	712,375	717,308	213,143	907,730	605,994	144,176
55～59	688,755	690,959	269,514	890,443	637,372	151,767
60～64	450,887	451,423	222,400	578,684	778,148	115,691
65～69	275,694	276,936	42,885	336,270	633,624	93,121
70～74	141,978	142,591	44,545	160,146	269,405	85,576
75歳以上	75,182	76,959	-	63,922	195,714	102,490

(注) 平均標準賞与額は、平成29年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

図5 年齢階級別平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）



次に、平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較を示したものが表11及び図6である。

年齢階級総数における、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率をみると、約1.29ヶ月分である。この比率を年齢階級別にみると、山型をなしており、ピークは40～44歳の約1.53ヶ月分である。

男女別でみると、男性は40～44歳、女性は20～24歳がピークであり、ピーク時の平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、男性が約1.53ヶ月分、女性が約1.97ヶ月分である。

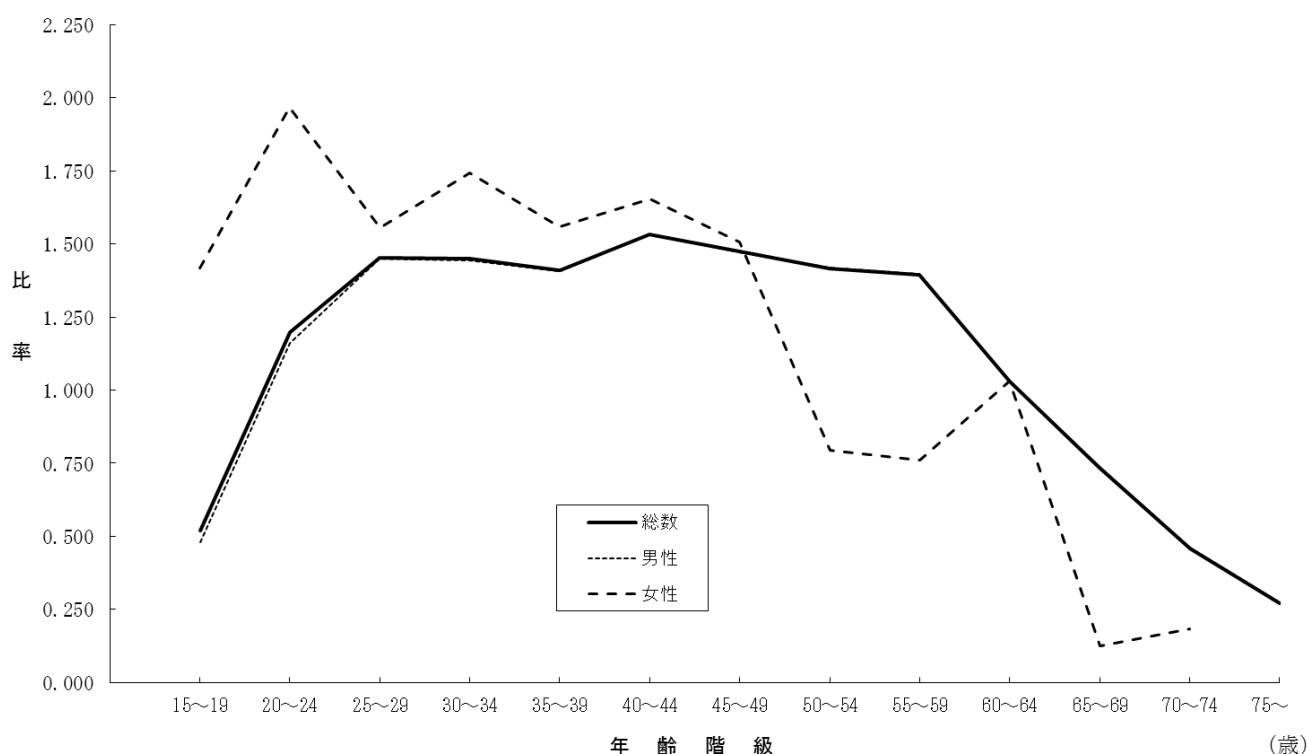
また図6をみると、平均標準賞与額の平均標準報酬月額に対する比率は、40代後半までは女性の方が高いが、50代後半以降は概ね男性の方が高い。

表11 年齢階級別平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成30年10月1日現在）

年齢階級	① 平均標準報酬月額			② 平均標準賞与額			比率（②/①）		
	総数	男性	女性	総数	男性	女性	総数	男性	女性
	円	円	円	円	円	円			
総 数	425,744	427,967	295,834	549,072	550,771	452,255	1.290	1.287	1.529
15～19歳	248,393	249,259	230,426	128,781	119,248	326,319	0.518	0.478	1.416
20～24	295,805	296,948	273,092	354,177	344,968	537,203	1.197	1.162	1.967
25～29	388,012	391,129	315,165	563,745	566,884	490,522	1.453	1.449	1.556
30～34	428,400	431,215	318,966	621,431	623,120	556,388	1.451	1.445	1.744
35～39	443,642	445,583	316,904	625,007	627,026	494,411	1.409	1.407	1.560
40～44	472,742	475,165	289,701	725,009	728,290	478,985	1.534	1.533	1.653
45～49	490,023	491,863	337,938	721,759	724,318	509,266	1.473	1.473	1.507
50～54	503,041	505,366	268,667	712,375	717,308	213,143	1.416	1.419	0.793
55～59	494,178	494,936	354,865	688,755	690,959	269,514	1.394	1.396	0.759
60～64	438,133	438,677	215,765	450,887	451,423	222,400	1.029	1.029	1.031
65～69	375,548	375,720	340,370	275,694	276,936	42,885	0.734	0.737	0.126
70～74	308,842	309,199	241,636	141,978	142,591	44,545	0.460	0.461	0.184
75歳以上	277,756	279,653	197,429	75,182	76,959	-	0.271	0.275	-

（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

図6 平均標準報酬月額と平均標準賞与額の比較（平成30年10月1日現在）



9. 年齢階級別平均総報酬額

被保険者の平均総報酬額（標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日までの1年間に支払われたもの）を加えたもの）を年齢階級別に示したものが表12及び図7である。

年齢階級別にみると、男性の平均総報酬額は、標準報酬月額と同様に山型をなしており、ピークは50～54歳の6,771,840円である。女性の平均総報酬額は標準報酬月額とは異なり、45～49歳でピークを迎えているが、男性と比べるとなだらかな変化である。

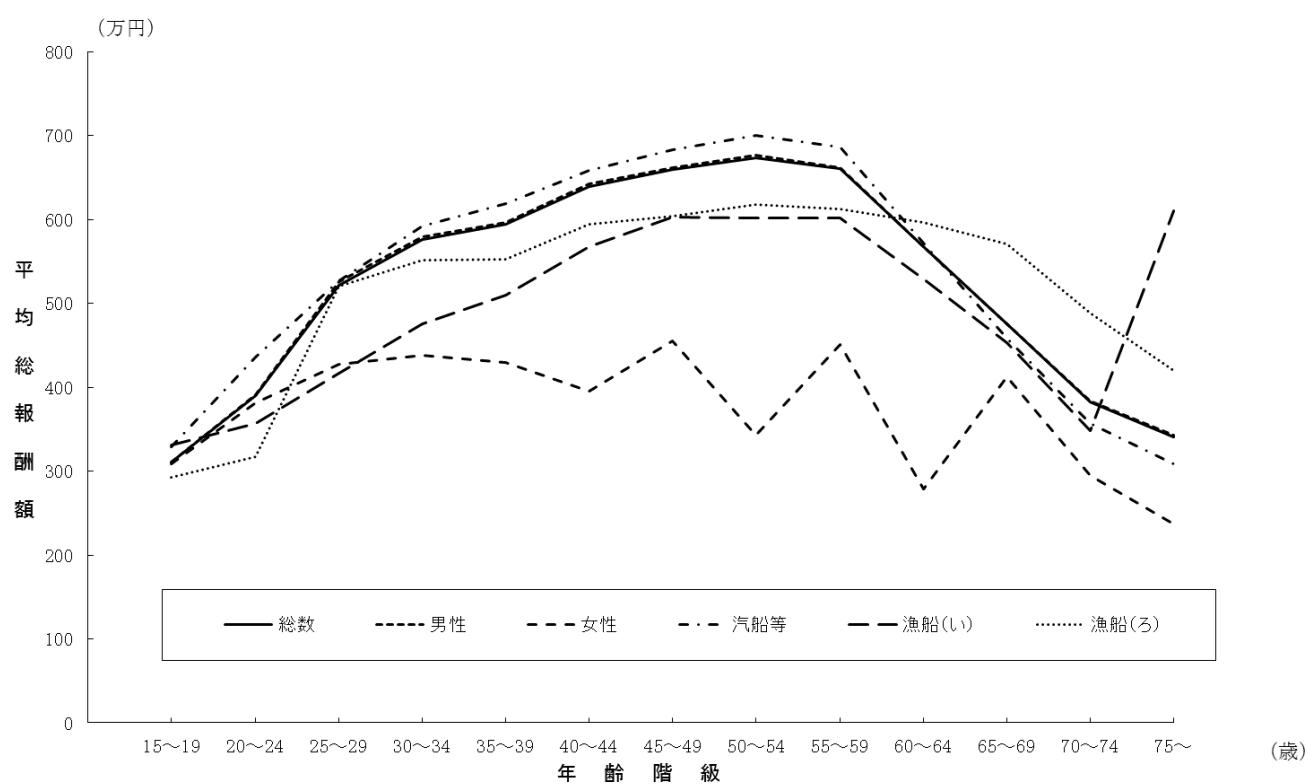
船舶種別でみても山型をなしており、ピークは汽船等が50～54歳で7,001,781円、漁船（い）が45～49歳で6,024,947円、漁船（ろ）が50～54歳の6,175,988円である。

表12 年齢階級別平均総報酬額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船（い）	(再掲) 漁船（ろ）
	円	円	円	円	円	円
総数	5,639,662	5,667,754	3,998,186	5,856,694	5,052,710	5,352,949
15～19	3,109,375	3,110,240	3,091,426	3,289,277	3,307,806	2,929,722
20～24	3,902,542	3,907,086	3,812,252	4,358,770	3,571,649	3,176,994
25～29	5,216,289	5,256,786	4,270,121	5,272,025	4,166,779	5,200,084
30～34	5,756,857	5,792,176	4,383,974	5,920,384	4,759,623	5,513,954
35～39	5,942,643	5,967,840	4,297,260	6,193,860	5,101,099	5,528,326
40～44	6,392,542	6,424,800	3,955,403	6,580,868	5,678,911	5,939,725
45～49	6,594,333	6,618,988	4,556,692	6,830,330	6,024,947	6,044,306
50～54	6,739,048	6,771,840	3,433,404	7,001,781	6,016,494	6,175,988
55～59	6,604,483	6,615,865	4,513,324	6,863,199	6,013,079	6,126,182
60～64	5,672,063	5,679,122	2,785,412	5,719,968	5,288,667	5,964,104
65～69	4,750,371	4,753,430	4,125,741	4,579,100	4,531,842	5,711,585
70～74	3,826,294	3,830,986	2,944,182	3,571,533	3,478,270	4,884,979
75歳以上	3,408,132	3,432,661	2,369,143	3,091,096	6,106,571	4,196,608

（注）総報酬額は、標準報酬月額12ヶ月分に標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日までの12ヶ月間に支払われたもの）を加えたものとしている。

図7 年齢階級別平均総報酬額（平成30年10月1日現在）



10. 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合

標準賞与額について、支給額が0円の被保険者の割合を年齢階級別に示したものが表13である。総数でみると、0.471と約半数の者が賞与を受けていない。

男女別、年齢階級別にみると、男性については、15～19歳から25～29歳にかけて、年齢の上昇に伴っていったん減少したのち、しばらくは横ばいだが、60歳以降で上昇している。最も割合が低いのは25～29歳で0.379であり、逆に最も割合が高いのは、75歳以上で0.873である。女性については、最も割合が低いのは、15～19歳で0.213となっており、逆に最も割合が高いのは、75歳以上で1.000である。

船舶種別にみると、汽船等は約3割、漁船（い）は約4割の者が賞与を受けておらず、漁船（ろ）に至っては9割以上の者が賞与の支給を受けていない。また、年齢階級別にみると、最も割合が低いのは、汽船等が20～24歳で0.194、漁船（い）が60～64歳で0.272、漁船（ろ）が55～59歳の0.885であり、逆に最も割合が高いのは、汽船等、漁船（い）は75歳以上でそれぞれ0.854、0.714、漁船（ろ）では20～24歳で0.966である。

表13 年齢階級別標準賞与額0円の被保険者の割合（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数	男性	女性	(再掲) 汽船等	(再掲) 漁船(い)	(再掲) 漁船(ろ)
総数	0.471	0.473	0.362	0.305	0.385	0.912
15～19歳	0.614	0.633	0.213	0.270	0.278	0.961
20～24	0.481	0.494	0.215	0.194	0.387	0.966
25～29	0.375	0.379	0.288	0.229	0.318	0.902
30～34	0.412	0.415	0.302	0.235	0.423	0.904
35～39	0.428	0.428	0.397	0.228	0.360	0.909
40～44	0.387	0.385	0.478	0.233	0.408	0.896
45～49	0.414	0.414	0.453	0.260	0.424	0.892
50～54	0.420	0.419	0.536	0.263	0.425	0.889
55～59	0.432	0.430	0.657	0.263	0.421	0.885
60～64	0.528	0.528	0.600	0.381	0.272	0.902
65～69	0.650	0.648	0.885	0.552	0.327	0.925
70～74	0.795	0.795	0.818	0.745	0.676	0.932
75歳以上	0.876	0.873	1.000	0.854	0.714	0.948

(注1) 標準賞与額（平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われたもの）0円の被保険者数を被保険者総数で除して算出している。

(注2) 疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

1 1. 年齢階級別、被保険者期間別構成等

まず、被保険者期間（資格取得後平成30年10月1日までの期間）が1年未満か、1年以上かについて、年齢階級別に被保険者の総数に対する割合を示したものが表14である。

被保険者期間1年未満の割合は、年齢階級総数で22.0%となっている。学卒者の新規加入の影響により、15～19歳で1年未満の被保険者が多く、年齢の上昇に伴い概ね低下傾向にある。また、定年後の再就職による加入の影響により、65～74歳の各年齢区分の1年未満の被保険者の割合はやや高い。

また、適用区分別（船舶種別）にみると、被保険者期間1年未満の割合は汽船等が17.9%、漁船（い）が18.7%、漁船（ろ）が33.9%となっている。年齢階級別で見ると、どの適用区分も、総数と概ね同様の構成割合となっている。各年齢区分において、汽船等及び漁船（い）よりも漁船（ろ）の方が1年未満の被保険者割合が高い。

表14 年齢階級別、被保険者期間別被保険者構成（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数			(再掲) 汽船等		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	22.0	78.0	100.0	17.9	82.1
15～19歳	100.0	80.7	19.3	100.0	76.9	23.1
20～24	100.0	34.5	65.5	100.0	34.7	65.3
25～29	100.0	21.7	78.3	100.0	18.2	81.8
30～34	100.0	20.7	79.3	100.0	15.7	84.3
35～39	100.0	19.3	80.7	100.0	15.1	84.9
40～44	100.0	17.3	82.7	100.0	13.6	86.4
45～49	100.0	17.6	82.4	100.0	13.6	86.4
50～54	100.0	17.4	82.6	100.0	13.2	86.8
55～59	100.0	17.1	82.9	100.0	12.9	87.1
60～64	100.0	19.9	80.1	100.0	16.3	83.7
65～69	100.0	23.7	76.3	100.0	20.4	79.6
70～74	100.0	24.7	75.3	100.0	23.0	77.0
75歳以上	100.0	18.6	81.4	100.0	16.1	83.9
年齢階級	(再掲) 漁船（い）			(再掲) 漁船（ろ）		
	総数	1年未満	1年以上	総数	1年未満	1年以上
総 数	100.0	18.7	81.3	100.0	33.9	66.1
15～19歳	100.0	80.6	19.4	100.0	84.3	15.7
20～24	100.0	33.9	66.1	100.0	34.4	65.6
25～29	100.0	21.4	78.6	100.0	34.6	65.4
30～34	100.0	17.1	82.9	100.0	34.8	65.2
35～39	100.0	12.4	87.6	100.0	29.6	70.4
40～44	100.0	11.5	88.5	100.0	30.1	69.9
45～49	100.0	11.3	88.7	100.0	31.3	68.7
50～54	100.0	15.0	85.0	100.0	29.6	70.4
55～59	100.0	12.8	87.2	100.0	29.3	70.7
60～64	100.0	15.4	84.6	100.0	32.7	67.3
65～69	100.0	18.8	81.2	100.0	35.8	64.2
70～74	100.0	29.7	70.3	100.0	35.2	64.8
75歳以上	100.0	14.3	85.7	100.0	26.1	73.9

次に、被保険者期間別に年齢階級別平均標準報酬月額について比較したものが表15である。平均標準報酬月額の被保険者期間による比率は、総数をみると、15～19歳及び55～59歳の2ヶ所でピークを迎え、60歳以降は徐々に低下する傾向にある。

また、船舶種別にみると、年齢階級総数の比率は漁船（い）が1.309と最も大きい。年齢階級別の状況は、汽船等については20～24歳の1.036で最小、55～59歳の1.196で最大、漁船（い）については70～74歳の0.861で最小、75歳以上の1.886で最大、漁船（ろ）について75歳以上の0.560で最小、15～19歳の1.208で最大である。

表15 年齢階級別、被保険者期間別平均標準報酬月額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数			（再掲）汽船等		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 397,262	円 433,762	1.092	円 368,716	円 441,629	1.198
15～19歳	242,664	272,386	1.122	251,319	265,600	1.057
20～24	302,266	292,398	0.967	311,079	322,327	1.036
25～29	374,892	391,643	1.045	348,364	389,243	1.117
30～34	440,470	425,247	0.965	407,417	431,222	1.058
35～39	439,672	444,591	1.011	410,272	453,470	1.105
40～44	474,086	472,461	0.997	446,698	477,230	1.068
45～49	478,670	492,451	1.029	453,425	499,910	1.103
50～54	477,583	508,387	1.064	454,459	515,949	1.135
55～59	455,327	502,210	1.103	425,296	508,464	1.196
60～64	418,386	443,040	1.059	370,813	439,622	1.186
65～69	375,823	375,462	0.999	307,864	365,311	1.187
70～74	323,205	304,137	0.941	252,189	293,860	1.165
75歳以上	327,912	266,283	0.812	229,972	256,556	1.116
年齢階級	（再掲）漁船（い）			（再掲）漁船（ろ）		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 299,213	円 391,818	1.309	円 448,458	円 429,649	0.958
15～19歳	264,828	260,000	0.982	234,033	282,800	1.208
20～24	240,175	279,099	1.162	292,745	244,168	0.834
25～29	277,576	318,595	1.148	434,022	416,598	0.960
30～34	320,267	365,890	1.142	494,808	418,379	0.846
35～39	335,500	380,355	1.134	485,710	433,605	0.893
40～44	340,556	430,216	1.263	528,117	464,058	0.879
45～49	344,706	464,701	1.348	519,575	476,900	0.918
50～54	399,583	459,926	1.151	520,935	494,955	0.950
55～59	355,143	461,608	1.300	499,110	497,353	0.996
60～64	274,160	394,438	1.439	490,213	485,985	0.991
65～69	262,105	339,390	1.295	505,214	447,578	0.886
70～74	296,364	255,154	0.861	463,435	365,470	0.789
75歳以上	280,000	528,000	1.886	505,400	283,044	0.560

被保険者期間別に年齢階級別平均標準賞与額について比較したものが表16である。平均標準賞与額の被保険者期間による比率は、総数をみると70～74歳の11.556が最大である。

また、船舶種別にみると、年齢階級総数の比率は漁船（ろ）が最も大きくなっている。年齢階級別の状況は、汽船等については20～24歳の4.099で最小、70～74歳の8.247で最大、漁船（い）については25～29歳の3.555で最小、40～44歳の12.954で最大、漁船（ろ）については75歳以上の1.828で最小、40～44歳の92.837で最大となっている。

表16 年齢階級別、被保険者期間別平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

年齢階級	総数			(再掲) 汽船等		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 89,594	円 680,426	7.595	円 148,516	円 836,496	5.632
15～19歳	64,909	395,939	6.100	124,297	599,709	4.825
20～24	111,732	482,338	4.317	177,854	728,971	4.099
25～29	108,709	690,422	6.351	162,769	807,764	4.963
30～34	92,257	759,180	8.229	157,022	909,138	5.790
35～39	104,446	748,662	7.168	181,211	946,460	5.223
40～44	103,981	854,077	8.214	173,176	1,018,871	5.883
45～49	107,928	853,928	7.912	184,289	1,020,477	5.537
50～54	109,922	838,082	7.624	185,352	1,017,496	5.490
55～59	102,975	810,819	7.874	178,531	995,950	5.579
60～64	74,126	550,732	7.430	122,908	667,122	5.428
65～69	38,070	353,293	9.280	60,909	407,013	6.682
70～74	16,206	187,272	11.556	24,333	200,676	8.247
75歳以上	29,239	85,712	2.931	10,556	74,195	7.029
年齢階級	(再掲) 漁船（い）			(再掲) 漁船（ろ）		
	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①	1年未満 ①	1年以上 ②	比率 ②／①
総 数	円 98,377	円 664,113	6.751	円 8,418	円 178,173	21.166
15～19歳	88,552	359,000	4.054	12,383	118,988	9.609
20～24	77,526	536,739	6.923	3,579	68,724	19.201
25～29	149,333	530,876	3.555	3,574	194,689	54.477
30～34	125,700	532,545	4.237	8,271	262,311	31.715
35～39	85,850	677,163	7.888	12,373	193,510	15.639
40～44	55,222	715,360	12.954	2,146	199,247	92.837
45～49	71,941	678,985	9.438	7,133	231,225	32.418
50～54	65,542	701,368	10.701	12,704	199,512	15.705
55～59	184,762	703,839	3.809	10,279	210,419	20.470
60～64	119,520	898,336	7.516	14,121	165,039	11.687
65～69	69,842	764,256	10.943	3,293	143,187	43.480
70～74	56,091	359,654	6.412	-	132,054	-
75歳以上	-	228,333	-	63,600	116,257	1.828

(注) 平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

1 2. 規模別被保険者構成割合、扶養率等

船舶所有者が使用する被保険者数（以下、「規模」という。）別にみた被保険者の構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額を示したものが表17である。

被保険者の構成割合について、適用区分総数においては規模10～19人が最も多く16.8%であり、規模100人未満は82.0%である。適用区分別にみると、被保険者の構成割合が最も高いのは、汽船等が規模50～99人の18.5%、漁船（い）が規模30～49人の28.2%、漁船（ろ）が規模10～19人の21.8%である。

規模別の扶養率について、適用区分総数においては規模の違いによるはっきりとした傾向はみられないが、漁船（い）は、規模20～29人がピークである。

平均標準報酬月額については、どの適用区分においても規模が大きくなるにつれて概ね増加傾向にある。同様に、平均標準賞与額も規模が大きくなるにつれて概ね増加傾向にあるが、適用区分総数及び汽船等については、規模300～499人で、漁船（い）では規模100～299人で大幅に下落している。

表17 船舶所有者が使用する被保険者数別被保険者構成割合、扶養率、平均標準報酬月額及び平均標準賞与額（平成30年10月1日現在）

使用する被保険者数	総数				（再掲）汽船等			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
総 数	100.0	1.036	425,744	549,072	100.0	1.076	428,597	713,532
1～4人	7.3	1.016	321,626	221,731	6.6	1.091	374,041	329,100
5～9	13.0	1.032	379,081	283,841	11.8	1.058	392,150	426,852
10～19	16.8	1.055	410,574	414,323	15.9	1.116	391,462	587,482
20～29	12.0	1.039	429,645	533,965	11.5	1.092	425,024	711,233
30～49	16.8	1.038	430,285	566,338	17.7	1.054	419,548	728,994
50～99	16.1	1.077	443,217	804,853	18.5	1.081	434,844	941,213
100～299	13.7	1.056	518,728	873,613	16.3	1.099	495,422	995,263
300～499	1.1	0.583	665,428	8,398	1.6	0.583	665,428	8,398
500～999	—	—	—	—	—	—	—	—
1,000人以上	—	—	—	—	—	—	—	—
疾病任継	3.3	0.850	329,630	・	・	・	・	・
使用する被保険者数	（再掲）漁船（い）				（再掲）漁船（ろ）			
	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額	構成割合	扶養率	平均標準報酬月額	平均標準賞与額
総 数	100.0	0.652	374,522	558,449	100.0	0.997	436,032	120,562
1～4人	6.9	0.563	274,071	263,089	10.0	0.920	235,492	35,293
5～9	6.4	0.810	315,200	417,305	18.3	0.996	359,465	38,275
10～19	10.8	0.886	331,341	384,420	21.8	0.949	451,092	86,249
20～29	4.7	0.935	478,182	910,455	15.6	0.940	436,964	181,815
30～49	28.2	0.618	376,664	570,557	15.3	1.073	473,015	76,107
50～99	18.2	0.838	333,380	978,855	11.5	1.098	496,525	205,648
100～299	24.8	0.383	444,469	363,343	7.5	1.047	675,577	366,265
300～499	—	—	—	—	—	—	—	—
500～999	—	—	—	—	—	—	—	—
1,000人以上	—	—	—	—	—	—	—	—
疾病任継	・	・	・	・	・	・	・	・

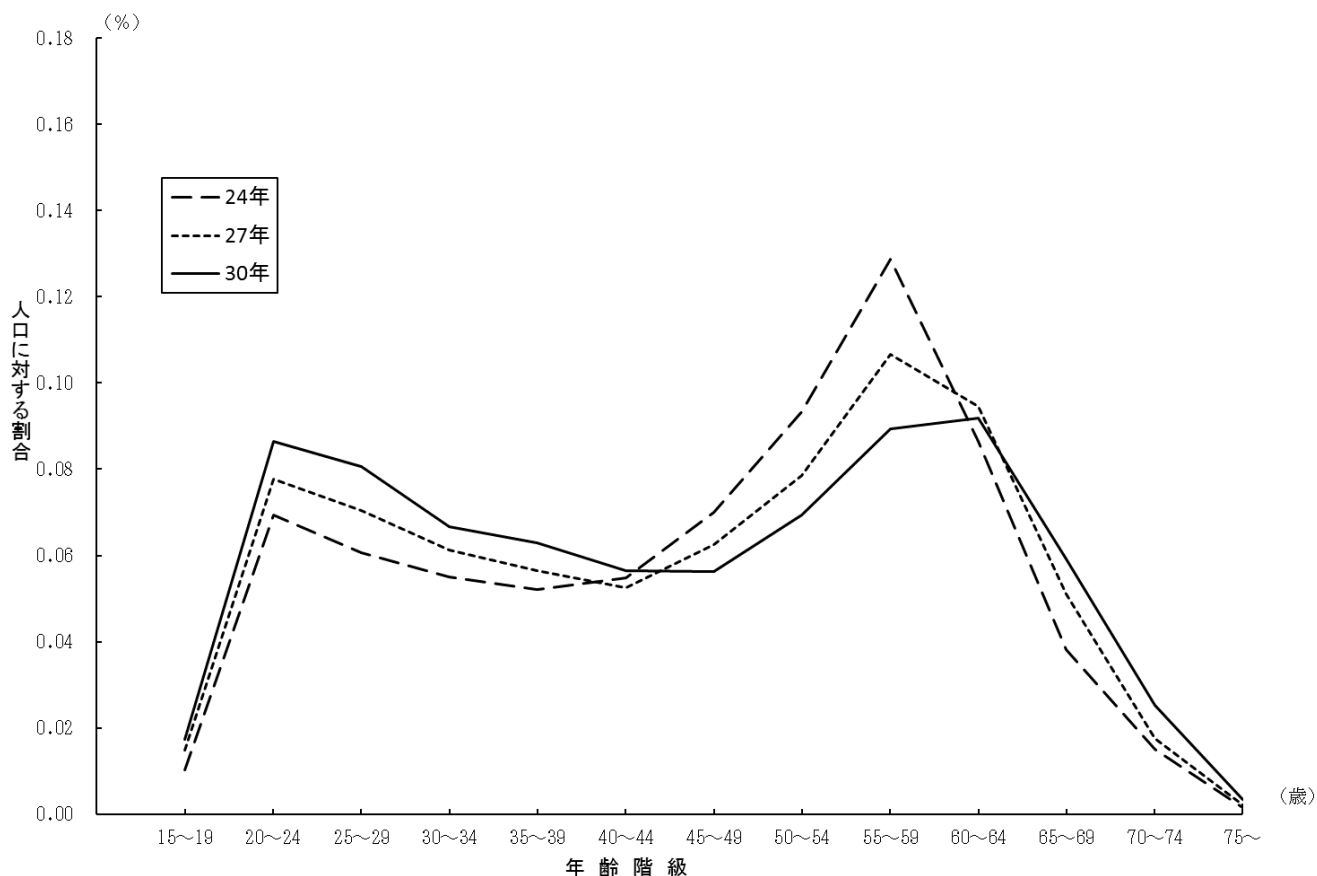
（注）平均標準賞与額は、平成30年10月1日現在の被保険者について、平成29年10月1日から平成30年9月30日の1年間に支払われた標準賞与額の平均を疾病任意継続被保険者を除いて算出している。

1 3．被保険者数の推移について

まず、総人口に対する被保険者数の割合（以下、「被保険者割合」という。）の推移を男女計について年齢階級別に示したものが図8である。

被保険者割合は、平成24年から平成27年、平成27年から平成30年にかけてそれぞれ40代後半から50代後半までは減少しており、その他の年齢階級では概ね増加している。

図8 年齢階級別にみた被保険者数（男女計）の総人口に対する割合の推移
（各年10月1日現在）



次に、男女別の被保険者割合の推移を年齢階級別に示したものが図9-1、9-2である。

男性については、平成24年から平成27年にかけては、40代前半から50代後半までは減少し、その他の年齢階級では増加している。また、平成27年から平成30年にかけては、40代後半から60代前半までは減少し、その他の年齢階級では増加している。

女性については、平成24年から平成27年にかけては、20代後半から30代後半までは概ね増加し、その他の年齢階級では概ね減少している。また、平成27年から平成30年にかけては、60歳代以降は横ばいなのを除き概ね増加している。

図9-1 年齢階級別にみた男性被保険者数の男性人口に対する割合の推移
(各年10月1日現在)

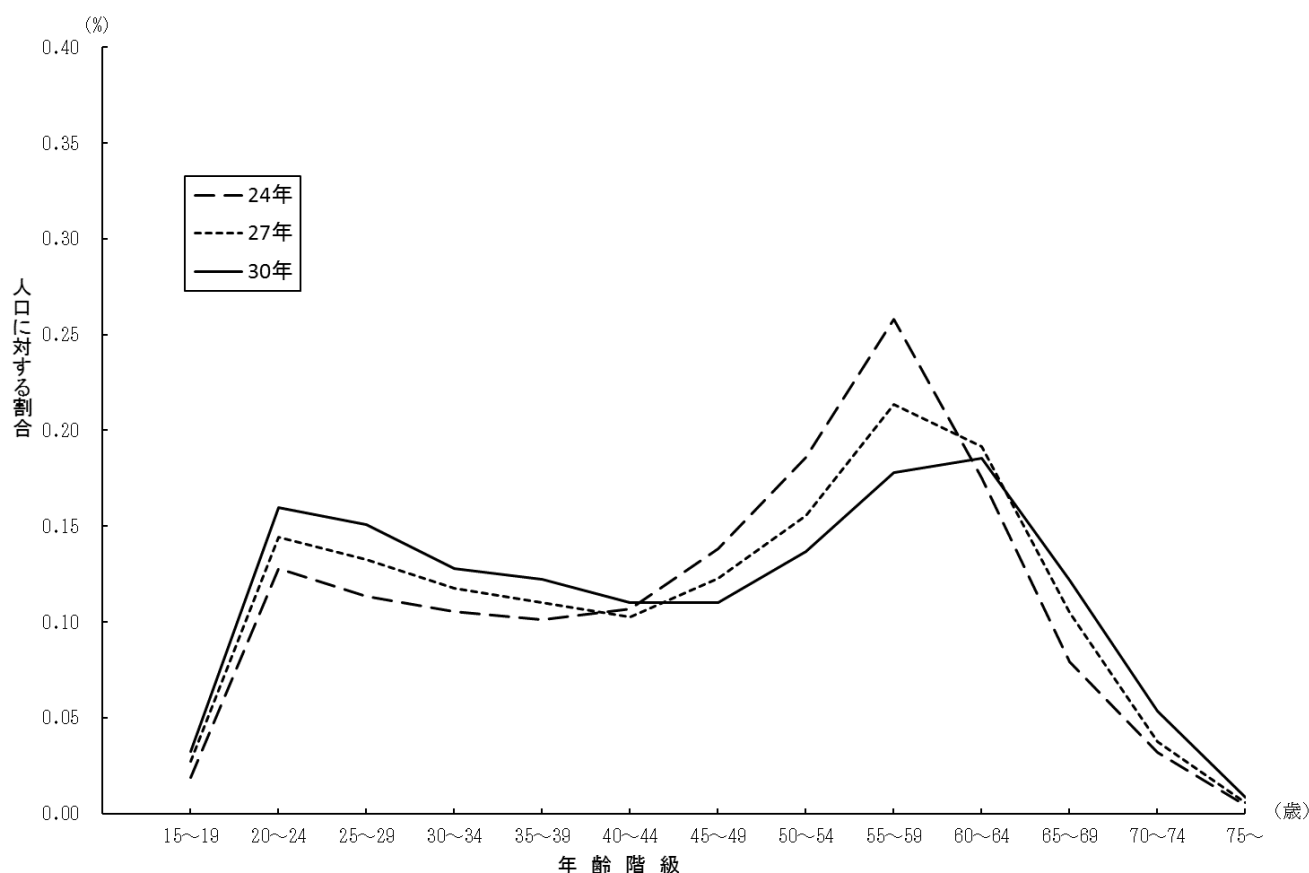


図 9 - 2 年齢階級別にみた女性被保険者数の女性人口に対する割合の推移
(各年10月 1 日現在)

